

取扱説明書

ご購入いただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と本機を使う前の必要な準備について説明しています。この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ノートブックコンピューター

PCG-QR3 Series

Microsoft® Windows® XP Home Edition

搭載モデル





安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることもあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

6～13 ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐに VAIO カスタマーリンク修理窓口 に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

- ・煙が出たら
- ・異常な音、においがしたら
- ・内部に水、異物が入ったら
- ・製品を落としたり、キャビネットを破損したとき



- ① 電源を切る
- ② 電源コードや接続ケーブルを抜き、バッテリーを取りはずす
- ③ VAIO カスタマーリンク修理窓口 に修理を依頼する

データはバックアップをとる

ハードディスク内の記録内容は、バックアップをとって保存してください。ハードディスクにトラブルが生じて、記録内容の修復が不可能になった場合、当社は一切その責任を負いません。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながる場合があります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



電気通信事業法に基づく認定について

本製品は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定及び技術的条件適合認定を受けています。認証機器名は次のとおりです。

認証機器名:PCG-741N

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

漏洩電流自主規制について

この装置の本体およびディスプレイは、それぞれ社団法人電子情報技術産業協会(旧 JEIDA)のパソコン基準(PC-11-1988)に適合しております。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

(社団法人電子情報技術産業協会(旧 JEIDA)のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

* 充電されたバッテリー使用時には、無停電電源装置等は不要です。

レーザー安全基準について

この装置には、レーザーに関する安全基準(JIS・C-6802)クラス 1 適合の CD-RW/DVD-ROM 一体型ドライブが搭載されています。

- 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 本機の保証条件は、同梱の当社所定の保証書の規定をご参照ください。
- 本機に付属のソフトウェアは、本機以外には使用できません。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご容赦ください。
- CD-ROM や音楽 CD からのコピーの作成およびその利用は、使用許諾条件または著作権法に違反する場合があります。コピーの作成およびその利用にあたっては、オリジナル CD の利用許諾条件および著作権法を遵守してください。使用許諾条件、著作権法についてご不明な点がある場合は、法律の専門家にご相談ください。

目次

安全のために	2
付属品を確認する	14
VAIOでこんなことができます ...	16
各部のなまえ	19

準備する

電源を入れる	24
Windowsを準備する	28
電源を切る	33
カスタマー登録する	34
「ヘルプとサポートセンター」に ついて	41

マニュアルの使いかた

「サイバーサポート」ってなに？	44
画面の見かた	46
「サイバーサポート」を使ってみよう	48
目次から情報を探す	50
キーワードで情報を探す	53
困ったときの情報の探しかた	54
ソニーのホームページを見る	55
便利な使いかた	56
VAIOについての最新情報を見る	57

基本的な使いかた

タッチパッドを使う	60
キーボードを使う	62

インターネットを始める

インターネットとは	70
インターネット接続に必要なものは	71
インターネット上のトラブルに ついて	74
インターネットに接続するまでの 流れ.....	76
電話回線につなぐ	78
プロバイダと契約する.....	81
チェックシートを作成する.....	85
接続のための設定をする	91
電子メールソフトウェアの設定を する.....	97
インターネットに接続する.....	102
ホームページを見る	106
電子メールをやりとりする.....	111
外出先でインターネットにアクセス する.....	115

困ったときは

トラブルを解決するには	118
VAIOカスタマーリンク お問い合わせ 合わせ先.....	120
主なトラブルとその解決方法 ...	121

その他

メモリモジュールを取り付ける／ 取りはずす	152
リカバリ CD で本機を再セット アップする	158
パーティションサイズを変更する	165
使用上のご注意	170
お手入れ	175
保証書とアフターサービス	176
主な仕様	178
付属ソフトウェアのお問い合わせ先	182
索引	190

画面で見る電子マニュアル 「サイバーサポート」について

本機にはVAIO マニュアル「サイバーサポート (CyberSupport for VAIO)」(以降、「サイバーサポート」と略します)が付属しています。「サイバーサポート」は、VAIOの使いかたや楽しみかたをディスプレイ画面上で説明する電子マニュアルです。

この説明書の内容以外にもさまざまな情報を見ることができます。

使いかたについて詳しくは、「マニュアルの使いかた」(44ページ)をご覧ください。



警告

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**などにより



火災



感電

死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない

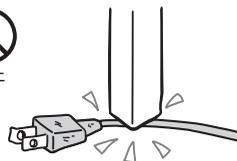
電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 本機と机や壁などの間にはさみこんだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、VAIOカスタマーリンク修理窓口にご依頼ください。



禁止



油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となります。この説明書に記されている使用条件以外の環境でのご使用は、火災や感電の原因となります。



禁止



内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、VAIOカスタマーリンク修理窓口にご依頼ください。



水ぬれ禁止



モデムは一般電話回線以外に接続しない

本機の内蔵モデムをISDN(デジタル)対応公衆電話のデジタル側のジャックや、構内交換機(PBX)へ接続すると、モデムに必要以上の電流が流れ、故障・発熱・火災の原因となります。

特に、ホームテレホン・ビジネスホン用の回線などには、絶対に接続しないでください。



禁止

内部をむやみに開けない

- 本体および付属の機器（ケーブル含む）は、むやみに開けたり改造したりすると火災や感電の原因となります。内部の点検、修理はVAIO カスタマーリンク修理窓口にご依頼ください。
- メモリを増設するときは、「メモリモジュールを取り付ける／取りはずす」（152ページ）に従って注意深く作業してください。また、指定されている部分以外には触れないでください。
指定以外の部分にむやみに触れると、火災や感電の原因となります。



指定のACアダプタ以外は使用しない

火災や感電の原因となります。



ひざの上で長時間使用しない

長時間使用すると本体の底面が熱くなり、低温やけどの原因となります。



本機は日本国内専用です

本機に内蔵されているモデムは国内専用です。海外などでモデムを使用すると、故障・火災・感電の原因となります。



㊦㊦ (ネットワーク)コネクタに指定以外のネットワークや電話回線を接続しない

本機の ㊦㊦ (ネットワーク)コネクタに下記のネットワークや回線を接続すると、コネクタに必要な以上の電流が流れ、故障や発熱、火災の原因となります。特に、ホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に接続しないでください。

- 10BASE-Tと100BASE-TXタイプ以外のネットワーク
- 一般電話回線
- ISDN(デジタル)対応公衆電話のデジタル側のジャック
- PBX(デジタル式構内交換機)回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

また、㊦㊦ (ネットワーク)コネクタをお使いになるときは、職場などのネットワーク管理者にご相談ください。





警告

下記の注意事項を守らないと、健康を害するおそれがあります。

ディスプレイ画面を長時間続けて見ない

ディスプレイなどの画面を長時間見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。



禁止

キーボードを使いすぎない

キーボードやタッチパッド、ジョグダイヤルなどを長時間使い続けると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。

キーボードやタッチパッド、ジョグダイヤルを使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。



禁止

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くとときはご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



禁止



下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。



接続するときは電源を切る

ACアダプタや接続ケーブルを接続するときは、本機や接続する機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。感電や故障の原因となることがあります。



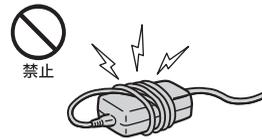
指定された電源コードや接続ケーブルを使う

この説明書に記されている電源コードや接続ケーブルを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。



電源コードや接続ケーブルをACアダプタに巻き付けない

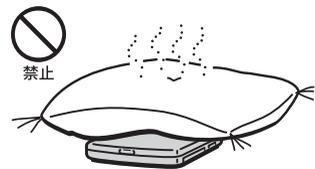
断線や故障の原因となることがあります。



通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 毛足の長い敷物(じゅうたんや毛布など)の上に放置しない。
- 布などでくるまない。



通電中の本体やACアダプタに長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。



禁止

本体やACアダプタを布や布団などでおおった状態で使用しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



禁止

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置かないでください。また、横にしたり、ひっくり返して置いたりしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



禁止



本機の上に重いものを載せない

壊れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



禁止



お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く



移動させるときは、電源コードや接続ケーブルを抜く

接続したまま移動させると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となったり、接続している機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

また、本機を落とさないようご注意ください。



落雷のおそれがあるときは、電源プラグなどを抜く

落雷のおそれがあるときは、テレホンコードや電源プラグを抜いてください。落雷により本機が破壊され、故障の原因となることがあります。



コネクタはきちんと接続する

- コネクタの内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート(短絡)して、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むと、ピンとピンがショートして、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクタに固定用のスプリングやネジがある場合は、それらで確実に固定してください。接続不良が防げます。



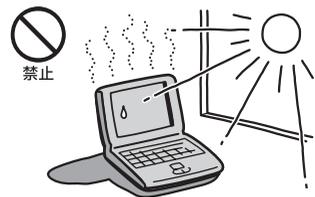
長時間使用しないときは電源プラグを抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。



直射日光のあたる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。



液晶画面に衝撃を与えない

液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。



ディスプレイパネルの裏側を強く押さない

液晶画面が割れて、故障やけがの原因となることがあります。



本体に強い衝撃を与えない

故障の原因となることがあります。



ステレオスピーカーを取り付けた状態で、本機を移動しない

移動時にステレオスピーカーがはずれ、落下してけがをしたり、本機やステレオスピーカーが破損するおそれがあります。



電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

危険

- 指定された充電方法以外で充電しない。
- 火の中に入れてない。ショートさせたり、分解しない。電子レンジやオープンで加熱しない。コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- 火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。
- バッテリーに衝撃を与えない。
落とすなどして強いショックを与えたり、重いものを載せたり、圧力をかけないでください。故障の原因となります。
- バッテリーから漏れた液が目に入った場合は、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師に相談してください。
- 本体に付属または指定された別売りのバッテリー以外は使用しないでください。

警告

バッテリーを廃棄する場合は、以下のご注意をお守りください。

- 地方自治体の条例などに従う。
- 一般ゴミに混ぜて捨てない。

または、ソニーサービスステーションにお持ちください。

本機の発熱についてのご注意

使用中に本体の底面やACアダプタが熱くなることがあります

CPUの動作や充電時の電流によって発熱していますが、故障ではありません。使用している拡張機器やソフトウェアによって発熱量は異なります。

本体やACアダプタが普段よりも異常に熱くなったときは

本機の電源を切り、ACアダプタの電源コードを抜き、バッテリーを取りはずしてください。次に、VAIOカスタマーリンク修理窓口にて修理をご依頼ください。

付属品を確かめる

本機を初めて使うにあたって、以下のものがすべてそろっているかご確認ください。

□ マークにチェックしながら確認すると便利です。

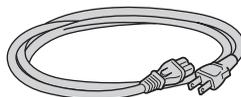
付属品が足りないときや破損しているときは、VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

なお、付属品は本機のみで動作保証がされています。

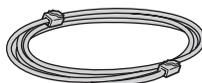
□ パソコン本体(1)



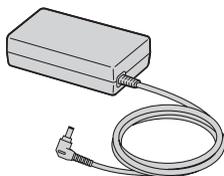
□ 電源コード(1)



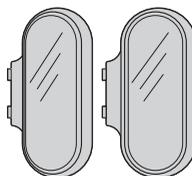
□ テレホンコード(1)



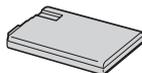
□ ACアダプタ(1)



□ ステレオスピーカー(2)



□ バッテリー(1)



□ マウスカバー*(1)



* 別売りのUSBマウス PCGA-UMS1 Series専用です。

説明書およびCD-ROM

- 「Microsoft® Windows® XP Home Edition*」ファースト ステップ ガイド (1)
*以降、Windows XPと略します。
- リカバリ CD-ROMパッケージ(1)
- Office XP Personal プレインストールパッケージ(1)

その他

- VAIO カスタマー登録・保証書お申込書 (1)
- VAIO サービス・サポートのご案内 (1)
- VAIO カルテ (1)
- ソフトウェア使用許諾契約書 (1)
- その他パンフレット類



本機に付属のソフトウェアについては、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」(182ページ)をご覧ください。

この説明書の説明図や画面について

この説明書で使われている説明図や画面は実際のものとは異なる場合があります。特に指示のない限り、本文中の説明図にはPCG-QR3/BPを使用しています。

VAIOでこんなことができます

本機はデジタルスチルカメラやデジタルビデオカメラレコーダーなどのAV機器と組み合わせて使うことを想定して設計された、ソニーならではのノートブックコンピュータです。

また、携帯電話やPHSとつないで、外出先でもインターネットに接続して情報収集したり、電子メールで情報交換できます。

ここでは、本機を使ってできることの例をご紹介します。

“マジックゲートメモリースティック”で音楽を楽しむ“メモリースティック”

付属の「SonicStage for VAIO」ソフトウェアを使ってインターネットから配信された音楽データや、音楽CDの曲を本機に取り込んで再生することができます。また、取り込んだ音楽ファイルを本機のマジックゲート対応メモリースティックスロット（以降、メモリースティックスロットと略します。）に挿入した“マジックゲートメモリースティック”に転送（チェックアウト）し、対応のポータブルプレーヤーなどに曲の移動をしたり、再生したりすることができます。

音と映像を楽しむ

VAIOを楽器のように楽しむことができます。

付属の「Gen-On」ソフトウェアを使って、キーボードに割り振られたさまざまな「音のかけら（音片）」を組み合わせ、オリジナリティあふれる音楽作りができます。

演奏にあわせてムービーやビジュアルエフェクトが表示されます。

画像を取り込む

“メモリースティック”対応のソニー製デジタルスチルカメラやデジタルビデオカメラレコーダーで“メモリースティック”に画像を取り込んで、その“メモリースティック”を本機のメモリースティックスロットに挿入するだけで、画像データファイルを取り込むことができます。

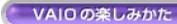
また、本機のi.LINKコネクタにつないだi.LINK (IEEE1394) インターフェイスを持つデジタルビデオカメラレコーダーなどから、デジタル信号のまま美しい画像を取り込むこともできます。

取り込んだ画像を活用する

「MovieShaker」や「DVgate」ソフトウェアを使えば、取り込んだ動画を使ってビデオ編集ができます。詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の

 をクリックし、

[VAIOを楽しむ]→[VAIOでビデオ編集しよう]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

また、付属の「PictureToy」ソフトウェアを使えば、静止画を下敷きとしてその上に重ねてお絵かきができます。加工した静止画を使って、付属の「DigitalPrint」ソフトウェアでオリジナルのフォトアルバムやCDやMDのラベル作りを楽しむこともできます。詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の  をクリックし、[VAIOを楽しむ]→[VAIOでデジタル写真を楽しもう]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

撮影した映像をインターネット上で番組配信する

本機につないだデジタルビデオカメラレコーダーで撮影した映像を、インターネットで生放送することができます。番組配信するには、付属の「URecSight」ソフトウェアを使ってCastaDriveに対応した「パーキャストTVパーキャストTV」サービスを利用します。詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の  をクリックし、[VAIOを楽しむ]→[VAIOで個人インターネット放送]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

「パーキャストTV」サービスについて詳しくは、「パーキャストTV」サービスのWebページ(<http://www.percastv.net>)をご覧ください。

ジョグダイヤルを便利に使う

ジョグダイヤルを回したり押したりするだけで、画面のスクロールや、画面の中の項目の選択などさまざまな操作が簡単にできます。

また、付属の「VAIO Action Setup」ソフトウェアを使って、ジョグダイヤルを押しただけで好みのソフトウェアを起動させたり、タイマー機能を使って指定した時間に自動的に電子メールを取り込むように設定することもできます。

ネットワークを利用する

本機はネットワークコネクタを装着しているので、職場などのLANに直接接続することができます。

バッテリーを上手に使う

付属の「PowerPanel」ソフトウェアを使って、バッテリーでの使用時間を優先する動作環境に設定したり、バッテリーの残量などを簡単に把握することができます。

これらの機能をお使いいただくには、最初に本書に沿ってひと通り準備を完了しておく必要があります。

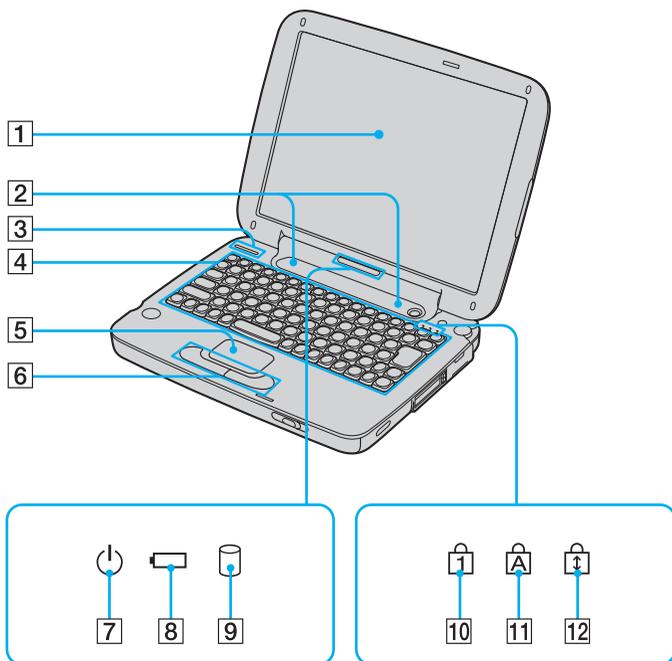
「**Windows**を準備する」(28ページ)の説明に従って、本機の準備を行ってください。

また、それぞれの操作について詳しくは、本機または各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

各部のなまえ

詳しい説明は、()内のページをご覧ください。

本機正面



① 液晶ディスプレイ (136、170
ページ)

② 内蔵スピーカー (146ページ)

③ ID ラベル (120、177ページ)

型名が記載されています。

④ キーボード (62、138ページ)

⑤ タッチパッド (60、138ページ)

⑥ 左/右ボタン (60ページ)

⑦ 電源 (パワー) ランプ (26ページ)

⑧ 電池 (バッテリー) ランプ

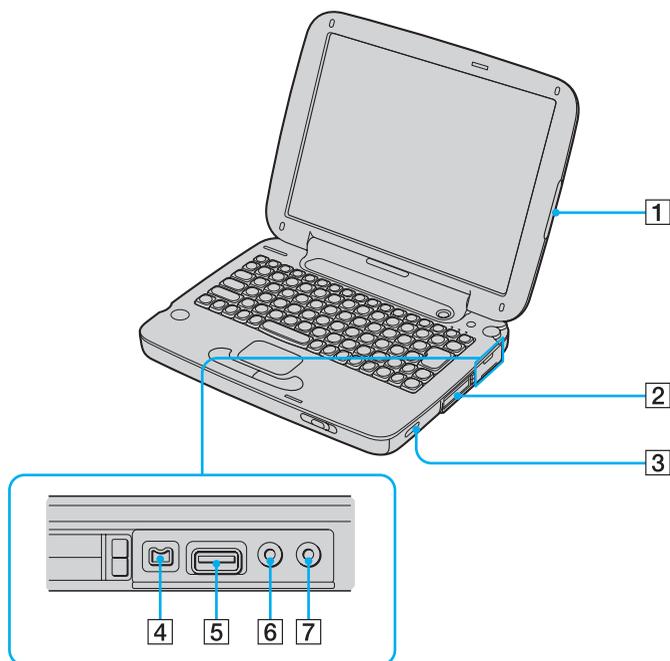
⑨ ハードディスク (ハードディスク) ランプ

⑩ Num Lock ランプ (63、65、
125、139、150ページ)

⑪ Caps Lock ランプ (64、125
ページ)

⑫ Scroll Lock ランプ

本機右側面



① ステレオスピーカーコネクタ

カバーを開いて付属のステレオスピーカーをつなぎます。

② PCカードスロット (146、173ページ)

③ バッテリーベイ (24ページ)

④ i.LINK (i.LINK) コネクタ (16ページ)

⑤ Ψ (USB) コネクタ

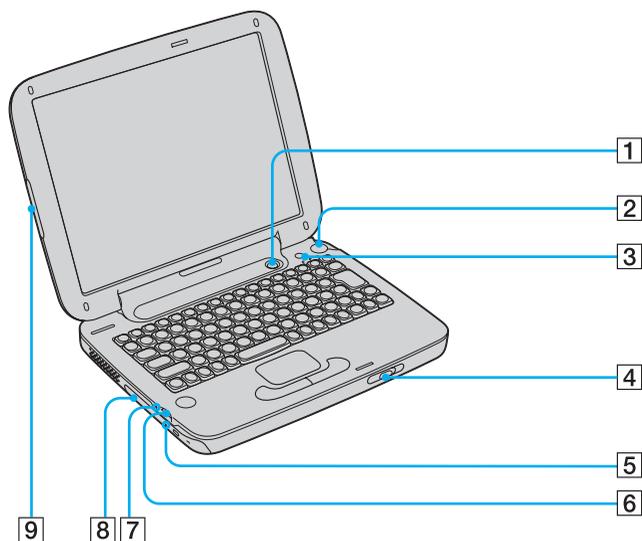
⑥ Ⓜ (ヘッドホン) コネクタ

⑦ Ⓜ (マイク) コネクタ

マイクコネクタの下部に突起がついています。

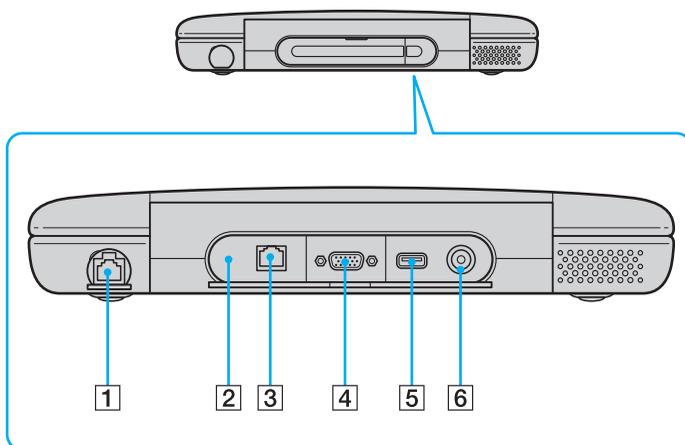
マイクをお使いになるときは、誤ってヘッドホンコネクタに接続しないようにご注意ください。

本機左側面



- ① 〇(パワー)ボタン(26ページ)
- ② ジョグダイヤル(17ページ)
- ③ BACKボタン
- ④ ディスプレイロックレバー(25ページ)
- ⑤ CD-RW/DVD-ROM 一体型ドライブ アクセスランプ
- ⑥  (マジックゲート対応メモリスティック)スロット(144、172ページ)
- ⑦ メモリスティックスロットアクセスランプ
- ⑧ CD-RW/DVD-ROM 一体型ドライブ(143、175ページ)
- ⑨ ステレオスピーカーコネクタ
カバーを開いて付属のステレオスピーカーをつなぎます。

本機後面



① ㊦ TEL LINE (モジュラジャック) (79、128ページ)

② リセットスイッチ (122ページ)

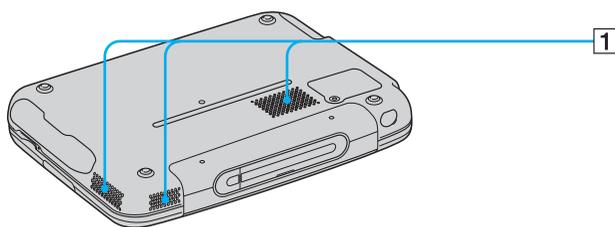
③ ㊦ NETWORK (ネットワーク) コネクタ (17ページ)

④ ○ MONITOR コネクタ

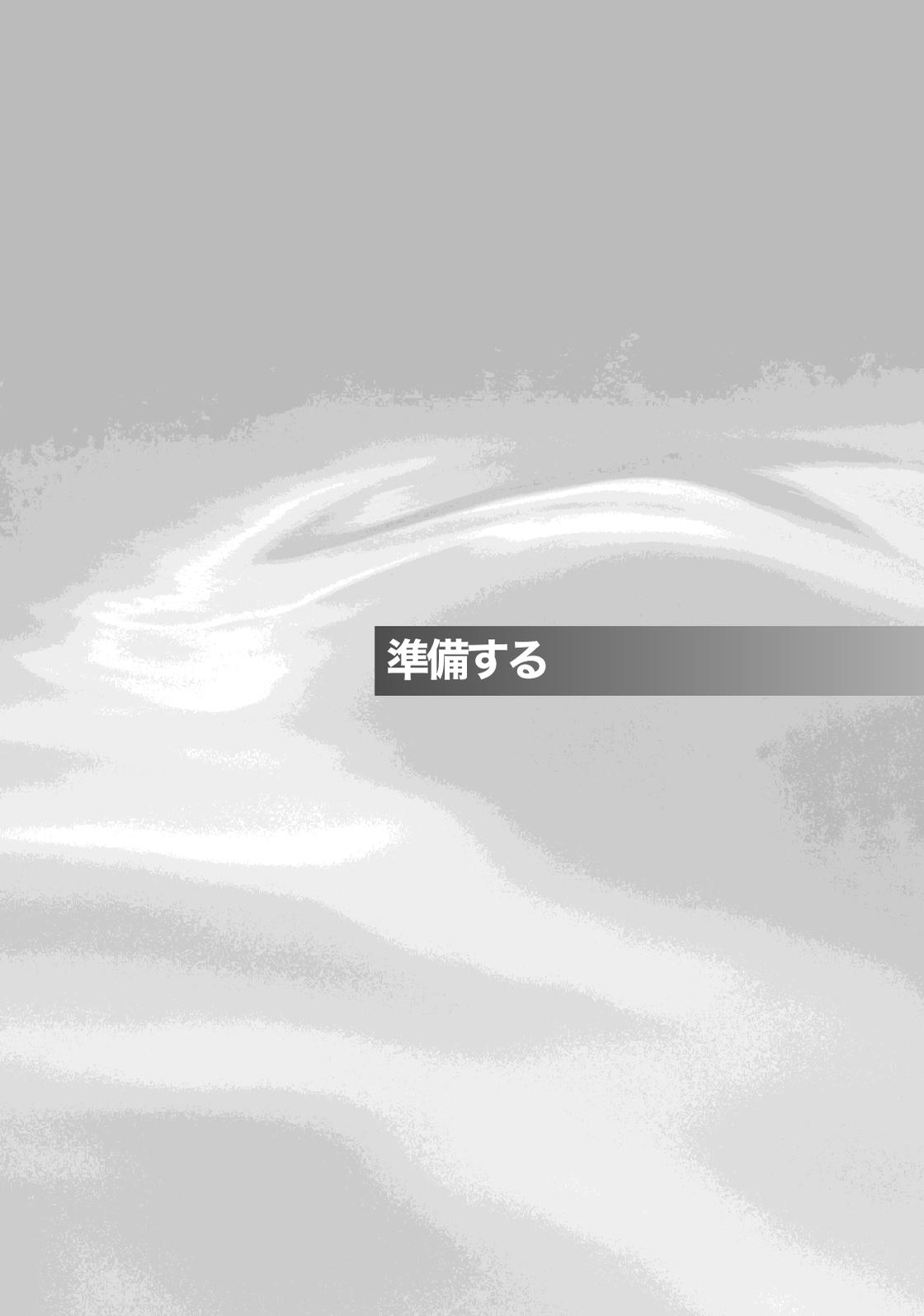
⑤ ㊦ USB コネクタ

⑥ ㊦ DC IN コネクタ (25ページ)

本機底面



① 通風口

A grayscale photograph of a mountain range, likely the Japanese Alps, with a dark horizontal bar overlaid across the center. The text '準備する' is written in white on this bar.

準備する

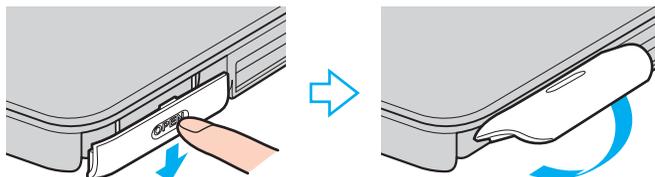
電源を入れる

以下の手順に従って、本機の電源を入れてください。

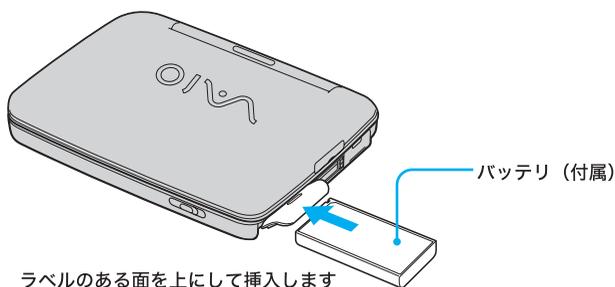
1 バッテリーを取り付ける。

停電や誤ってAC電源がはずれ、作業中のデータが失われてしまうことのないよう、付属のバッテリーを取り付けます。

- ① バッテリーベイのふたを開ける。



- ② バッテリーを挿入する。



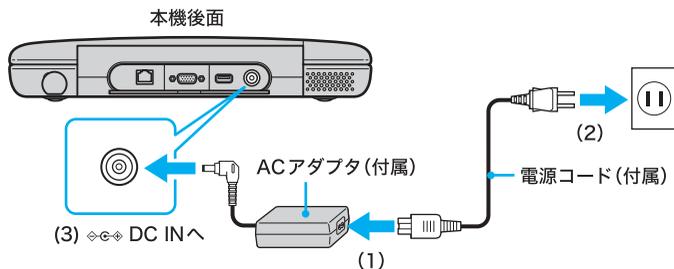
- ③ バッテリーベイのふたを閉じる。

「カチッ」と音がするまでしっかりと閉じてください。

2 AC電源をつなぐ。

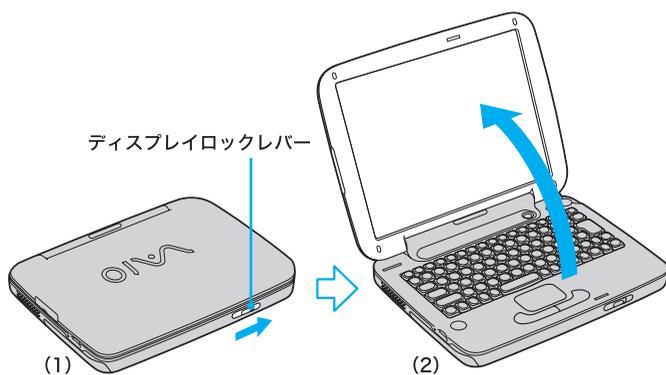
本機と壁のACコンセントを接続します。

- ① 電源コードのプラグをACアダプタに差し込む。
- ② 電源コードのもう一方のプラグを、壁のコンセントに差し込む。
- ③ 本機後面のコネクタカバーを開き、DC INコネクタにACアダプタのプラグを差し込む。



3 ディスプレイパネルを開く。

- ① ディスプレイロックレバーを矢印の方向にずらす。
- ② ディスプレイパネルを開く。

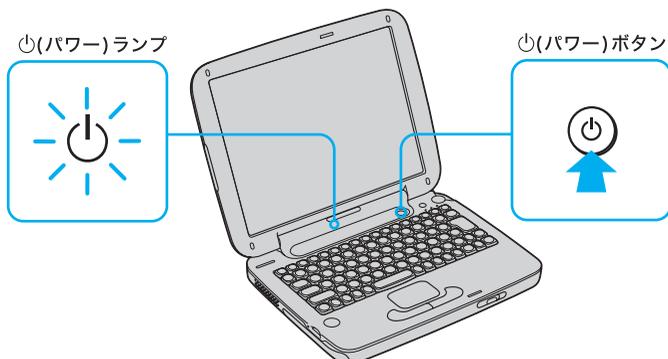


4 ④(パワー)ボタンを押し、④(パワー)ランプが点灯(グリーン)したら離す。

電源が入ると、④(パワー)ランプが点灯し、Windowsのロゴの画面が表示され、本機が起動します。

ご注意

- ④(パワー)ボタンを4秒以上押したままにすると、電源が切れてしまいます。④(パワー)ランプが点灯したら指を離してください。
- タッチパッド手前部分に磁気製品などを近づけると、液晶ディスプレイを閉じたときと同じ状態となり、LCD/Videoスタンバイまたは休止状態に移行します。
- 本機の近くには磁気製品を近づけないようご注意ください。



本機の電源を初めて入れる場合は、Windowsのロゴの画面が表示され、しばらくして「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されます。

「Windowsを準備する」(28ページ)の手順に従って、Windowsのセットアップを行ってください。



ご注意

タッチパッドの手前部分に磁気製品などを近づけると、液晶ディスプレイパネルを閉じたときと同じ状態となり、LCD/Videoスタンバイまたは休止状態に移行します。

本機の近くには磁気製品を近づけないよう、ご注意ください。



本機はエネルギースター規格に基づいて設計されており、工場出荷時の設定では、AC電源でご使用中に30分以上操作しないと、自動的に本機の液晶ディスプレイが暗くなります(LCD/Videoスタンバイ*1)。タッチパッドに触れるかキーボードのいずれかのキーを押すと、元の状態に戻ります。

また、バッテリーで長時間使用できるようにするため、工場出荷時の設定では、バッテリーでご使用中に数分間以上操作をしないと自動的に本機の液晶ディスプレイが暗くなります(LCD/Videoスタンバイまたはスタンバイ*1)。

さらに数分間以上操作をしないとシステムの状態をハードディスクに書き込んでから自動的に本機の電源を切ります(休止状態*1)。

元の状態に復帰させるには、 (パワー) ランプの状態により次の操作を行ってください。

-  (パワー) ランプがグリーンで点灯(LCD/Videoスタンバイ)
タッチパッドに触れるか、キーボードのいずれかのキーを押す
-  (パワー) ランプがアンバー(赤褐色)で点滅(スタンバイ)
キーボードのいずれかのキーまたは  (パワー) ボタンを押す*2。
-  (パワー) ランプが消灯(休止状態または電源オフ)
 (パワー) ボタンを押す。

*1 詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の  **VAIOの使いかた** をクリックし、[VAIO インフォメーション]→[知っ得情報]→[省電力動作モードについて]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

*2  (パワー) ボタンを4秒以上押しつづけると保存された状態が破棄されますのでご注意ください。

Windowsを準備する

本機を使う前に、Windowsを使うための準備が必要です。

Windowsが使える状態になると、本機に付属のソフトウェアやいろいろな機能も使えるようになります。次の手順に従って、Windowsを使う準備をします。



- 停電や誤ってAC電源がはずれ、作業中のデータが失われてしまうことのないよう、以下の操作を行う前に付属のバッテリーを本機に取り付けてください。

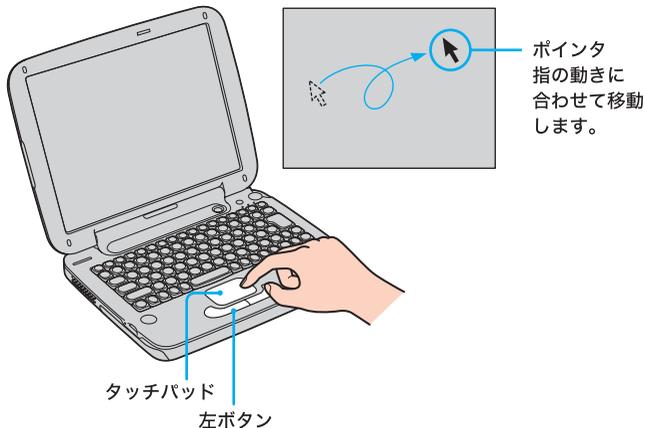
取り付けかたについては「電源を入れる」(24ページ)をご覧ください。

- 「タッチパッドを使う」(60ページ)や「キーボードを使う」(62ページ)では、タッチパッドやキーボードの使いかたについて説明しています。そちらもあわせてご覧ください。

1 「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されたら(26ページ)、画面右下にある[次へ]をクリックする。

タッチパッドに触れて指を動かし、[次へ]の上までポインタを移動して左ボタンを「カチッ」と1回押してすぐに離します。

これを「クリックする」と言います。





ここをクリックする。

「使用許諾契約」画面が表示されます。

2 画面に表示された内容を読み、内容に同意するときは[同意します]の○をクリックして●にし、[次へ]をクリックする。



ここをクリックすると、
文章が上下に移動する。

ここをクリックする。
○が●になる。

ご注意

[同意しません]の○をクリックすると、Windowsの準備作業は中止され、Windowsと本機に付属のソフトウェアはお使いになれません。

「コンピュータに名前を付けてください」画面が表示されます。



3 必要な場合はコンピュータ名を変更し、[次へ]をクリックする。

コンピュータ名は、本機をネットワークに接続して使用する場合にコンピュータを識別するために必要です。「このコンピュータの名前」の欄に自動的に表示されますが、必要な場合は認識しやすい名前に変更してください。

また、コンピュータにわかりやすい説明をつけることもできます。その場合は「コンピュータの説明」欄に入力してから[次へ]をクリックしてください。

「インターネット接続が選択されませんでした」画面が表示されます。



4 [次へ]をクリックする。

「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」画面が表示されます。

5 [いいえ、今回はユーザー登録しません]の○をクリックして●にし、[次へ]をクリックする。



「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」画面が表示されます。



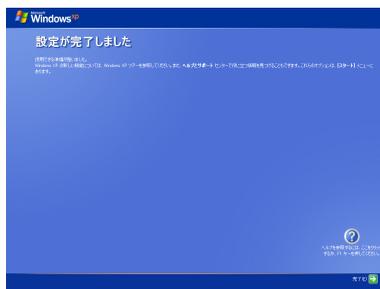
「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」画面で、[はい、今すぐユーザー登録します]を選んで[次へ]をクリックすると、マイクロソフトへのオンライン登録ができます。ただし、オンライン登録するには本機を電話回線に接続しておく必要があります。インターネットに接続するための設定について詳しくは、「インターネットを始める」(70ページ)をご覧ください。

6 ユーザーの名前を入力し、[次へ]をクリックする。

ここで入力した名前は、本機の電源を入れたときに表示される「ようこそ」画面に表示されます。Windowsを起動するときは、表示された名前をクリックします。

Windowsのセットアップ完了後に、使用するユーザーを追加したり、設定を変更することもできます。詳しくは、デスクトップ画面上の[できるWindows]アイコンをクリックして表示される情報をご覧ください。

「設定が完了しました」画面が表示されます。



7 [完了]をクリックする。

これでWindowsが使えるようになりました。

ご注意

- 本機に付属の OS (Operating System) 以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。
- デスクトップ画面上にあるアイコンには、一定の期間使用しないと自動的にデスクトップ画面上から削除されるものがあります。Windowsの初回起動時から一週間後に、アイコンを削除するかどうかを確認する画面が表示されます。

その後60日ごとに、使用していないデスクトップ画面上のアイコンが自動的に検索され、削除するかどうかを確認する画面が表示されます。デスクトップ画面上のアイコンを削除しても、ソフトウェア自体は削除されません。

本機を複数のユーザーで使えます

登録したユーザーごとに専用のデスクトップ画面やマイドキュメントが用意され、それぞれのユーザーが自分専用のコンピュータのように使用することができます。

複数のユーザーでのWindowsの使用について詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の  **できる Windows** をクリックして表示される情報をご覧ください。

電源を切る

次の手順に従って、本機の電源を切ります。

ご注意

必ず次の手順に従って電源を切ってください。手順に従って電源を切らないと本機の故障の原因となったり、作成した文書などのファイルが使えなくなることがあります。

1 [スタート]ボタンをクリックする。

[スタート]メニューが表示されます。

2 メニューの[終了オプション]をクリックする。



ここをクリックする。

「コンピュータの電源を切る」画面が表示されます。

3 [電源を切る]をクリックする。



ここをクリックする。

数秒後に本機の電源が自動的に切れ、**⏻**(パワー)ランプ(グリーン)が消灯します。

液晶ディスプレイパネルを閉じるときは、**⏻**(パワー)ランプが消灯したのを確認してから閉じてください。

これで、本機を使う上で必要な準備と操作はひと通り終わりました。引き続きいろいろな操作をするためには、「サイバーサポート」画面上部の **VAIOの使いかた** をクリックして表示される情報をご覧ください。

カスタマー登録する

VAIOカスタマーご登録について

ソニーはVAIOをご所有のお客様へ必要な情報をお知らせし、充実したサポート・サービスをご提供するために、「VAIOカスタマーご登録」を行っていただくことをおすすめしています。ご登録のメリットについては、VAIOホームページ(<http://www.vaio.sony.co.jp/>)をご覧ください。

また、出荷時点で付属する保証書が提供する製品の保証期間はご購入時から3か月間です。

ご登録を行っていただくことで、VAIOカスタマー専用デスクから、ご購入日より1年間有効な保証書と「VAIOカスタマーID」を記したご登録証「VAIO Customer's Card」をお送りします(すでに「VAIO Customer's Card」をお持ちの方へはカードの送付は行われません)。

なお、保証について詳しくは「保証書とアフターサービス」(176ページ)をご覧ください。

VAIOカスタマーご登録に関するお問い合わせ先

ソニーマーケティング株式会社 VAIOカスタマー専用デスク

電話番号:03-5977-7255

受付時間:月～金 10時～18時(土日祝日、年末年始を除く)

VAIOカスタマーご登録の方法

電話回線を通じて手軽にご登録が行えます。



- 付属の「VAIOカスタマー登録・保証書お申込書」にご記入の上、郵送いただくことでご登録を行えます。
- 下記の場合を除き、ソニーがお客様の同意なく登録内容を外部へ開示することはありません。ただし、お客様個人を特定できない統計情報はこの限りではありません。
 - ① お客様が、別途ご案内する「Upgrade Area」および「パイオネットワークサービス」を利用する場合には、これらのサービスの運営会社のソニースタイルドットコム・ジャパン株式会社もお客様の情報を利用いたします。
 - ② VAIOカスタマーご登録制度の運営に必要な場合、ソニーは業務を委託する協力会社に開示することがあります。
(ソニーは、協力会社に対して、お客様の情報の厳重な管理と使用目的の遵守を徹底します。)
 - ③ 法的義務を伴う要請を受けた場合、司法機関または行政機関に開示することがあります。
- VAIOカスタマーご登録は、本機の再セットアップをしたあとなどに再び行う必要はありません。住所などのご登録内容の変更を行うときは、VAIOホームページ内 (<http://www.vaio.sony.co.jp/>) のページ上で、変更手続きが行えます。
また、[スタート]ボタンをクリックして、[ここから始めよう VAIO!]をクリックして表示される「VAIO スタートパネル」画面上の[Welcome!]をクリックして変更手続きを行うこともできます。
- 12才までのおこさまは、ほごしゃのかたといっしょにとろうくしてください。

ご注意

- VAIO オンラインカスタマーご登録は、「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみ行うことができます。
- VAIO オンラインカスタマーご登録にご使用いただく電話回線は一般電話回線だけでなく、ISDN回線にも対応しています。ISDN回線をお使いになる場合は、本機のΨ(USB)コネクタとターミナルアダプタのUSBコネクタをつないでください。詳しくは、「ISDN回線を利用するときは」(80ページ)をご覧ください。

ISDN回線やターミナルアダプタについて詳しくは、NTT(局番なしの116番)またはターミナルアダプタの製造元にお問い合わせください。

1 電話回線につなぐ。

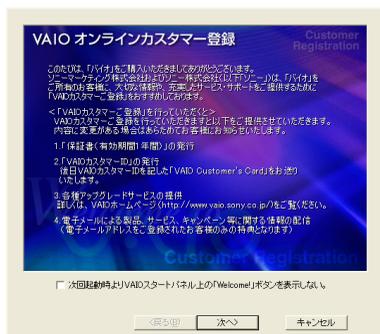
78ページの手順に従ってつなぎます。

2 [スタート]ボタンをクリックして[ここから始めよう VAIO!]をクリックする。

「VAIO スタートパネル」画面が表示されます。

3 「VAIO スタートパネル」画面上の[Welcome !]をクリックする。

「VAIO オンラインカスタマー登録」画面が表示されます。



カスタマー登録をしない、または後でするときは、[キャンセル]をクリックして表示される画面で[終了]をクリックすると、「インターネット接続サービスのご紹介」画面が表示されます。インターネットに接続する設定を行うときは、画面の指示に従って操作してください。インターネットを利用しない、または後で入会手続きを行う場合は、[キャンセル]をクリックします。

インターネット接続について詳しくは、「インターネットを始める」(70ページ)をご覧ください。

4 [次へ]をクリックする。

「VAIO カスタマーID VAIO カスタマーパスワード」画面が表示されます。



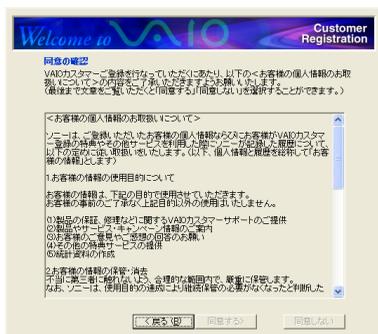
1つ前の画面を見たいときは、[戻る]をクリックします。

5 [次へ]をクリックする。

「VAIO カスタマーご登録を行っていただくときのご注意」画面が表示されます。

6 [次へ]をクリックする。

「同意の確認」画面が表示されます。



7 スクロールバーの ▲ または ▼ をクリックして、画面に現れた内容をすべて読み、内容に同意するときは[同意する]をクリックする。

「登録種別の選択」画面が表示されます。

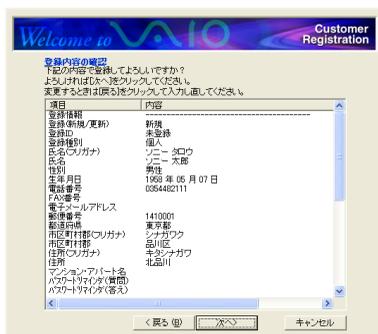
ご注意

[同意しない]をクリックすると、「ここでこのアプリケーションを終了すると登録が完了しません。」というメッセージが表示されます。[終了]をクリックすると、「インターネット接続サービスのご紹介」画面が表示されます。

8 「新規」の○をクリックして●にし、[次へ]をクリックする。

「お客様氏名の入力」画面が表示されます。

画面の指示に従って操作してください。入力が完了すると、「登録内容の確認」画面が表示されます。





- 本機を含めてVAIOをすでに2台以上お持ちの方など、すでにVAIOカスタマーIDをお持ちの方は、「機種追加」を選び、画面の指示に従って操作してください。
- すでにVAIOカスタマーご登録がお済みの方で、住所など、ご登録内容を変更したいときは、「更新」を選び、画面の指示に従って操作してください。
- 「お客様氏名の入力」画面の「本機を登録される方」で「法人・団体」を選んだときは、法人、団体用の情報を入力する画面が表示されます。画面の指示に従って情報を入力してください。
- 「パスワードリマインダー」画面の質問と答えは必ずしも入力する必要はありません。必要がない場合は、何も入力せずに[次へ]をクリックしてください。
パスワードリマインダーは、VAIOカスタマーパスワードを忘れてしまったときに備え、あらかじめ設定しておいた質問と答えを使って、パスワードの初期化と再設定を行える便利な機能です。

9 ご登録いただく内容をご確認の上で、[次へ]をクリックする。

「接続方法の選択」画面が表示されます。

10 「VAIOオンラインカスタマー登録専用回線」の○をクリックして

●にし、[次へ]をクリックする。

「発信方式の設定」画面が表示されます。

ご注意

- 外線発信(0発信)はできません。
- 「インターネット経由」を選んでご登録いただく場合、接続料金はおお客様の負担となります。
- ターミナルアダプタ、携帯電話、PHSなど、お使いになる通信機器によっては、正しく接続できないことがあります。この場合は、本機のモジュラジャックと一般電話回線をつなぎ(78ページ)、通信を行ってください。



- [次へ]をクリックすると、手順11に進む前に「接続デバイスの選択」画面が表示されることがあります。この場合は、通信に使う機器を選び、[次へ]をクリックしてください。
- 「インターネット経由」を選んで[次へ]をクリックしたときは、「インターネット経由の接続設定」画面が表示されますので、画面の指示に従って操作してください。
また、LANの環境などによっては、「インターネット経由の接続設定」画面でプロキシの設定をする必要があります。プロキシの設定について詳しくは、各法人・団体様のシステム管理者におたずねください。

11 お使いの電話回線のダイヤル方法を選び、[次へ]をクリックする。

「登録確認」画面が表示されます。



- 本機を一般電話回線につないでいるときのみトーン式/パルス式ダイヤルを選びます。
- トーン式ダイヤルとは
電話機のダイヤルボタンを押すと「ピボパ」と音がし、「カチカチ」という音がしない電話機のダイヤル方法です。
- パルス式ダイヤルとは
ボタンではなくダイヤルを回す電話機、またはダイヤルボタンを押すたびに「カチカチ」という音がする電話機のダイヤル方法です。
- お使いの電話回線のダイヤル方法がわからない場合は、電話会社から送られてくる請求内訳表をご覧ください。請求内訳表の中に「プッシュ回線使用料」と記載されている場合は「トーン式ダイヤル」です。回線(基本)使用料のみ記載されている場合は「パルス式ダイヤル」です。電話回線のダイヤル方法について詳しくは、契約している電話会社へお問い合わせください。

12 電話回線がつながっていることを確認し、[登録]をクリックする。

登録内容が電話回線を通じて送られ、送信が終わると「ご登録の完了」画面が表示されます。



オンラインご登録時にお知らせする「VAIOカスタマーID」と「VAIOカスタマーパスワード」は、正規の「VAIOカスタマーID」と「VAIOカスタマーパスワード」が届くまでの間ご使用いただく仮のIDとパスワードです。正規のIDとパスワードは後日、ソニーより「VAIO Customer's Card」「1年間保証書」などとともにお知らせいたします。

なお、次の手順13、14の操作を行い、仮のIDとパスワードの情報をファイルとして保存しておくことをおすすめします。

ご注意

ターミナルアダプタ、携帯電話、PHSなど、お使いになる通信機器によっては、正しく送信できないことがあります。この場合は、本機のモジュラジャックと一般電話回線をつなぎ(78ページ)、送信を行ってください。

13 [ID、パスワードをファイルに保存]をクリックする。

「名前を付けて保存」画面が表示されます。

14 ファイルに任意の名前を付け、[保存]をクリックする。

お客様のカスタマーIDとパスワードの情報がファイルとして「マイドキュメント」フォルダの中に保存されます。

ご注意

保存されたデータを他人に見られたり、紛失しないようご注意ください。

15 [OK]をクリックする。

「インターネット 接続サービスのご紹介」画面が表示されます。



- [OK]をクリックすると、サービス内容などをお知らせする画面が表示されることがあります。この場合は、[次へ]をクリックしてください。「インターネット 接続サービスのご紹介」画面が表示されます。
- VAIOカスタマーご登録が終わると、デスクトップ画面上に  が表示されます。このアイコンをダブルクリックすると、VAIOに関するサービス・サポート情報やVAIOホームページのご案内などのお知らせを見ることができます。

これでオンラインカスタマーご登録は終了です。引き続きインターネットに接続する設定を行うときは、画面の指示に従って操作してください。インターネットを利用しない、または後で入会手続きを行う場合は、[キャンセル]をクリックします。インターネット接続について詳しくは、「インターネットを始める」(70ページ)をご覧ください。

「ヘルプとサポートセンター」について

「ヘルプとサポートセンター」は、WindowsやVAIOの使いかたのFAQ(よくある質問とその回答)の検索、最新情報の入手など、サポートに関する情報の入り口です。困ったときは、まず「ヘルプとサポートセンター」をご覧ください。

「ヘルプとサポートセンター」を見るには

デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックして、表示されるメニューから[ヘルプとサポート]をクリックする。
「ヘルプとサポートセンター」画面が表示されます。



デスクトップ画面上の  をダブルクリックしても表示できます。



① ナビゲーションバー

よく使用するページを登録したり、開いたページの履歴を参照することができます。ここからVAIOマニュアル「サイバーサポート」を起動することもできます。

② 検索

WindowsやVAIOで調べたいことをキーワード検索できます。

③ Windows XPのヘルプ

WindowsやVAIOの使いかたのFAQ(よくある質問とその回答)を見ることができます。

④ VAIOの情報はこちら

VAIOマニュアル「サイバーサポート」や、VAIOカスタマーリンクのホームページなどを見ることができます。「サイバーサポート」の使いかたについて詳しくは、「マニュアルの使いかた」(44ページ)をご覧ください。

⑤ サポートツール

困ったとき、設定を変更したいとき、Windowsの操作を学習するときなどに役に立つソフトウェアを起動したり、関連する情報を見ることができます。

⑥ 最新サポート情報

WindowsやVAIOの最新サポート情報を見ることができます。



「ヘルプとサポートセンター」の情報の中には、インターネットに接続することによって、最新の情報に更新されるものがあります。インターネットに接続するための設定について詳しくは、「インターネットを始める」(70ページ)をご覧ください。



マニュアルの使いかた

「サイバーサポート」ってなに？

VAIO マニュアル「サイバーサポート (CyberSupport for VAIO)」(以降「サイバーサポート」と略します)はVAIOについての情報の入り口です。VAIOの使いかたを知りたいときや、VAIOを使っていて困ったことがあったときは「サイバーサポート」を開いてください。

デスクトップ画面の
アイコンを
ダブルクリック



「サイバーサポート」はVAIOの使いかた、楽しみかたを画面上で説明する電子マニュアルです。この説明書に載っていない情報も、「サイバーサポート」で調べることができます。



デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックして[ヘルプとサポート]をクリックし、表示された「ヘルプとサポート センター」画面から[VAIO マニュアル CyberSupport]をクリックしても、「サイバーサポート」を表示できます。

こんなときに「サイバーサポート」

目的に合わせて、「サイバーサポート」の情報をご覧ください。

コンピュータを初歩から学びたいときは

→  **できる Windows**

Windowsの操作方法や文字入力の練習など、コンピュータの基本的な使いかたに関する情報が載っています。

インターネットを楽しみたいときは

→  **インターネット**

はじめてインターネットを使用するときの設定のしかたや、ホームページの見かた、電子メールのやりとりに関する情報が載っています。

VAIOの基本的な使いかたを知りたいときは

→ **VAIOの使いかた**

本機の基本的な使いかたの説明を見ることができます。

VAIOに付属しているソフトウェアを活用したいときは

→ **VAIOの楽しみかた**

本機に付属しているソフトウェアの説明や、楽しみかたの紹介が載っています。

なにかトラブルが起きたら

→ **困ったときは**

本機を操作していて困ったときの解決方法や、トラブルが発生したときの対処方法の説明を見ることができます。

→ **サービス/サポート**

VAIOについてのサービスやサポートを受けるための説明を見ることができます。

意味の分からない用語があったら

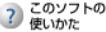
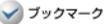
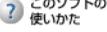
→ **用語集**

コンピュータ用語の説明を見ることができます。

画面の見かた

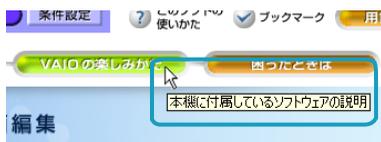


①ナビゲーションボタン	
<p> トップへ戻る</p> <hr/> <p> 戻る 進む</p> <hr/> <p><input type="checkbox"/> 表示切替</p>	<p>「サイバーサポート」を開いたときに、最初に表示される画面に戻ります。(56ページ)</p> <hr/> <p>前に見ていた画面に戻ったり、また進んだりできます。(56ページ)</p> <hr/> <p>一部のボタンを隠して、本文ページをより広く表示できるようにします。(56ページ)</p>
②マニュアル表示ボタン	
<p> できる Windows</p> <hr/> <p>インターネット</p> <hr/> <p>VAIOの使いかた</p> <hr/> <p>VAIOの楽しみかた</p> <hr/> <p>困ったときは</p> <hr/> <p>サービス/サポート</p>	<p>Windowsの基本的な使いかたの説明を見ることができます。</p> <hr/> <p>インターネットに接続して、ホームページや電子メールを楽しむための説明を見ることができます。</p> <hr/> <p>本機の基本的な使いかたの説明を見ることができます。</p> <hr/> <p>本機に付属しているソフトウェアの説明を見ることができます。</p> <hr/> <p>本機を操作していて困ったときの解決方法や、トラブルが発生したときの対処方法の説明を見ることができます。(54ページ)</p> <hr/> <p>VAIOについてのサービスやサポートを受けるための説明を見ることができます。</p>

③キーワード検索エリア	
	キーワードを入力して情報を探すことができます。(53ページ)
	検索条件を設定したり、あらかじめ用意された質問文例などからキーワードを選んで情報を探すことができます。
④	
	「サイバーサポート」の使いかたを見ることができます。
	よく見るページを登録することができます。登録したページは簡単に呼び出すことができます。詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の  をクリックし、「[サイバーサポート]を使ってみよう」→[便利な使いかた]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。
	コンピュータ用語の説明を見ることができます。
⑤	
本機に付属しているソフトウェアの楽しみかたの紹介です。見たいトピックをクリックしてください。	
⑥	
	「サイバーサポート」で検索できる情報を更新します。(57ページ)
	VAIOカスタマーリンクのホームページを見ることができます。(57ページ)
	ソニーのホームページを見ることができます。



「サイバーサポート」画面上にある各ボタンにポインタを近づけると、ボタンをクリックしたときに表示される情報の内容が表示されます。



「サイバーサポート」を使ってみよう

「サイバーサポート」は「Microsoft Internet Explorer Version 6.0」ソフトウェアを使って表示されます。

ご注意

「Microsoft Internet Explorer Version 6.0」以外のソフトウェアでは正しく表示されないことがありますので、必ず「Microsoft Internet Explorer Version 6.0」ソフトウェアを使って表示させてください。

「サイバーサポート」を開く

- 1 デスクトップ画面の上のをダブルクリック(タッチパッドの左ボタンを2回続けて押す)する。

「サイバーサポート」画面が表示されます。

デスクトップ画面の
アイコンを
ダブルクリック



- デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックして[ヘルプとサポート]をクリックし、表示された「ヘルプとサポート センター」画面から[VAIOマニュアル CyberSupport]をクリックしても、「サイバーサポート」を表示できます。
- 初めて「サイバーサポート」を開いたときは、「使用許諾の確認」画面が表示されます。画面に表示された内容を読み、内容に同意するときは[同意する]をクリックしてください。
[同意しない]をクリックすると、「サイバーサポート」は開くことができません。

「サイバーサポート」を閉じる

1 「サイバーサポート」画面の右上にある をクリックする。



- 「サイバーサポート」画面右上にある  (最小化) ボタンを使って、「サイバーサポート」をデスクトップ画面から隠す(最小化する)ことができます。最小化したウィンドウはタスクバーのボタンをクリックすると元のサイズに戻ります。
- 「サイバーサポート」をデスクトップ画面上に表示させたまま、他のソフトウェアなどを操作することもできます。

目次から情報を探す

「サイバーサポート」画面上部の **できる Windows**、**インターネット**、**VAIOの使いかた**、**VAIOの楽しみかた**、画面下部の **サービス/サポート**

のボタンを押すと、左画面に目次が、右画面に情報が表示されます。左画面の目次から、探したい情報をクリックして選んでください。

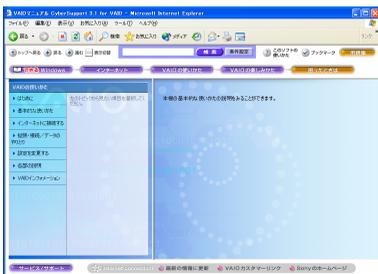
1 「サイバーサポート」画面上のいずれかのボタンをクリックする。

クリックしたボタンに含まれる情報の目次が左画面に表示されます。

項目をクリックすると



目次が表示されます



2 目次から表示したい項目を選び、クリックする。

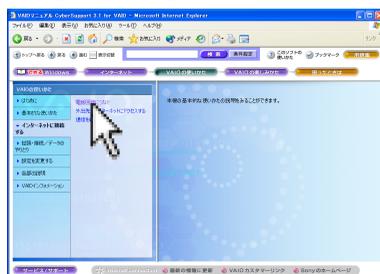
項目の最初に ▶ がついている項目をクリックすると、▶ が ▼ になり、さらに詳しい項目が表示されます。



3 知りたい項目をクリックする。

右画面にその情報が表示されます。

項目をクリックすると

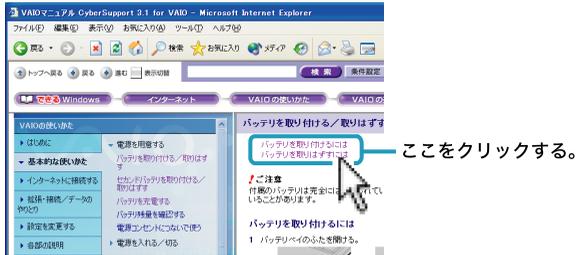


右画面に情報が表示されます



ページの見かた

- ページの冒頭に見出しが表示されているときは、見たい内容の見出しをクリックすると、同じページ内の目的の情報が表示されます。



- 本文中の【詳細】をクリックすると、その内容のさらに詳しい説明のあるページが表示されます。
- 「ここにも注目」の見出しをクリックすると、見ているページに関連する項目のあるページが表示されます。

キーワードで情報を探す

- 1 「サイバーサポート」画面上部のキーワード検索エリアにキーワードを入力する。

ここにキーワードを入力する。



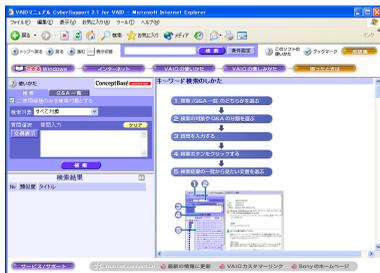
- 2 **検索** をクリックする。

検索結果の一覧が表示されます。一覧から見たい情報を選びます。



条件設定 をクリックすると、検索対象を絞り込んだり、あらかじめ用意された質問文例などからキーワードを選んで検索することができます。

条件設定 をクリックすると、右画面に検索のしかたの説明が表示されます。詳しくはそちらの説明をご覧ください。



困ったときの情報の探し方

- 1 「サイバーサポート」画面上部の **困ったときは** をクリックする。



- 2 左画面の表示したい項目をクリックする。
右画面にトラブルとその解決方法が表示されます。



「サイバーサポート」画面上部のキーワード検索エリアにある **条件設定** をクリックしてキーワード検索をすると、VAIOカスタマーリンクに寄せられたFAQ(よくある質問とその回答)などから上記以外のトラブル解決方法を見ることができます。

ソニーのホームページを見る

- 1 インターネットに接続する。
- 2 「サイバーサポート」画面右下の  Sonyのホームページ をクリックする。
ソニーのホームページが一覧表示されます。
- 3 表示したいホームページをクリックする。
ホームページが表示されます。

ご注意

ホームページを見るには、あらかじめインターネットに接続するための設定および接続が完了している必要があります。インターネットの設定や接続について詳しくは、「インターネットを始める」(70ページ)をご覧ください。

便利な使いかた

「サイバーサポート」を表示しているブラウザの機能を使ってより便利に使いこなすことができます。

前に見ていた画面に戻るには

 **戻る** をクリックします。

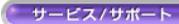
元のページに戻るには、 **進む** をクリックします。

最初の画面に戻るには

 **トップへ戻る** をクリックします。

画面の大きさを切り替えるには

「サイバーサポート」画面上部の  **表示切替** をクリックします。

 **サービス/サポート** などの一部のボタンが隠れ、より多くの情報が一度に表示されるようになります。

隠れたボタンを元に戻すには、もう1度  **表示切替** をクリックします。



より多くの情報が表示されるように、「Microsoft Internet Explorer」のツールバー表示の一部を隠すことができます。「表示」メニューから[ツールバー]を選び、[標準のボタン]などをクリックします。再度クリックすると元の表示に戻ります。

文字の大きさを変更するには

「サイバーサポート」の右画面に表示されている文字の大きさを変更できます。「表示」メニューから[文字のサイズ]を選んでクリックし、好みのサイズに設定します。

見ている画面を印刷するには

「ファイル」メニューから[印刷]を選んでクリックし、プリンタの設定を確認して[OK]をクリックします。



あらかじめプリンタを接続、設定しておく必要があります。

VAIOについての最新情報を見る

VAIOカスタマーリンクのホームページでは、お使いの製品の最新情報を提供しています。

VAIOカスタマーリンクのホームページを見るには、あらかじめインターネットに接続できるよう設定しておく必要があります。インターネット接続について詳しくは、「インターネットを始める」(70ページ)をご覧ください。

VAIOカスタマーリンクのホームページを見る

VAIOカスタマーリンクのホームページではお客様の疑問や質問を解決するための各種サービスと、VAIOに関するサービスやサポート体制についての最新情報を提供していますので定期的にご覧ください。

VAIOカスタマーリンクのホームページを見るには、「サイバーサポート」画面下部の  **VAIOカスタマーリンク** をクリックします。

VAIOカスタマーリンクのホームページが表示されます。

「サイバーサポート」で検索できる情報を更新する

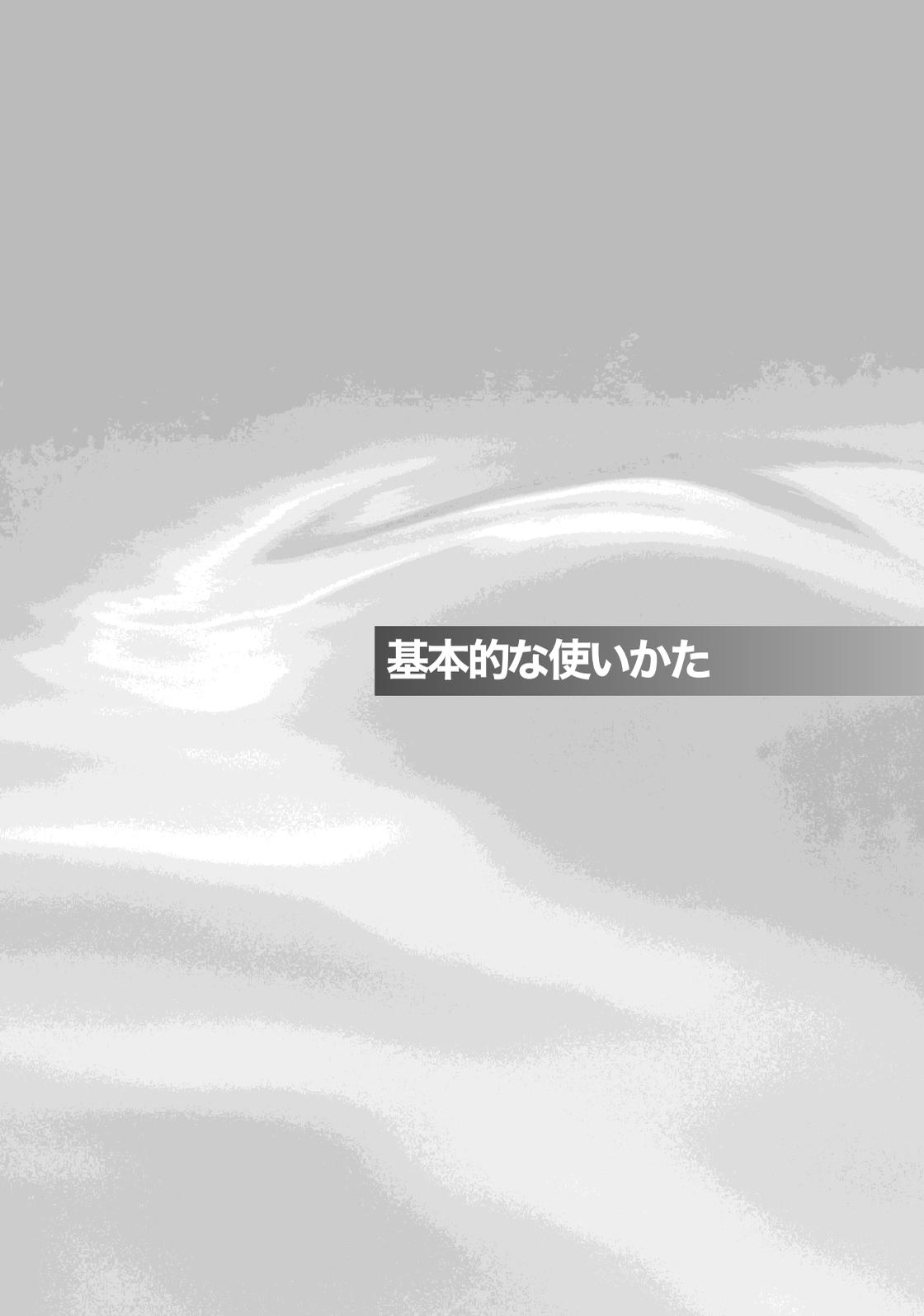
VAIOカスタマーリンクのホームページにアクセスし、「サイバーサポート」で検索できる情報を更新することができます。

更新のしかたについて詳しくは、「サイバーサポート」画面下部の

 **最新の情報に更新** をクリックして表示される情報をご覧ください。

ご注意

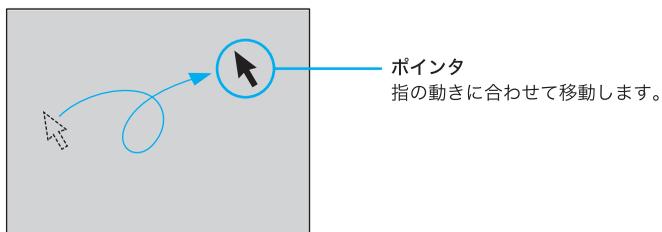
初めて更新するときは、数十分時間がかかることがあります。



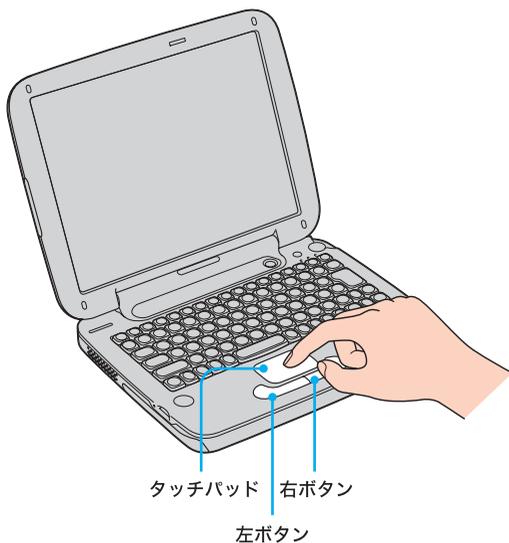
基本的な使いかた

タッチパッドを使う

タッチパッドに触れて指を動かすと、画面上的ポインタも同じ方向に移動します。



ポインタを目的の位置まで動かして左または右のボタンを押すだけで、メニューを選んだり、さまざまな命令をコンピュータに伝えることができます。



クリックする

ポインタを希望の位置に合わせて、タッチパッドの手前にある左ボタンを1回押します。[OK]や[キャンセル]などのボタンを押したり、メニューを選ぶときなどに使います。
また、タッチパッドを指で1回軽くたたいても同じ働きをします。

ダブルクリックする

ポインタを希望の位置に合わせて、左ボタンを2回続けて押します。ワードプロセッサや表計算などのソフトウェアを実行したり、作成した文書などのファイルを開くときなどに使います。
またタッチパッドを、2回続けて軽くたたいても同じ働きをします。

右クリックする

ポインタを希望の位置に合わせて、右ボタンを1回押します。
押したときのポインタの位置によって、さまざまな内容のポップアップメニューが表示されます。

ドラッグする

ポインタを希望の位置に合わせて、左ボタンを押したまま、タッチパッド上で指を動かし、希望の位置でボタンを離します。ファイルを移動したり、ウィンドウの大きさを変更するときなどに使います。
また、タッチパッドを2回続けて軽くたたき、そのままタッチパッド上で指を動かしても同じ働きをします。

ドラッグアンドドロップする

ファイルなどのアイコンをドラッグし、他のフォルダやウィンドウ、ソフトウェアのアイコンなどの上で左ボタンを離します。ファイルを移動したり、コピーするときなどに使います。

スクロールする

指をタッチパッド上の右端に合わせて、上下に動かします。選択されているウィンドウ上の垂直方向のスクロールバーを移動できます。
指をタッチパッドの右上または右下に置いたままにして、上方向または下方向にスクロールし続けることができます。
また、指をタッチパッドの下端に合わせて、左右に動かします。選択されているウィンドウ上の水平方向のスクロールバーを移動できます。



上記は工場出荷時の設定です。設定を変更したり、タッチパッドをより便利に使うこともできます。詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の

VAIOの使いかた

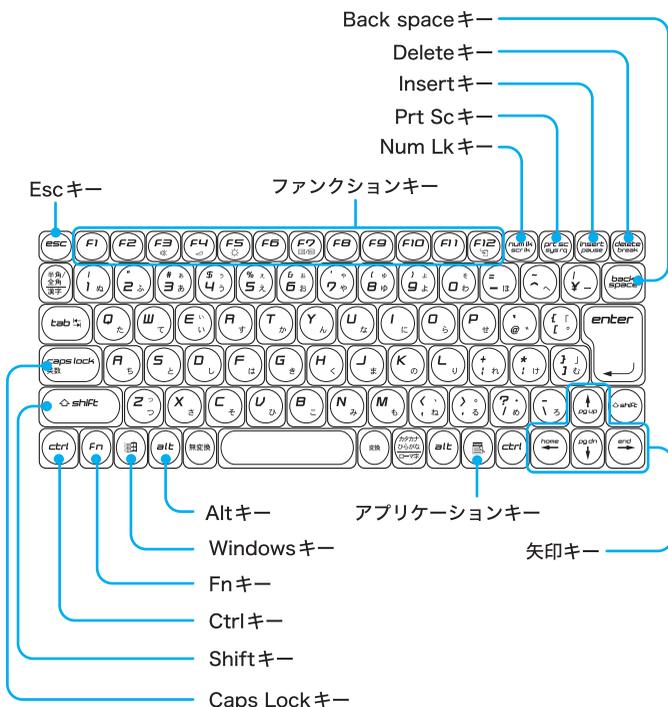
をクリックし、[設定を変更する]→[タッチパッドをカスタマイズする]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

キーボードを使う

キーボードを使って文字や記号を入力したり、コンピュータへ命令を送ることができます。ここでは、主なキーのなまえと機能を紹介します。使用するソフトウェアによって働きが異なるものもあります。各ソフトウェアのヘルプもあわせてご覧ください。

ご注意

- キートップがはずれてしまったら、「キートップがはずれた」(140ページ)をご覧ください。
- キートップを故意にはずしたり、取り付けるときに無理に力を加えると故障や破損の原因となります。取り扱いにはご注意ください。



なまえ	機能
Esc(エスケープ)キー	設定を取り消したり、実行を中止するときなどに押します。
ファンクションキー	使用するソフトウェアによって働きが異なります。Fnキーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。詳しくは、「Fnキーとの組み合わせ」(67ページ)をご覧ください。

なまえ	機能
Num Lk(ナムロック)キー	<p>テンキーと組み合わせて使うと、数字を入力できます。Num Lkキーを押すと、キーボードの右上にある  (Num Lock) ランプが点灯します。もう1度、Num Lkキーを押すと消灯します。</p> <p>詳しくは、「Num Lkキーの機能」(65ページ)をご覧ください。</p>
PrtSc(プリントスクリーン)キー	<p>表示されている画面全体をクリップボードに取り込みます。Altキーを押しながらこのキーを押すと、選択されているウィンドウだけを取り込みます。取り込んだ画像は「ペイント」などのソフトウェアで保存、加工、印刷できます。</p>
Insert(インサート)キー	<p>文字入力モードを切り替えます。文字を入力するとき、このキーを押すごとにカーソルの位置に文字を挿入するか、カーソルの位置から文字を上書きするか切り替えることができます。使用するソフトウェアによっては、働かない場合があります。</p>
Delete(デリート)キー	<p>カーソルの右側の文字を消します。</p>
Back Space (バックスペース)キー	<p>カーソルの左側の文字を消します。</p>
矢印キー	<p>カーソルを動かしたり、数ページにわたる画面の次ページまたは前ページを表示できます。</p>
アプリケーションキー 	<p>タッチパッドの右ボタンを押したときと同じ働きをします。</p>
Alt(オルト)キー	<p>文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。オルタネートキーともいいます。使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。</p>
Windows(ウィンドウズ)キー 	<p>Windowsの[スタート]メニューが表示されます。</p> <p>他のキーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプおよび「Windowsキーとの組み合わせ」(66ページ)をご覧ください。</p>
Fn(エフエヌ)キー	<p>キーボード上で緑色で表記されている機能を使うとき、このキーと組み合わせて押します。詳しくは、「Fnキーとの組み合わせ」(67ページ)をご覧ください。</p>

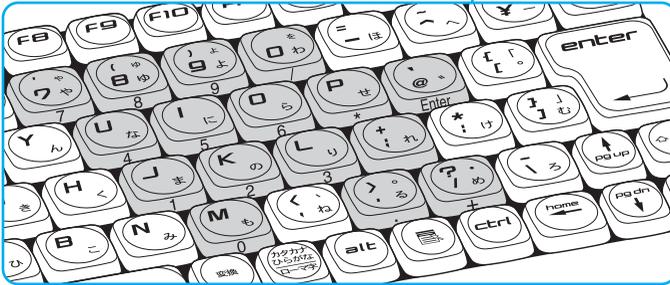
なまえ	機能
Ctrl(コントロール)キー	<p>文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。</p> <p>例)Ctrlキーを押しながら、Sキーを押す。</p> <p>メニューから「保存する」を選ばずに、ファイルを保存できます。</p>
Shift(シフト)キー	<p>文字キーと組み合わせて使うと、大文字を入力できます。また、文字キーと他の機能キーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。</p>
Caps Lock(キャプスロック)キー	<p>Shift(シフト)キーを押しながらこのキーを押し、キーボードの右上にある  (Caps Lock) ランプが点灯しているときに、文字キーを押すと、アルファベットの大文字を入力できます。</p> <p>もう1度、Shiftキーを押しながらこのキーを押すと、 ランプが消え、アルファベットの小文字入力に戻ります。</p>

Num Lkキーの機能

Num Lkキー



テンキー



なまえ

機能

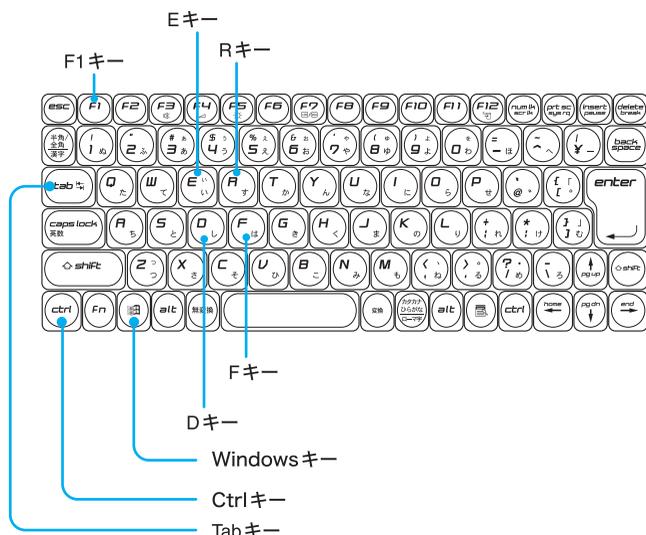
テンキー

Num Lkキーを押し、キーボードの右上にある  (Num Lock) ランプが点灯しているときにこれらのキーを押すと、キー前面に印字されている数字を入力できます。

例)Uキーを押すと「4」が入力されます。

ショートカットキー一覧

Windowsキーとの組み合わせ



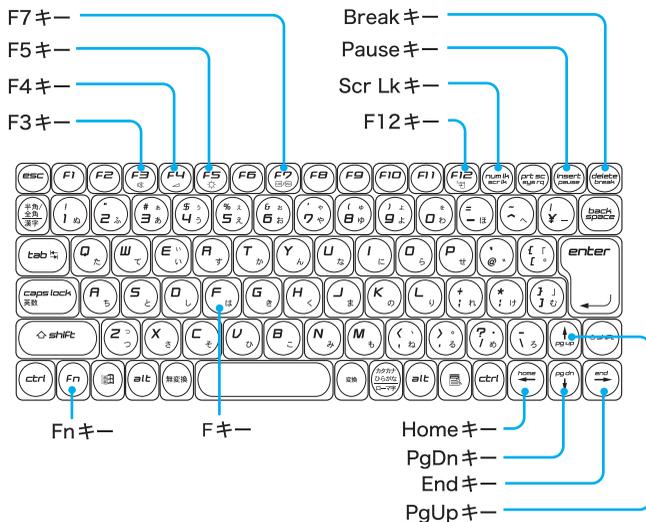
キー操作の表記

例: + F → Windowsキーを押しながらFキーを押す。

組み合わせ	機能
+ F1	Windowsのヘルプを表示します。
+ E	エクスプローラ*を表示します。
+ R	「ファイル名を指定して実行」画面を表示します。 [スタート]メニューから[ファイル名を指定して実行...]を選んだときと同じです。
+ D	表示されているすべてのウィンドウを最小化します。または元のサイズに戻します。
+ F	検索画面を表示します。 [スタート]メニューから[検索]を選んだときと同じです。
+ Ctrl + F	コンピュータの検索画面を表示します。
+ Tab	タスクバーに表示されているボタンの選択を切り替えます。

* コンピュータの内容(ファイルやフォルダ)をツリー図で表示します。作成したファイルなどがコンピュータのどこに保存されているか、一目で確認できます。

Fnキーとの組み合わせ



キー操作の表記

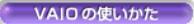
例: Fn + ㊦ (F3) → Fnキーを押しながら F3キーを押す。

組み合わせ	機能
Fn + ㊦ (F3)*	本機の内蔵スピーカーまたは付属のステレオスピーカーの音声を入/切します。
Fn + ㊤ (F4)*	本機の内蔵スピーカーまたは付属のステレオスピーカーの音量が調節できます。このコマンドを実行すると、数秒間だけ音量表示が表示されます。このときに↑または→キーを押すと大きくなり、↓または←キーを押すと小さくなります。
Fn + ㊧ (F5)*	液晶ディスプレイの明るさを調節できます。このコマンドを実行すると、数秒間だけ明るさ表示が表示されます。このときに↑または→キーを押すと明るい画像になり、↓または←キーを押すと暗い画像になります。
Fn + ㊨ (F7)*	MONITOR コネクタに接続した外部ディスプレイなどと、本機の液晶ディスプレイの表示を切り替えます。 液晶ディスプレイのみ→液晶ディスプレイと外部ディスプレイ同時表示→外部ディスプレイのみ→液晶ディスプレイのみ→...

組み合わせ	機能
Fn +  (F12)	本機の液晶ディスプレイやCPUだけでなく、ほとんどの電源供給を停止します(休止状態)。使用環境はハードディスクに書き込まれるので復帰後もそのまま作業ができ、電源オフからの起動よりも早く本機を使用できます。
Fn + Scr Lk(スクロールロック)キー	使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
Fn + Pause(ポーズ)キー	使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
Fn + Break(ブレイク)キー	使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
Fn + PgUp(ページアップ)キー	現在表示している画面の前のページを表示します。
Fn + End(エンド)キー	行の最後にカーソルを移動します。
Fn + PgDn(ページダウン)キー	現在表示している画面の次のページを表示します。
Fn + Home(ホーム)キー	行の先頭にカーソルを移動します。
Fn + F	画面の解像度を液晶パネルの解像度より低くしているとき、液晶ディスプレイ表示の拡大/縮小を切り替えることができます。

ご注意

本機の液晶ディスプレイに表示している場合のみ拡大/縮小表示することができます。

* ジョグダイヤルを使っても操作ができます。詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の  をクリックし、[基本的な使いかた]→[ジョグダイヤルを使う]→[「ジョグダイヤルランチャー」画面]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

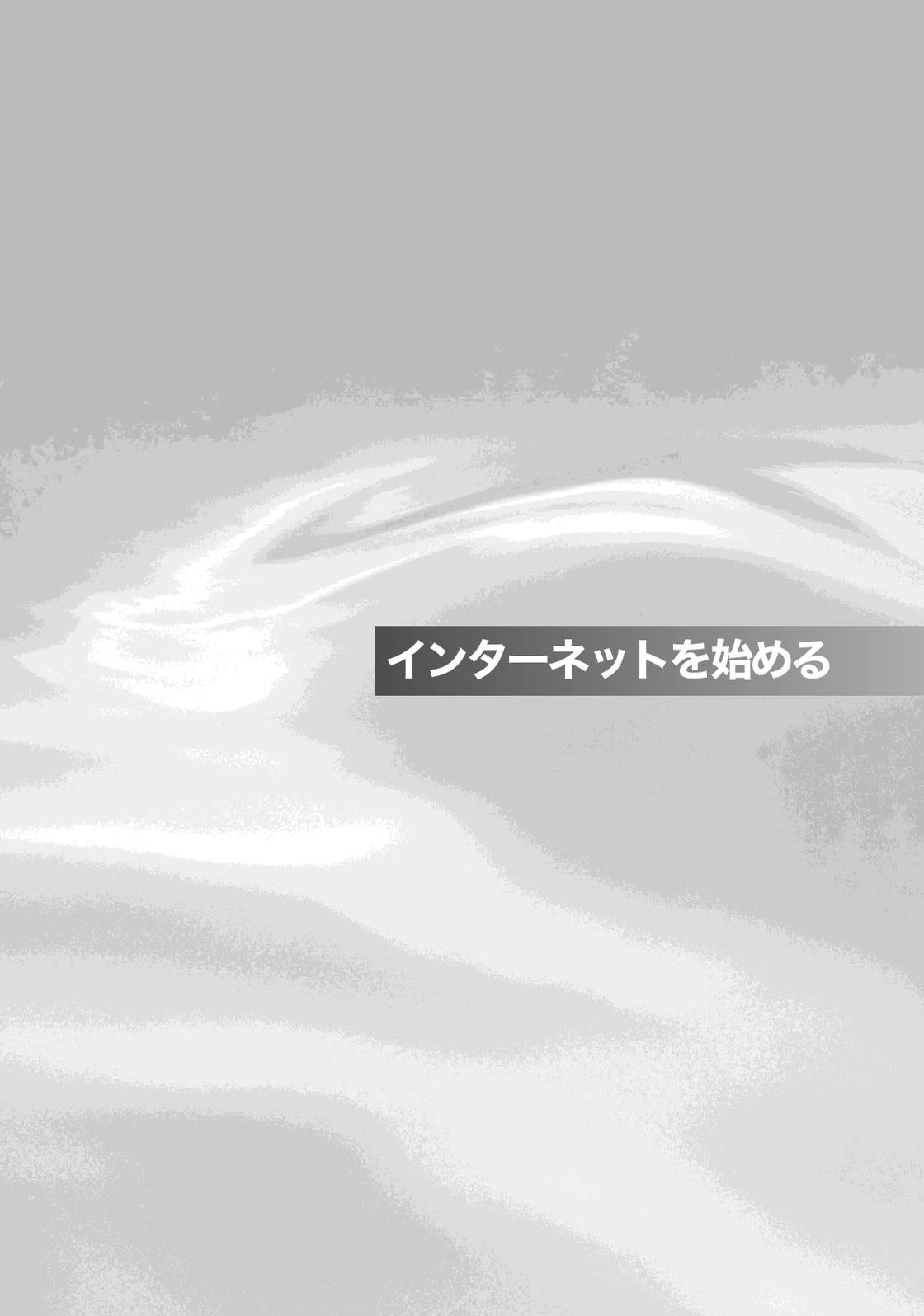


Fnキーを5回押して「固定Fnキー機能」画面を表示し、[固定Fnキー機能を使用する]をチェックしてから[OK]をクリックすると、同時に2つのキーを押さずに、Fnキーと他のキーをそれぞれ押して上記の操作を行うことができます。

Fnキーの固定を解除するには、通知領域の  を右クリックし、[固定Fnキー機能を無効にする]をクリックします。

ご注意

Windows起動後でないとは作動しないものがあります。

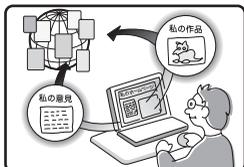


インターネットを始める

インターネットとは

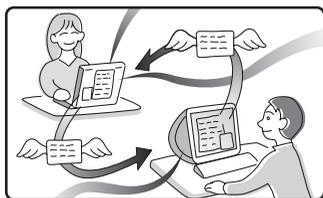
インターネットとは、世界中のコンピュータがつながった、地球規模のネットワークのことです。ここではインターネットでできることを簡単に紹介します。

ホームページを見る



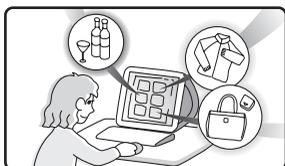
自分の意見を発言する。
趣味の仲間をつのる。
絵や文芸作品を発表する。
仕事の広告を出す。
世界中が読者です。

電子メールをやりとりする



世界各国に時間を気にすることなく好きなときに、電子メールを送れます。

オンラインショッピングをする



食べ物や衣類など、家に居ながら遠く離れた外国でも行きつけのお店の感覚で買い物ができます。

情報を発信する



世界の景色を見る。
ホテルや乗物の予約をする。
調べたい情報を検索する。
趣味の仲間をさがす。
すべてが地球規模です。

インターネット接続に必要なものは

世界中の情報に接することのできるインターネットですが、インターネット自体は電話回線のように、ケーブルがつながったものでしかありません。情報を受け取ったり、発信したりするためには専用のソフトウェアが必要になります。

また、電話回線を通してインターネットにつなぐためにインターネット接続サービスを提供する会社と契約する必要があります。

インターネットに接続するために必要なものは以下の通りです。

電話回線

電話回線には一般電話回線とISDN回線の2種類があります。電話を使っている回線が一般電話回線です。

ISDN回線をお使いになる場合はNTT(局番なしの116番)にご相談ください。

ADSLについて

ADSLとは、「Asymmetric Digital Subscriber Line」の略で、一般電話回線を利用してインターネットへ高速に常時接続できるサービスのことです。

このサービスを利用するには、ADSL接続サービスを提供している接続業者と契約し、申し込むことが必要です。

ADSL接続サービスの申し込み方法、料金、必要な機器とその接続方法について詳しくは、契約するADSL接続サービスを提供している接続業者にお問い合わせください。

本機からADSL接続サービスの申し込みを行うことができます。詳しくは、デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックし、[ここから始めようVAIO!]→[ブロードバンド常時接続サービスのご紹介]の順をクリックして、表示される「ブロードバンド常時接続サービスのご紹介」画面で、各接続業者の紹介画面をご覧ください。

ターミナルアダプタ

コンピュータや従来の一般電話回線対応の通信機器、電話機をつなぐためのISDN回線用の機器です。ISDN回線を使って本機を使用するためには、本機他にこの機器が必要になります。

ターミナルアダプタについて詳しくは、NTT(局番なしの116番)またはターミナルアダプタの製造元にお問い合わせください。

モデム

電子メールをやりとりしたり、インターネット上のホームページを見るために電話をかける装置です。本機には内蔵されていますので、準備する必要はありません。

ソフトウェア

インターネットに接続してホームページを見るには専用のソフトウェア（「ウェブブラウザ」と言います。）が必要です。また、電子メールをやりとりするにも専用のソフトウェアが必要です。本機には両方の専用ソフトウェアが付属しています。

本機には以下のウェブブラウザおよび電子メールソフトウェアが付属しています。

ウェブブラウザ



Microsoft Internet Explorer

電子メールソフトウェア



Outlook Express



Eudora



PostPet

この説明書では、「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアと「Outlook Express」ソフトウェアの設定と使いかたを中心に説明していきます。

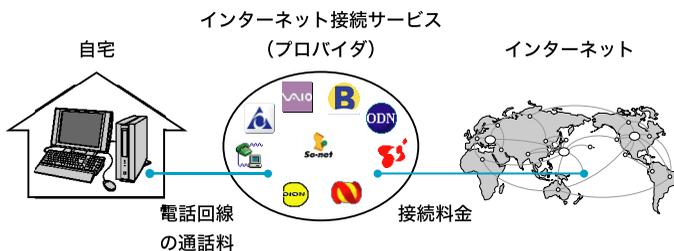
これらのソフトウェアの特長について詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の **VAIOの楽しみがた** をクリックし、[付属ソフトウェアの一覧]→[コミュニケーション]の順にクリックして、各ソフトウェアの紹介をご覧ください。

インターネット接続サービス(インターネットサービスプロバイダ)

インターネットにつなぐためには、インターネット接続サービスを提供する会社と契約する必要があります。この会社のことを「インターネットサービスプロバイダ」または単に「プロバイダ」と言います。(以下、「プロバイダ」と記します。)

プロバイダはインターネットと本機との間を仲介する役割を持っています。プロバイダと契約すると、インターネットを使って、いろいろな情報が載ったホームページを簡単に見ることができます。また、「電子メールアドレス」という、あなたの住所のようなものが契約時に用意されます。電子メールアドレスは、電子メールを送受信するときの宛先になります。これらのサービスの他に、契約するプロバイダによっていろいろなサービスがあります。

プロバイダと契約すると、サービスに応じた接続料金がかかります。また、プロバイダには電話回線を使って接続するので、接続料金とは別に電話回線の通話料がかかります。



ご注意

- 本機および付属ソフトウェアの設定によっては、本機の電源を切っている間でも、自動的にインターネットに接続することがあります。自動接続すると、接続を自動的に終了しないことがあります。この場合、通話料と接続料金が多額になる可能性がありますので、ご注意ください。
- インターネットに接続している間は、電話をかけたり、受けたりできないことがあります。

インターネット上のトラブルについて

現在一般に普及し、さまざまなサービスを提供しているインターネットですが、普及に伴いトラブルも発生しています。

インターネットは非常に便利なものですが、使いかたを誤ったり、安易な気持ちで使用するとおぼろげなトラブルにあう可能性があります。

インターネット上の情報について

インターネット上の情報はすべてが正しいとは限りません。

ひぼう・中傷・暴力・わいせつなど、情報を受ける側もモラルを持って情報を利用する必要があります。

また、情報を発信する場合もマナーを守って行わないと、気がつかないところで自分が加害者になる恐れもあります。

ユーザー名やパスワードなどは他人に知られないように管理してください。

コンピュータウイルスやチェーンメールなどの被害について

ホームページからダウンロードしたファイルや悪意を持った人たちから突然送られてくる電子メールには、コンピュータウイルス(コンピュータの動作に悪影響を与えるプログラム)が潜んでいたり、チェーンメールなどにより不快な内容の電子メールが送られてくることもあります。

見知らぬ人から電子メールが送られてきた場合は、安易に開いたり、プログラムを実行せずに削除してください。

また、できるだけインターネットサービスプロバイダなどに報告して、自分が加害者にならないようにしましょう。

情報の機密性について

ソフトウェアやOSなどの不具合により、コンピュータの情報などがインターネット上にもれ出すことがあります。悪意を持った人たちの標的になりやすいため対応することが必要です。

ウェブブラウザやOSの各ソフトウェアの情報が、開発元のホームページなどに掲載されていますので、不具合情報をこまめに確認することをおすすめします。

また、電子メールには完全な機密性はありません。送信する内容にはご注意ください。

インターネットショッピングでのトラブル

インターネットショッピングをするときに、むやみにクレジットカードの番号を入力しないようにご注意ください。プライバシー情報がもれる可能性があります。

注文した品物と違う、代金を送金したのに品物が届かないなどのトラブルも発生しています。できるだけ信用のおけるところを利用するなどの注意が必要です。

その他

インターネット上で無料で公開されているソフトウェアの中には、国際電話やダイヤルQ2などに接続してしまうものもあります。

知らない間に接続し、課金されている場合がありますのでご注意ください。

- インターネット上での個人情報の公開には細心の注意を払いましょう。
- 社会的に犯罪とされているものはインターネット上でも犯罪です。

インターネットに接続するまでの流れ

インターネットを利用してホームページを見たり、電子メールをやりとりするには、本機をインターネットに接続する必要があります。

以下の流れに従ってインターネットに接続します。詳しくは、各手順の参照ページをご覧ください。

ご注意

「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみインターネットに接続するための設定を行うことができます。

1 電話回線につなぎましょう (78ページ)

本機を電話回線につなぎます。

電話回線にISDN回線をお使いになる場合は、NTT (局番なしの116番) にご相談ください。

2 プロバイダと契約しましょう (81ページ)

プロバイダと契約します。契約すると、インターネット接続に必要な情報が記載された資料が郵送されてきます。

3 チェックシートを作成しましょう (85ページ)

プロバイダから郵送されてきた資料をもとに、チェックシートを作成します。資料の内容など、インターネット接続の設定の際の不明点については、契約したプロバイダにお問い合わせください (82ページ)。

ご注意

郵送されてくるまでしばらく時間がかかります。

4 接続のための設定をしましょう (91ページ)

チェックシートをもとに、本機を使ってインターネットに接続するための設定をします。

5 電子メールソフトウェアの設定をしましょう (97ページ)

電子メールを使うときは電子メールを使うための設定をします。

6 インターネットに接続してみましょう (102ページ)

契約したプロバイダに接続します。

インターネットに接続したあとは

ホームページを見てみましょう (106ページ)

ホームページを見る練習をします。

電子メールをやりとりしてみましょう (111ページ)

電子メールをやりとりする練習をします。

電話回線につなぐ

付属のテレホンコードを使って本機と電話回線をつなぐと、インターネットなどのデータ通信をしたり、ファックスを送受信できるようになります。本機の内蔵モデム(V.90、K56flex対応)の通信速度は、データ受信時最大56 kbps、データ送信時最大33.6 kbpsです。電話回線の状況によって通信速度は変化することがあります。

お使いの電話回線のコンセントによっては、別売りアクセサリが必要なものもあります。接続する前にコンセントの種類をご確認ください。詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の **VAIOの使いかた** をクリックし、[VAIOインフォメーション]→[知っ得情報]→[電話回線のコンセントの種類]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

ご注意

- 本機の内蔵モデムで使用可能な回線は、一般電話回線です。PBX(構内交換機)回線には接続しないでください。故障・発火の原因になります。
- PBX(構内交換機)回線の中には、回線の電気条件がNTTの一般電話回線と同じものもありますが、接続できるかどうかは、PBXメーカーまたはPBX保守業者にお問い合わせください。
- 分配器を使用して電話回線を分岐すると、モデムおよび接続先の機器が正しく動作しないことがあります。なお、屋内配線の中には分配器経由で各部屋に配線されている場合があります。



本機後面の  NETWORK(ネットワーク)コネクタとネットワーク(LAN)を直接接続することができます。詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の

VAIOの使いかた をクリックし、[拡張・接続/データのやりとり]→[他の機器とデータをやりとりする]→[ネットワーク(LAN)についてデータをやりとりする]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

1 お使いの電話回線のダイヤル方法(トーン式またはパルス式)を確認する。

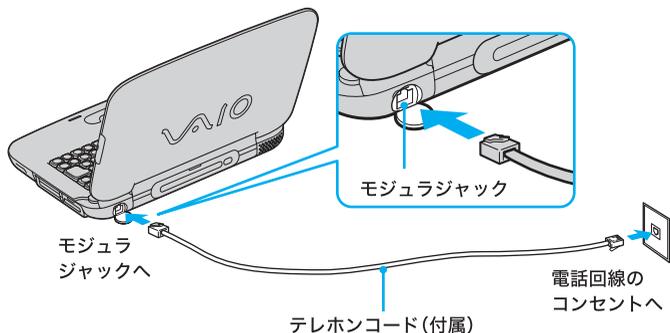
電話機のダイヤルボタンを押すと「ピポパ」と音がし、「カチカチ」という音がしないときはトーン式ダイヤルです。ボタンではなくダイヤルを回す電話機、またはダイヤルボタンを押すたびに「カチカチ」という音がする電話機は、パルス式ダイヤルです。

2 モデムのダイヤル方法を設定する。

- ① [スタート]ボタンをクリックして、[コントロール パネル]をクリックする。
- ② [プリンタとその他のハードウェア]アイコンをクリックする。
- ③ [電話とモデムのオプション]アイコンをクリックする。
「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。
- ④ [ダイヤル情報]タブで所在地を選び、[編集]をクリックする。
「所在地の編集」画面が表示されます。
新しく所在地を設定する場合は、[新規]をクリックして表示される画面で引き続き設定してください。
- ⑤ 手順1で確認したお使いの電話回線のダイヤル方法に合わせて [トーン]または[パルス]を選択する。
- ⑥ 市外局番を入力する。
外線発信番号が必要な場合は、「市内通話の場合の外線発信番号」と「市外通話の場合の外線発信番号」ともに入力してください。
- ⑦ [OK]をクリックし、「所在地の編集」画面を閉じる。
- ⑧ [OK]をクリックし、「電話とモデムのオプション」画面を閉じる。

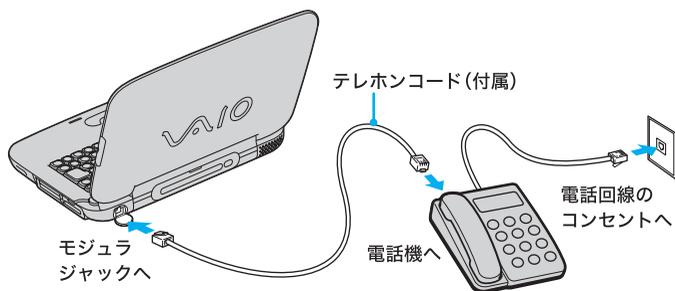
3 モジュラジャックカバーを開け、電話回線につなぐ。

「カチッ」と音がするまでテレホンコードを差し込みます。



ご注意

カバーを開く際は、強く引っ張りすぎないようにご注意ください。
引きすぎると破損の原因となります。
モジュラジャックが2つある電話機をお使いのときは、下図のように接続します。



ご注意

- 本機のモジュラジャックにはテレホンコード以外をつながないようご注意ください。

接続後、お使いになる通信用ソフトウェアで、電話機やファックス、通信方法などの設定をする必要があります。詳しくは、それぞれのソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

ISDN回線を利用するときは

「ISDN回線」とはNTTのデジタル通信網を使った電話回線で、通信速度も速く、1回線で従来の2回線が使えます。ISDN回線を使って本機を使用するには、付属のテレホンコードのほかにターミナルアダプタや従来の一般電話回線対応の通信機器、電話機をつなぐためのISDN回線用の機器が必要です。オンラインカスタマー登録(34ページ)やインターネットに接続してホームページを見たり、電子メールをやりとりするときは、本機のΨ(USB)コネクタとターミナルアダプタのUSBコネクタをつないでください。接続について詳しくは、ターミナルアダプタの取扱説明書をご覧ください。

ADSL接続サービスを利用するときは

ADSL接続サービスは、一般電話回線を利用してインターネットへ高速に常時接続できるサービスです。このサービスを利用するには、ADSL接続サービスを提供している接続業者と契約し、申し込むことが必要です。料金やサービスの内容をご検討のうえ、ご自分にあった接続業者と契約することをおすすめします。本機では、[スタート]ボタンをクリックして[ここから始めようVAIO!]をクリックし、[ブロードバンド常時接続サービスのご紹介]をクリックして表示される「ブロードバンド常時接続サービスのご紹介」画面からADSL接続サービスの申し込みを行うことができます。各接続業者のアイコンをクリックし、料金やサービス内容をご確認のうえ、お申し込みください。

プロバイダと契約する

インターネットに接続するには、インターネット接続サービスを提供する会社「プロバイダ」と契約する必要があります。

数多くのプロバイダがありますので、料金やサービスの内容をご検討のうえ、ご自分にあったプロバイダと契約することをおすすめします。

本機では、デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックし、[ここから始めようVAIO!]→[インターネット接続サービスご紹介]の順にクリックし、表示される「インターネット接続サービスご紹介」画面からプロバイダと契約することができます。各プロバイダのアイコンをクリックし、料金やサービス内容をご確認のうえ、お申し込みください。



- [ここから始めようVAIO!]→[インターネット接続サービスご紹介]の順にクリックしたあとに、特定のプロバイダの紹介画面が最初に表示されます。その他のプロバイダの紹介をご覧になるときは、[その他のインターネット接続サービスのご紹介へ]をクリックしてください。
- 「サイバーサポート」画面上部の  をクリックし、[付属ソフトウェアの一覧]→[コミュニケーション]の順にクリックして各プロバイダの紹介を見することもできます。

ご注意

- 契約時にクレジットカードが必要になるプロバイダもあります。
- 接続料金はプロバイダにより異なります。
- 一部のプロバイダでは、ユーザー権限による制限のため、入会手続きをするオンラインサインアップソフトウェアを起動できない場合があります。詳しくは、下表をご覧ください。

プロバイダ	ユーザー制限
AOL	制限なし
@nifty	「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみ
BIGLOBE	「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみ
DION	「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみ
OCN	「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみ
ODN	「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみ
So-net	「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみ
バイオネットワークサービス	制限なし
ぷらら	制限なし

各プロバイダについて詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の

[VAIOの楽しみかた](#) をクリックし、[付属ソフトウェアの一覧]→[コミュニケーション]の順にクリックして、各プロバイダの紹介をご覧ください。か、下記の各プロバイダの電話番号へお問い合わせください。

プロバイダと契約したあとは

契約後はプロバイダから契約内容とインターネットに接続するために必要な情報が記載された資料がお手元に郵送されてくるまでお待ちください。すぐにインターネットに接続したいときは、契約するプロバイダにご相談ください。

各プロバイダについて詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の

[VAIOの楽しみかた](#) をクリックし、[付属ソフトウェアの一覧]→[コミュニケーション]の順にクリックして、各プロバイダの紹介をご覧ください。か、次ページの電話番号へお問い合わせください。

ご注意

お問い合わせの際は、電話番号をよくお確かめください。

□ AOL

株式会社ドコモAOL AOLサポートセンター

受付時間：9時～21時(年中無休)

会員サポート・入会問い合わせ：(0120)275-265(フリーダイヤル)

携帯電話および国際電話によるサポート：(03)5331-7400

電子メール：AOLJapanMS@aol.com

□ BIGLOBE

BIGLOBEカスタマーサポート インフォメーションデスク

電話番号：(0120)86-0962(フリーダイヤル)

携帯電話：(03)3947-0962

受付時間：24時間365日

電子メール：info@bcs.biglobe.ne.jp

ホームページ：<http://www.biglobe.ne.jp>

□ DION

KDDIカスタマーサービスセンター

サービス内容に関するお問い合わせ

電話番号：(0077)7192(無料)

接続・設定などに関するお問い合わせ

電話番号：(0077)20227(有料、全国一律1分10円)

上記番号につながらない場合は

札幌(011)232-7012／東京(03)5348-3975(有料)

□ @nifty

ニフティ株式会社 @niftyサービスセンター

電話番号：(0120)816-042(フリーダイヤル)

携帯・PHS・国際電話の場合：(03)5753-2374(電話料金はお客様負担となります。)

受付時間：毎日9時～21時

(ビルの電源工事などによりお休みさせていただく場合があります。)

□ OCN

OCNインフォメーションデスク

電話番号：(0120)047-815(フリーダイヤル)

受付時間：9時～21時(月～金曜日)

9時～17時(土曜日・日曜日・祝日)

電子メール：info@ocn.ad.jp

□ ODN

日本テレコム株式会社 ODNサポートセンター

電話番号：0088-86(無料)

□ So-net

ソニーコミュニケーションネットワーク株式会社

So-netインフォメーションデスク

電話番号：(0570)00-1414(全国共通)

携帯・PHSからおかけになる場合は、こちらへおかけください。

札幌(011)711-3765／仙台(022)256-2221／東京(03)3446-7555／名古屋(052)819-1300／大阪(06)6577-4000／広島(082)286-1286／福岡(092)624-3910

受付時間：10時～21時 年中無休

ご入会方法、サービス内容のお問い合わせ、各種会員情報の変更方法や課金状況の確認などのお問い合わせは、上記の電話番号のほか、ファックスやメールでも承ります。

ファックス番号：(03)3446-7557

電子メール：info@so-net.ne.jp

□ バイオネットワークサービス

ソニースタイルドットコム・ジャパン(株) バイオネットワークサービスセンター

電話番号：(03)5783-1133

□ ぶらら

株式会社ぶららネットワークス「ぶららダイアル」

電話番号：

入会専用：0120-488912(スバヤクイージー)

テクニカル：(03)5954-5311

チェックシートを作成する

プロバイダと契約を結ぶと、通常、インターネットに接続するために必要な情報が記載された資料が郵送されてきます。

その資料をもとにインターネットに接続するための設定をします。

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になりながら、次ページのチェックシートをあらかじめ作成しておく、「接続のための設定をする」(91ページ)および「電子メールソフトウェアの設定をする」(97ページ)の手順でインターネットに接続するための設定が簡単になります。

「設定項目について」(87ページ)からの説明に従ってチェックシートの各項目をご記入ください。

ご注意

- チェックシートに書き込む内容は、あなたの個人情報です。取り扱いには充分ご注意ください。
- チェックシートは、将来、再度設定し直さなければならないときなどにも活用できますので、チェックシートは大切に保管しておいてください。
- 他人にご自分のパスワードなどの情報がもれないようにご注意ください。パスワードは、他人に自分の名前を使われたり、電子メールを読まれたりしないようにするためのものです。できるだけ紙に書き留めず、記憶しておくことをおすすめします。
- 「(4) パスワード (PPP)」はプロバイダに電話回線を通じて接続できるようにするためのパスワードです。「(14) パスワード (POP アカウントパスワード)」は電子メールを受信できるようにするためのパスワードです。これらのパスワードは両方とも同じでも、別々でもかまいません。これらのパスワードはWindowsを使用するときのパスワードとは異なります。



次ページのチェックシートに各項目を記入し、他人に見られることがないように、厳重に保管することをおすすめします。

設定項目	あなたの 設定値	例 (So-netの場合)
(1) ダイヤルアップ接続名		So-net
(2) 電話番号 (アクセスポイント)		03-5792-9060
(3) ユーザー名 (PPP)		ichiro@aa2
(4) パスワード (PPP)		
(5) 市外局番		03
(6) トーン/パルス (電話回線の種類)		
(7) DNSサーバーアドレス (プライマリDNS)	. . .	202.238.95.24
(8) 別のDNSサーバーアドレス (セカンダリDNS)	. . .	202.238.95.26
(9) 表示名 (差出人フィールドでの表示)		Ichiro Suzuki
(10) 電子メールアドレス	@	ichiro@aa2.so-net.ne.jp
(11) 受信メール (POP3、IMAPまたは HTTP) サーバー		pop.aa2.so-net.ne.jp
(12) 送信メール (SMTP) サーバー		mail.aa2.so-net.ne.jp
(13) POPアカウント名		ichiro
(14) パスワード (POPアカウントパスワード)		
(15) インターネットメール アカウント名		ichiro@aa2.so-net.ne.jp

記入内容がわからないときは契約したプロバイダにお問い合わせください。



「(7) DNSサーバーアドレス(プライマリDNS)」、「(8) 別のDNSサーバーアドレス(セカンダリDNS)」、「(11) 受信メール(POP3、IMAPまたはHTTP)サーバー」、「(12) 送信メール(SMTP)サーバー」は、プロバイダによっては設定しなくてよいことがあります。

設定項目について

(1) ダイアルアップ接続名

デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックして、[接続]にポインタを合わせ、[すべての接続の表示]をクリックして表示される「ネットワーク接続」画面の中の接続アイコンの名前です。

お好みの名前をご記入ください。

例: So-net



- プロバイダによっては、オンラインサインアップソフトウェアを使って契約すると自動的に接続アイコンが作られ、名前も付けられます。
- 接続アイコンをデスクトップ画面上に作ることもできます。(93ページ)

(2) 電話番号(アクセスポイント)

プロバイダから送られてきた資料をご覧になり、プロバイダのアクセスポイントの電話番号(接続先の電話番号)をご記入ください。アクセスポイントは「K56flex」または「V.90」に対応しているものをお選びになると、より高速な通信ができます。

例: 03-5792-9060

ご注意

- ここで記入する電話番号はご自分の電話番号ではありませんのでご注意ください。
- 電話番号は必ず市外局番からご記入ください。
- ISDN回線をお使いの場合やPHSを使ってインターネットに接続するときは、電話番号が異なる場合があります。詳しくは、契約したプロバイダにお問い合わせください。

(3) ユーザー名(PPP)

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、プロバイダにダイアルアップ接続するとき使用するユーザー名をご記入ください。

例: ichiro@aa2



ユーザー名は「ユーザーID」、「PPPログイン名」、「ネットワークID」、「接続ログイン名」、「アカウント名」、「ログオン名」などともいいます。

(4) パスワード (PPP)

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、プロバイダにダイヤルアップ接続するとき使用する、ユーザー名に対するパスワードを記入します。



- このパスワードは「PPPパスワード」、「ネットワークパスワード」、「接続パスワード」などともいいます。
- パスワードの入力は、一般的に半角の英数字や記号などを使います。

(5) 市外局番

ご自分の電話番号の市外局番をご記入ください。

例:03

(6) トーン/パルス (電話回線の種類)

お使いの電話回線のダイヤル方法がトーン式かパルス式か確認してご記入ください。

トーン式:

電話機のダイヤルボタンを押すと「ピポパ」と音がし、「カチカチ」と音がしない電話機のダイヤル方法です。

パルス式:

ボタンではなくダイヤルを回す電話機、またはダイヤルボタンを押すたびに「カチカチ」と音がする電話機のダイヤル方法です。パルス式ダイヤルの場合、ダイヤルボタンを押すと受話器から電子音が聞こえるものもあります。

お使いの電話回線のダイヤル方法がわからない場合は、NTTなど電話会社から送られてくる請求内訳表をご覧ください。請求内訳表の中に「プッシュ回線使用料」と記載されている場合は「トーン式ダイヤル」です。回線(基本)使用料のみ記載されている場合は「パルス式ダイヤル」です。電話回線のダイヤル方法について詳しくは、NTT(局番なしの116番)など電話会社にお問い合わせください。

(7) DNSサーバーアドレス (プライマリ DNS)

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、ご記入ください。

例:202.238.95.24



- DNSサーバーは「ネームサーバー」、「プライマリ DNSサーバー」、「プライマリネームサーバー」、「ドメインネームサーバー」ともいいます。
- この項目が必要ないプロバイダもあります。詳しくは、プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になるか、契約したプロバイダにお問い合わせください。

(8) 別のDNSサーバーアドレス(セカンダリDNS)

「(7) DNSサーバーアドレス」以外のアドレスがプロバイダから郵送されてきた資料に書かれている場合はご記入ください。

DNSサーバーアドレスは1つだけのプロバイダもあります。この場合は、「(8) 別のDNSサーバーアドレス」は空欄のままでもかまいません。

例: 202.238.95.26

(9) 表示名(差出人フィールドでの表示)

あなたが送る電子メールの差出人欄に表示する名前をお好みでご記入ください。通常はご自分の名前のフルネームにします。

例: Ichiro Suzuki



この表示名は全角の漢字でも良いですが、日本語圏以外の相手に電子メールを送ることが多いかたは半角のアルファベットにすることをおすすめします。こうすることによって電子メールを送った相手には「Ichiro Suzuki

<ichiro@aa2.so-net.ne.jp>」などと表記されます。

(10) 電子メールアドレス

電子メールをやりとりするときのあなたの宛先をご記入ください。プロバイダから郵送されてきた資料には「xxxxx@xxxx.xx.xx」と記載されています。電子メールアドレスは、あなたの住所と同じ役割をします。

例: ichiro@aa2.so-net.ne.jp



電子メールアドレスは、「E-Mailアドレス」、「Mailアドレス」、「メールアドレス」などともいいます。

(11) 受信メール(POP3、IMAPまたはHTTP)サーバー

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、電子メールを受け取るサーバーのアドレスをご記入ください。受信メールサーバーは、郵便局のような役割をします。受信メールサーバーからあなたの電子メールアドレスに電子メールが送られます。

例: pop.aa2.so-net.ne.jp



- 受信メールサーバーは、「メールサーバー」、「POPサーバー」、「メール受信サーバー」、「POP3」などともいいます。
- この項目が自動的に設定されるプロバイダもあります。詳しくは、プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になるか、契約したプロバイダにお問い合わせください。

(12) 送信メール(SMTP)サーバー

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、電子メールを送信するサーバーのアドレスをご記入ください。送信メールサーバーも郵便局のような役割をします。あなたが送った電子メールを受け取り、送り先の電子メールアドレスに送ります。

例: mail.aa2.so-net.ne.jp



- 送信メールサーバーは「メールサーバー」、「SMTPサーバー」、「メール送信サーバー」、「SMTP」などともいいます。「(11) 受信メールサーバー」と同じ場合もあります。
- この項目が自動的に設定されるプロバイダもあります。詳しくは、プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になるか、契約したプロバイダにお問い合わせください。

(13) POPアカウント名

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、受信メールサーバーにアクセスするためのアカウント名をご記入ください。「(10) 電子メールアドレス」の「@」(アットマーク)より前の部分を記入します。電子メールを見るためには、このアカウント名と「(14) パスワード」の両方が必要になります。

例:「ichiro@aa2.so-net.ne.jp」が電子メールアドレスなら、POPアカウント名は「ichiro」になります。



POPアカウント名は「メールアカウント名」、「メールサーバーログイン名」、「メールログイン名」、「POPサーバーアカウント」、「POPサーバーログイン名」ともいいます。「(3) ユーザー名」と同じ場合もあります。

(14) パスワード (POPアカウントパスワード)

受信メールサーバーにアクセスするためのアカウント名に対するパスワードを半角の英数字でご記入ください。

電子メールを見るためには、「(13) POPアカウント名」とこのパスワードの両方が必要になります。



このパスワードは、「メールパスワード」、「メールサーバーパスワード」などともいいます。

(15) インターネットメールアカウント名

お好みの名前をご記入ください。わかりやすいように電子メールアドレスを入れることをおすすめします。

例: ichiro@aa2.so-net.ne.jp

接続のための設定をする

本機をインターネットに接続するための設定を行います。ここでは、本機の内蔵モデムを使ってインターネットにダイヤルアップ接続するための設定方法を説明します。

「チェックシートを作成する」(85ページ)で作成したチェックシートをご覧になりながら、各項目に記入した内容を実際の画面の入力欄にキーボードを使って入力していきます。次の手順に従って操作してください。

1 本機の電源を入れる。

2 デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックし、[インターネット]をクリックする。

「新しい接続ウィザードの開始」画面が表示されます。



接続のための設定が終わったあとは[スタート]→[インターネット]をクリックすると、「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアが起動するようになります。もう1度「新しい接続ウィザード」を表示させたいときは、デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[アクセサリ]、[通信]、[新しい接続ウィザード]の順にクリックします。

3 [次へ]をクリックする。

「ネットワーク接続の種類」画面が表示されます。

4 [インターネットに接続する]の○をクリックして●にし、[次へ]をクリックする。

「準備」画面が表示されます。

5 2番目の[接続を手動でセットアップする]の○をクリックして●にし、[次へ]をクリックする。

「インターネット接続」画面が表示されます。



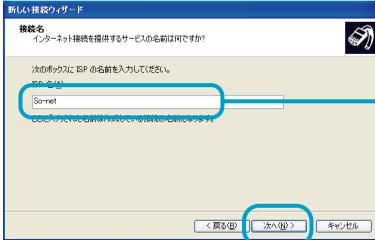
Windows XP アップグレードサービスをご利用の場合など、すでにプロバイダのインターネットサーバーに接続したことがあるときは、[インターネットサービスプロバイダ(ISP)の一覧から選択する]の○をクリックして●にし、[次へ]をクリックしてください。そのあとは、画面の指示に従って操作してください。

6 [ダイヤルアップ モデムを使用してインターネットに接続する]の

○をクリックして●にし、[次へ]をクリックする。

「接続名」画面が表示されます。

7 「ISP名」(ダイヤルアップ接続名)を入力し、[次へ]をクリックする。

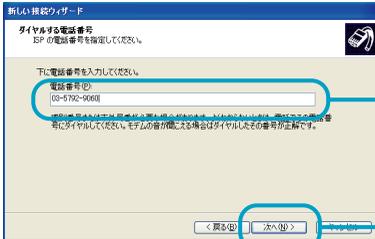


チェックシートの (1) ダイヤルアップ接続名を入力する。

ここをクリックする。

「ダイヤルする電話番号」画面が表示されます。

8 アクセスポイントの電話番号を入力し、[次へ]をクリックする。

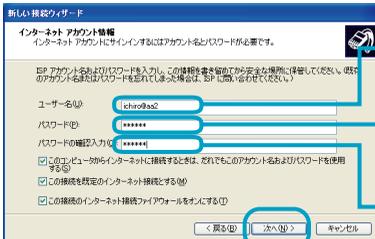


チェックシートの (2) 電話番号 (アクセスポイント) を入力する。

ここをクリックする。

「インターネットアカウント情報」画面が表示されます。

9 ユーザー名とパスワードを入力し、「パスワードの確認入力」に同じパスワードを再度入力してから、[次へ]をクリックする。



チェックシートの (3) ユーザー名 (PPP) を入力する。

チェックシートの (4) パスワード (PPP) を入力する。

チェックシートの (4) パスワード (PPP) を再度入力する。

ここをクリックする。

「新しい接続ウィザードの完了」画面が表示されます。



「パスワード」はパスワードの文字数と同じ数の「*」で表示されます。

10 [完了]をクリックする。

「新しい接続ウィザード」が終了します。



「新しい接続ウィザードの完了」画面の「この接続へのショートカットをデスクトップに追加する」にチェックしておく、デスクトップ画面の上にダイヤルアップ接続のアイコンが作られます。

11 デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックして、[コントロール パネル]をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。



手順12および13の「コントロールパネル」画面での操作は、お買い上げ時の状態のもので。

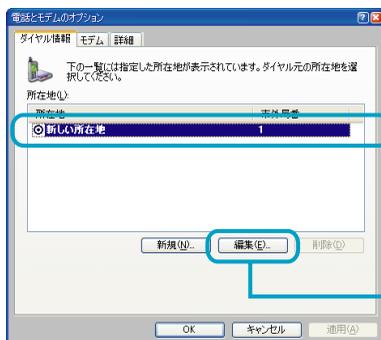
12 [プリンタとその他のハードウェア]アイコンをクリックする。

「プリンタとその他のハードウェア」画面が表示されます。

13 [電話とモデムのオプション]アイコンをクリックする。

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

14 設定されている所在地をクリックして選び、[編集]をクリックする。



ここをクリックして選ぶ。

ここをクリックする。

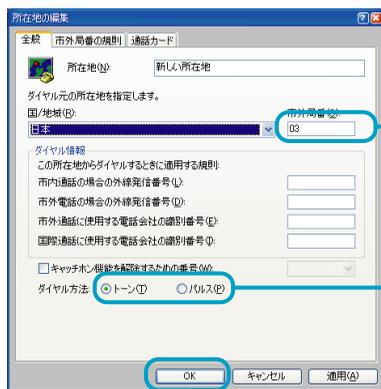
「所在地の編集」画面が表示されます。



該当する所在地がないときは[新規]をクリックしてください。「新しい所在地」画面が表示されます。

15 各項目を以下のように設定し、[OK]をクリックする。

- ・ 市外局番:ダイヤル元の市外局番を半角の数字で入力する。
- ・ ダイヤル方法:お使いの電話回線のダイヤル方法に合わせて[トーン]または[パルス]をクリックして選ぶ。



チェックシートの (5)
市外局番を入力する。

ここをクリックして選ぶ。
(チェックシート (6)
トーン/パルス
(電話回線の種類))

ここをクリックする。

16 「電話とモデムのオプション」画面の[OK]をクリックする。

手順17以降は、チェックシートに(7)DNSサーバーアドレス(プライマリDNS)および(8)別のDNSサーバーアドレス(セカンダリDNS)を記入した場合(プロバイダから郵送されてきた資料にDNSサーバーアドレスが記入されている場合)のみ操作を行ってください。

17 デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックして[接続]にポインタを合わせ、[すべての接続の表示]をクリックする。

「ネットワーク接続」画面が表示されます。



以下の方法でも「ネットワーク接続」画面を表示することができます(お買い上げ時のウィンドウの設定の場合)。

デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックして、[コントロールパネル]をクリックする。表示された「コントロールパネル」画面で[ネットワークとインターネット接続]アイコンをクリックする。表示された「ネットワークとインターネット接続」画面で[ネットワーク接続]アイコンをクリックする。

18ダイヤルアップ接続(チェックシートの(1))のアイコンをダブルクリックする。

So-netの例では[So-net]をダブルクリックします。

「So-netへ接続」画面が表示されます。



手順10で、「新しい接続ウィザードの完了」画面の「この接続へのショートカットをデスクトップに追加する」にチェックしておくこと、デスクトップ画面上にダイヤルアップ接続のアイコンが作られます。これをダブルクリックして、手順19に進むこともできます。

19[プロパティ]をクリックする。

ダイヤルアップ接続名のプロパティ画面が表示されます。

20[ネットワーク]タブをクリックする。

21「この接続は次の項目を使用します」で[インターネットプロトコル(TCP/IP)]をクリックし、[プロパティ]をクリックする。

「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」画面が表示されます。

22各項目を以下のように設定する。

- [IPアドレスを自動的に取得する]をクリックする。
- [次のDNSサーバーのアドレスを使う]をクリックし、DNSサーバーアドレスを入力する。

ここをクリックする。

ここをクリックする。

チェックシートの(7) DNSサーバーアドレス (プライマリDNS)を入力する。

チェックシートの(8) 別のDNSサーバーアドレス (セカンダリDNS)を入力する。



「(7)DNSサーバーアドレス(プライマリDNS)」と「(8)別のDNSサーバーアドレス(セカンダリDNS)」は同じ場合があります。このときは「代替DNSサーバー」には入力する必要はありません。

23[OK]をクリックする。

「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」画面が閉じます。

24ダイヤルアップ接続名のプロパティ画面で[OK]をクリックする。

ダイヤルアップ接続名のプロパティ画面が閉じます。

25「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」画面で[キャンセル]をクリックする。

「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」画面が閉じます。

これでインターネット接続のための設定は終わりです。

電子メールソフトウェアの設定をする

電子メールのやりとりを正しく行えるようにするための設定を行います。「チェックシートを作成する」(85ページ)で作成したチェックシートをご覧になりながら、各項目に記入した内容を実際の画面の入力欄にキーボードを使って入力していきます。次の手順に従って操作してください。ここでは、本機に付属の電子メールソフトウェア「Outlook Express」を例に電子メールをやりとりするための設定をしていきます。



「Outlook Express」ソフトウェアの設定は1度行えば、2回目以降の起動時には不要です。

1 デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Outlook Express]をクリックする。

インターネット接続ウィザードの「名前」画面が表示されます。



- お使いの機種によっては、「名前」画面とは違う画面が表示されることがあります。この場合は、画面の指示に従って操作し、手順2の画面まで進んでください。
- 電子メールソフトウェアの設定が終わったあとは[スタート]→[すべてのプログラム]→[Outlook Express]をクリックすると、「Outlook Express」ソフトウェアが起動するようになります。電子メールのアカウントを追加するなど、もう一度「インターネット接続ウィザード」を表示させたいときは、「Outlook Express」ソフトウェアを起動時に、画面上部の[ツール]をクリックし、[アカウント]をクリックします。表示される「インターネットアカウント」画面で[追加]→[メール]の順にクリックします。

2 表示したい名前を入力し、[次へ]をクリックする。

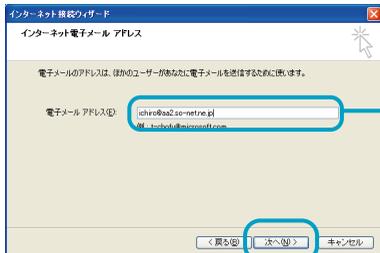


チェックシートの(9)表示名(差出人フィールドでの表示)を入力する。

ここをクリックする。

「インターネット電子メール アドレス」画面が表示されます。

3 「電子メールアドレス」に電子メールアドレスを入力して、[次へ]をクリックする。



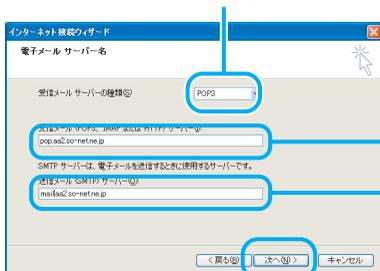
チェックシートの (10) 電子メールアドレスを入力する。

ここをクリックする。

「電子メール サーバー名」画面が表示されます。

4 受信メールサーバーと送信メールサーバーの名前を入力し、[次へ]をクリックする。

通常「POP3」を選ぶ。



チェックシートの (11) 受信メール (POP3、IMAPまたはHTTP) サーバーを入力する。

チェックシートの (12) 送信メール (SMTP) サーバーを入力する。

ここをクリックする。

「インターネット メール ログオン」画面が表示されます。



「(11)受信メール (POP3、IMAPまたはHTTP) サーバー」の名前と「(12)送信メール (SMTP) サーバー」の名前は同じ場合があります。

5 アカウント名とパスワードを入力し、[次へ]をクリックする。

チェックシートの (13) POPアカウント名を入力する。

ここをクリックする。

チェックシートの (14) パスワード (POPアカウントパスワード) を入力する。

「設定完了」画面が表示されます。



- 「パスワード」は「*」で表示されます。
- 「パスワードを保存する」の をクリックして にすると、実際にインターネット接続するときの接続画面でパスワードを入力する手間が省けます。しかし、他人に勝手にインターネットに接続される恐れがありますのでご注意ください。

6 [完了]をクリックする。

自動的に「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。

ご注意

[完了]をクリックしたあと、その他の画面が表示されることがあります。この場合は、画面の指示に従って操作してください。



「Outlook Express」ソフトウェアで作成したメッセージは初期設定でHTML形式になります。HTML形式に対応していない電子メールソフトウェアを使っている相手にHTML形式のメッセージを送ると、相手側が正しく受け取れないことがあります。メッセージはテキスト形式で送ることをおすすめします。メッセージをテキスト形式で送るように設定するには、以下の手順に従ってください。

① 「Outlook Express」画面上部の[ツール]をクリックし、表示されるメニューから[オプション]をクリックする。

「オプション」画面が表示されます。

② [送信]タブをクリックする。

「送信」画面が表示されます。

③ 「メール送信の形式」で[テキスト形式]をクリックし、[OK]をクリックする。

送信するメッセージがテキスト形式になります。

電子メールをテキストのみで送りたいときも同様の設定でお使いください。

7 画面右上の（「閉じる」ボタン）をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが終了します。

電子メールの設定を変更するには

チェックシートの「(15) インターネットメールアカウント名」は、下記の方法で変更できます。

1 「Outlook Express」画面上部の[ツール]をクリックする。

「ツール」メニューが表示されます。

2 [アカウント]をクリックする。

「インターネットアカウント」画面が表示されます。

3 [メール]タブをクリックする。

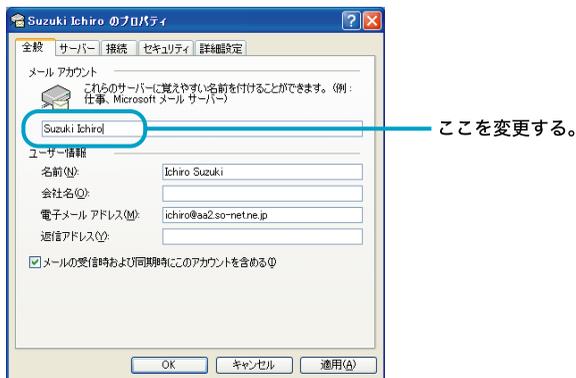
「メール」画面が表示されます。

4 [プロパティ]をクリックする。

プロパティ画面が表示されます。

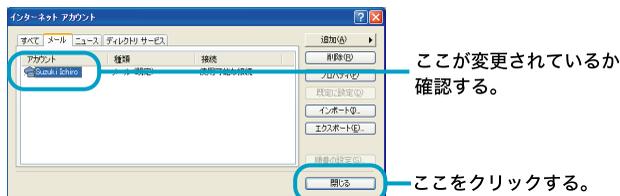
5 「メールアカウント」(「pop.aa2.so-net.ne.jp」が反転表示されている部分)を変更する。

ここでは「Suzuki Ichiro」と入力してみます。



6 [OK]をクリックする。

7 名前を変更した場合は、変更されているか確認して[閉じる]をクリックする。



8 「Outlook Express」画面で右上の [X] をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが終了します。

インターネットに接続する

契約したプロバイダのインターネットサーバーに接続するには、次の手順に従って操作してください。

1 デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックして[接続]にポインタを合わせ、[すべての接続の表示]をクリックする。

「ネットワーク接続」画面が表示されます。



以下の方法でも「ネットワーク接続」画面を表示することができます(お買い上げ時のウィンドウの設定の場合)。

- ① デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックして、[コントロール パネル]をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

- ② [ネットワークとインターネット接続]アイコンをクリックする。

「ネットワークとインターネット接続」画面が表示されます。

- ③ [ネットワーク接続]アイコンをクリックする。

2 ダイアルアップ接続(チェックシートの(1))のアイコンをダブルクリックする。

So-netの例では[So-net]をダブルクリックします。

「So-netへ接続」画面が表示されます。



「接続のための設定をする」の手順10で、「新しい接続ウィザードの完了」画面の「この接続へのショートカットをデスクトップに追加する」にチェックしておくと、デスクトップ画面上にダイアルアップ接続のアイコンが作られます。これをダブルクリックして、手順3に進むこともできます。

3 「So-netへ接続」画面の各項目を入力または確認する。

① パスワード(チェックシートの(4))を入力する。

チェックシートの(4)パスワード(PPP)を入力する。

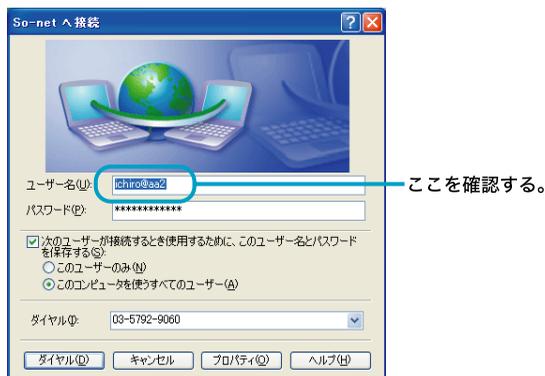
ご注意

「次のユーザーが接続するとき使用するために、このユーザー名とパスワードを保存する」の をクリックして に、「このユーザーのみ」の をクリックして にすると次回からパスワードを入力する手間が省けます。「このコンピュータを使うすべてのユーザー」の をクリックして にすると、他人に勝手にインターネットに接続される恐れがありますのでご注意ください。



- ・「パスワード」(チェックシートの(4)パスワード(PPP))は「*」で表示されます。
- ・「パスワード」入力欄は、「電子メールソフトウェアの設定をする」(97ページ)の手順5で、「パスワードを保存する」の をクリックして にすると、入力された状態で表示されます。
- ・インターネットに接続していないときに、ウェブブラウザでホームページを見ようとしたり、電子メールソフトウェアで電子メールをやりとりしようとした場合、「接続」画面が表示され、そこからインターネットに接続することができます。接続先とユーザー名を確認し、パスワードを入力して[接続]をクリックします。

- ② ユーザー名(チェックシートの(3))が正しいか確認する。



- ③ [ダイヤル]をクリックする。

プロバイダのインターネットサーバーに接続します。

「(ダイヤルアップ接続名)は現在接続しています。」画面が表示されたときは、[OK]をクリックします。

[OK]をクリックする前に[今後、このメッセージを表示しない]をチェックしておけば、次回からこの画面は表示されません。

デスクトップ画面右下には  が表示されます。

これで、接続は完了です。

インターネットに接続しているときは、常にデスクトップ画面右下に

 が表示されます。

- ホームページを見るには
「ホームページを見る」(106ページ)をご覧ください。
- 電子メールをやりとりするには
「電子メールをやりとりする」(111ページ)をご覧ください。
- 接続を切断するときは
「接続を切断するには」(105ページ)をご覧ください。
- 接続できなかった場合は
「困ったときは:モデム・インターネット」(127ページ)をご覧ください。

接続を切断するには

インターネットに接続している間は、ホームページを見たり、電子メールをやりとりするなどの操作を行っていないときでも通話料やプロバイダへの接続料金がかかります。また、「Microsoft Internet Explorer」や「Outlook Express」ソフトウェアを終了しても、インターネットへの接続は解除されません。操作を行わないときや操作が終わった後などは、インターネットの接続を切断してください。

接続を切断するには、以下の2つの方法があります。

- デスクトップ画面右下の通知領域にある  を右クリックして表示されるメニューから [切断] をクリックする。
- デスクトップ画面右下の通知領域にある  をダブルクリックして表示される「自動切断」画面で [今すぐ切断する] をクリックする。



電子メールを書いているときや電子メールを受け取った後に読むときは、インターネットの接続を切断しておけば接続料金はかかりません。

ホームページを見る

インターネット上のホームページを見てみます。ホームページを見るには、「ウェブブラウザ」という専用ソフトウェアが必要です。ここでは、付属の「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを使ってホームページを見てみます。

次の操作をする前に、デスクトップ画面右下の通知領域にが表示されていることを確認してください。表示されていれば、インターネットに接続しています。インターネットに接続していない場合は、次の操作を行うと、「新しい接続ウィザード」が起動します。「インターネットに接続する」(102ページ)の手順に従い、インターネットに接続し、を表示させてください。

[1] 「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを起動する

まず「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを起動します。

1 デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックして、[インターネット]をクリックする。

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアが起動し、ホームページが表示されます。

ホームページが表示されなかった場合は、「困ったときは: モデム・インターネット」(127ページ)をご覧ください。

ご注意

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを起動したときに表示されるホームページは各自の設定により異なります。設定のしかたについては、「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

[2] 「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアにあらかじめ登録されているホームページを見る

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアにあらかじめ登録されているホームページを見ることができます。ここでは、VAIOカスタマーリンクのホームページを見てみましょう。

1 画面上部の[お気に入り]をクリックする。



ここをクリックする。

メニューが表示されます。

2 [パイオを楽しむためのサイト]にポイントを合わせ、[VAIOホームページ]→[SUPPORT (サービス・サポート情報)]の順にクリックする。 VAIOカスタマーリンクのホームページが表示されます。

[3] ホームページのURLを入力してホームページを見る

見たいホームページのURLをすでにご存知の場合は、アドレスバーにそのURLを入力します。

ここでは、VAIOカスタマーリンクのホームページ (<http://vcl.vaio.sony.co.jp/>) を見てみます。

1 アドレスバーに「<http://vcl.vaio.sony.co.jp/>」と入力する。



ここにURLを入力する。

2 キーボードのEnter(エンター)キーを押す。

VAIOカスタマーリンクのホームページが表示されます。

[4] リンクをたどる

ホームページから他のホームページにジャンプしたり、データをインターネット上から本機にコピーすることができます。このように、ホームページから、他のページにジャンプしたり、データにジャンプすることを「リンクする」と言います。

ここでは、VAIOカスタマーリンクのホームページから、ENJOY VAIOのホームページにジャンプしてみましょう。

1 タッチパッドに触れて指を動かし、 (ポインタ)を[ENJOY

VAIO]に移動して、 に変わったらクリックする。

ENJOY VAIOのホームページが表示されます。



ホームページの中で、 (ポインタ)が に変わる文字や画像は、リンクが張られているところです。

[5] 目的のホームページを検索して見る

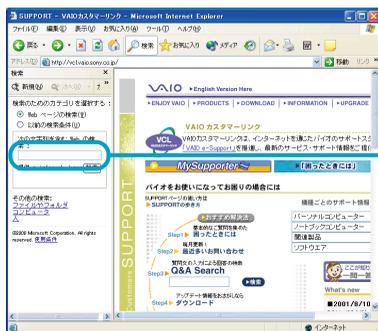
目的のホームページを「検索」メニューで検索することができます。

ここでは「VAIO」を検索してみましょう。

1 ツールバーの[検索]をクリックする。

検索画面が表示されます。

2 検索画面の中央上にある の中に「VAIO」と入力する。



ここに「VAIO」と入力する。

3 [検索]をクリックする。

該当するホームページの検索結果が一覧表示されます。

4 見たいホームページをクリックする。



見たいホームページをクリックする。

クリックしたホームページが表示されます。

[6] よく見るホームページを登録する

よく見るホームページを「お気に入り」メニューの中に登録することができます。

ここではSony online Japanのホームページを登録してみましょう。



Sony online Japanはインターネット上のソニーエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

1 アドレスバーに「http://www.sony.co.jp/」と入力する。



ここに入力する。

2 キーボードのEnter(エンター)キーを押す。

Sony online Japanのホームページが表示されます。

3 メニューバーの[お気に入り]をクリックし、次に[お気に入りに追加]をクリックする。

「お気に入りの追加」画面が表示されます。

4 「名前」に、登録するホームページを示すお好みの名前を入力し、[OK]をクリックする。

ここでは「Sony online Japan」と入力します。

ここに「Sony online Japan」と入力する。



Sony online Japanホームページが登録され、入力した名前が「お気に入り」メニューの中に表示されるようになります。

[7] 「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを終了する

最後に「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを終了します。

1 画面左上の[ファイル]にポインタを合わせ、クリックする。

「ファイル」メニューが表示されます。

2 [閉じる]にポインタを合わせ、クリックする。

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアが終了します。

3 デスクトップ画面右下の通知領域にある を右クリックして表示されるメニューから[切断]をクリックする。

インターネットへの接続が切断されます。

ご注意

インターネットに接続している間は、ホームページを見たり、電子メールをやりとりするなどの操作を行っていないときでも、通話料やプロバイダへの接続料金がかかります。また、「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを終了しても、インターネットへの接続は解除されません。ホームページを見ている間など、操作を行わないときや、操作が終わった後などは、インターネットへの接続を切断してください。

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアについて詳しくは、ヘルプをご覧ください。「Microsoft Internet Explorer」のヘルプを見るときは、「Microsoft Internet Explorer」画面上部の[ヘルプ]をクリックしてください。

電子メールをやりとりする

インターネットを使って、電子メールをやりとりできます。電子メールをやりとりするには、電子メールソフトウェアが必要です。

ここでは、付属の「Outlook Express」ソフトウェアを使って自分の電子メールアドレスに電子メールを送ったり、受け取ったりしてみます。

ご注意

電子メールをやりとりする手順は、インターネットへの接続やソフトウェアの設定によって変わることがあります。

[1] 「Outlook Express」ソフトウェアを起動する

まず「Outlook Express」ソフトウェアを起動します。

1 デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Outlook Express]をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。

「ダイヤルアップの接続」画面が表示されたときは、[キャンセル]をクリックして画面を閉じてください。



「ダイヤルアップの接続」画面で[キャンセル]をクリックするとオフライン作業となります。

[2] 電子メールを送信する

ために自分のメールアドレス宛に電子メールを送信してみましょう。

1 [メッセージの作成]をクリックする。

「メッセージの作成」画面が表示されます。



ここをクリックする。



電子メールを書くときや電子メールを受け取った後に読むときは、インターネットに接続していない状態(オフライン作業)の方が接続料金と通話料がかからなくて済みます。

2 メッセージを作成する。



ここに送り先（今回は自分）の電子メールアドレスを入力する。

ここにメッセージのタイトルを入力する。

ここにメッセージの本文を入力する。

ここでは、メッセージに「世界中にひろがったソニーVAIO」と入れてみます。

タイトルは「SONY VAIO」にしましょう。

3 画面左上の【ファイル】をクリックし、【オフライン作業】をクリックする。

「オフライン作業」の前のチェックマークが消えます。

4 画面左上の【送信】をクリックする。

「(ダイヤルアップ接続名)に接続中」画面が表示され、本機がインターネットに接続し、作成した電子メールが送り先に送られます。

ご注意

オフライン(インターネットに接続していない状態)で【送信】をクリックした場合は、電子メールは送信トレイに保管されます。「Outlook Express」画面左上の【送受信】をクリックすると、電子メールが送り先へ送られます。

[3] 電子メールを受信する

手順[2]で送った自分のメールアドレス宛の電子メールを受信してみましょう。

1 インターネットに接続した状態で、画面左上の[送受信]をクリックする。



ご注意

オフライン(インターネットに接続していない状態)のときは、「オフライン作業しています。オンラインに切り替えますか?」というメッセージが表示されます。この場合は、[はい]をクリックしてください。



- 作成した電子メールが送信トレイにある場合は、同時に送り先に送られます。インターネットに接続していない場合は、「接続」画面が表示され、接続を促します。インターネットに接続したあとに電子メールが送受信されます。
- 電子メールの送受信のあと、ホームページを見たりしないときは、インターネットの接続を切断しましょう(105ページ)。

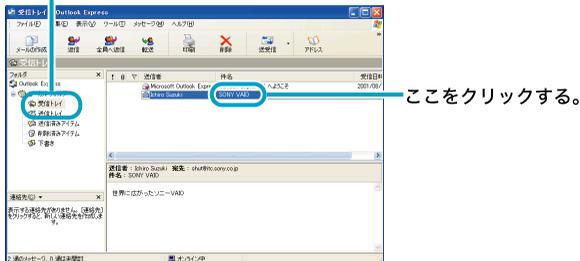
[4] 受け取った電子メールを見る

手順[3]で届いた電子メールを見てみます。

1 画面左側の[受信トレイ]をクリックし、[SONY VAIO]をクリックする。

受け取った電子メールのメッセージが表示されます。

ここをクリックする。



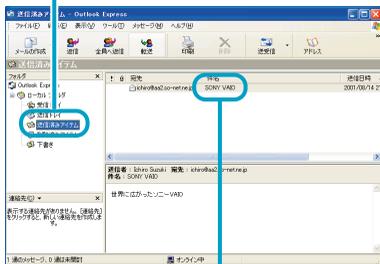
[5] 送った電子メールを見る

手順[2]で送った電子メールを見てみます。

1 画面左側の[送信済みアイテム]をクリックし、[SONY VAIO]をクリックする。

送った電子メールのメッセージが表示されます。

ここをクリックする。



ここをクリックする。

電子メールをやりとりできなかった場合は、「困ったときは：モデム・インターネット」(127ページ)をご覧ください。

[6] 「Outlook Express」ソフトウェアを終了する

最後に「Outlook Express」ソフトウェアを終了します。

1 画面左上の[ファイル]をクリックする。

「ファイル」メニューが表示されます。

2 [終了]をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが終了します。

3 デスクトップ画面右下の通知領域にある を右クリックして表示されるメニューから[切断]をクリックする。

インターネットへの接続が切断されます。

外出先でインターネットにアクセスする

公衆電話を使ってアナログ接続するには

本機はモデムを内蔵しているので、モジュラジャックのある公衆電話に直接つなげます。

テレホンコードとモジュラジャック付きの電話機さえあれば、どこからでもアクセスできますが、アナログ接続のため、使用する電話機によってはすぐに接続が切れてしまうことがあります。

ご注意

- 公衆電話のデジタルポートにはつながりません。故障の原因となります。
- 本機の **モデム** NETWORK(ネットワーク)コネクタにテレホンコードをつながないようご注意ください。故障や発熱、火災の原因となります。

1 本機と電話機のアナログポートをテレホンコードでつなぐ。

2 電話機の「データ通信」ボタンを押す。

3 テレホンカードを入れる。

4 通信用のソフトウェアを起動する。

これでインターネットにアクセスできます。

公衆電話を使ってISDN接続するには

市販のISDNのTA(ターミナルアダプタ)カードを本機に装着してモジュラジャックのある公衆電話につなぐと、外出先でもISDN経由で接続できます。

通信速度が速く(最大64 kbps)、安定した状態でアクセスできますが、市販のISDNターミナルアダプタカードが必要です。

ご注意

アクセスしようとしているプロバイダがISDNに対応しているかどうかをあらかじめ確認しておいてください。プロバイダによっては通常のアナログ接続用とISDN接続用で、異なる電話番号を用意していることがあります。

デジタル携帯電話を使って接続するには

デジタル携帯電話が使えるところではどこからでも、また移動中でもアクセスできますが、携帯電話にあわせた接続キットが必要です。

ご注意

接続キットや接続のしかたについて詳しくは、お使いのデジタル携帯電話の電話会社にお問い合わせください。

PHSを使って接続するには

通信速度が速く、PHSが使えるところではどこからでもアクセスできますが、PHSにあわせた接続キットが必要です。また、PIAFS(ピアフ)方式で接続するときは、契約しているプロバイダなどがPIAFSに対応している必要があります。

ご注意

- 接続キットや接続のしかたについて詳しくは、電話会社にお問い合わせください。
本機のPCカードスロットに直接装着できるPHSもあります。
- PIAFS方式でアクセスするときは、接続しようとしている電話番号がPIAFS方式に対応しているかどうかをあらかじめ確認しておいてください。



困ったときは

トラブルを解決するには

本機を操作していて困ったときや、トラブルが発生したときは、あわてずに下記の流れに従ってください。

また、メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

手順1 電子マニュアルやヘルプで調べる

- ・ 「主なトラブルとその解決方法」(121ページ)をチェックする。
- ・ 本機電子マニュアルの「困ったときは」や関連する項目(キーワード検索など)
「サイバーサポート」画面上部のキーワード入力エリアにキーワードを入力し[検索]をクリックすることで、本機電子マニュアルの内容やVAIOカスタマーリンクに寄せられたFAQ(よくある質問とその回答)などから解決方法を検索できます。[条件設定]をクリックすると、検索対象を絞り込んだり、あらかじめ用意された質問文例などからキーワードを選んで検索することもできます。
- ・ ソフトウェアのヘルプ
- ・ Windowsのヘルプ
デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックし、[ヘルプとサポート]をクリックして、「ヘルプとサポートセンター」をご覧ください。
- ・ VAIOハードウェア診断ツール
CPUやハードディスクなどのハードウェアに故障があるかどうかを診断するソフトウェアです。

手順2 VAIOカスタマーリンクのホームページを確認する

VAIOカスタマーリンク ホームページでは、トラブルの解決方法や疑問の解消に役立つ情報やサービスを掲載しています。

VAIOカスタマーリンク ホームページ

<http://vcl.vaio.sony.co.jp/>

手順3 VAIOカスタマーリンクに電話で問い合わせる

120ページのお問い合わせ先にご相談ください。



VAIOカスタマーリンクのホームページ(<http://vcl.vaio.sony.co.jp/>)にアクセスし、「サイバーサポート」のキーワード検索で検索できる情報を更新することをおすすめします。

更新するには、インターネットに接続した状態で、「サイバーサポート」画面下部の  **最新の情報に更新** をクリックします。自動的に、情報が更新されます。最初に更新するときは数十分時間がかかることがありますので、ご注意ください。

この機能を使うには、あらかじめインターネットに接続していることが必要です。インターネット接続について詳しくは、「インターネットを始める」(70ページ)をご覧ください。

VAIOカスタマーリンク お問い合わせ先

VAIOカスタマーリンク

電話番号 (0466)30-3000

お問い合わせには、「VAIOカスタマーID」が必要です。(34ページ)

受付時間

平日 10時～20時

土、日、祝日 10時～17時

(年末年始は除く)



一般的にお電話は午前中より午後の方がつながりやすくなっております。

- お電話は音声認識を用いた自動音声のアナウンスに従って、ご希望のメニューをお選びください。各メニューの担当オペレーターが対応いたします。
- 付属のソフトウェアについては、「サイバーサポート」画面上部の  をクリックし「付属ソフトウェアの一覧」をご覧ください。また、各ソフトウェアのお問い合わせ先については、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」(182ページ)にも記載しています。

お電話の前に以下の内容をご用意ください

- 1 お客様のVAIOカスタマーID
- 2 本機の型名:IDラベル(19ページ)または、保証書に記載されています
- 3 本機の製造番号:保証書などに記載されている7桁の番号です
- 4 カスタマー登録していただいたときの電話番号、または登録予定の電話番号



発信者番号通知でお電話していただくとよりスムーズに担当者につながります。

- 5 本機に接続している周辺機器名:メーカー名と型名
- 6 表示されたエラーメッセージ
- 7 本機に付属していないソフトウェアを追加した場合は、そのソフトウェアの名前とバージョン
- 8 トラブルが発生する前または直前に行った操作
- 9 トラブルがどのくらいの頻度で再現するか
- 10 その他お気づきの点

修理の場合は

- 11 VAIOカルテ:修理をお申し込みになるとき
- 12 筆記用具:修理を受付する際にお伝えする修理受付番号を控えるのに必要です

主なトラブルとその解決方法

ここでは、本機の主なトラブルとその解決方法を説明します。

ご注意

再起動または電源を入れ直す場合は、必ず「電源を切る」(33ページ)の手順に従い、いったん電源を切ってください。

他の方法で本機の電源を切ると、作成したファイルが使えなくなることがあります。

- 電源(122ページ)
- Windowsの起動(125ページ)
- モデム・インターネット(127ページ)
- カスタマー登録(135ページ)
- 液晶ディスプレイ・外部ディスプレイ(136ページ)
- タッチパッド・キーボード(138ページ)
- フロッピーディスク(142ページ)
- CD-ROM・CD-R・CD-RW・DVD-ROM(143ページ)
- “メモリースティック”(144ページ)
- DV 機器・i.LINK 機器(145ページ)
- プリンタ(146ページ)
- PCカード(146ページ)
- スピーカー(146ページ)
- マイク(147ページ)
- ファン(147ページ)
- パスワード(148ページ)
- 省電力動作モード(148ページ)
- ハードディスク(149ページ)
- ソフトウェア(149ページ)
- 文字入力(150ページ)
- プロセッサ(CPU)(150ページ)



付属の「VAIOハードウェア診断ツール」ソフトウェアを使うと、CPUやハードディスクなどのハードウェアに故障があるかどうか自動的に診断できます。

詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の **VAIOの楽しみかた** をクリックし、[付属ソフトウェアの一覧]→[カスタマーサポートツール]→[VAIOハードウェア診断ツール]を順にクリックして表示される情報をご覧ください。

電源

電源が入らない。(⏻(パワー)ランプがつかないとき)

電源が入らないときの状況によって対処方法が異なります。**ACアダプタ**や**バッテリー**が正しく接続されていることを確認した上で、以下のいずれかの操作を行ってください。

- プログラム動作中に異常が発生したので電源を切った場合
プログラムの異常で、電源を制御するコントローラが停止している可能性があります。クリップなどの細い棒で本機後面のリセットスイッチ(22ページ)を押してから、電源を入れ直してください。シャープペンシルの芯など折れやすいものは、本機の故障の原因となりますので使用しないでください。
それでも電源が入らない場合は、**ACアダプタ**と**バッテリー**をはずして1分ほど待ってから再度取り付け直し、電源を入れてください。
- 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、または湿度の高い場所を使用する場合
本機内部に結露が生じている可能性があります。その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。また、湿度の高い場所(80%以上)でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

電源が入らない。(⏻(パワー)ランプ(グリーン)が点灯するとき)

電源が入らないときの状況によって対処方法が異なります。**ACアダプタ**や**バッテリー**が正しく接続されていることを確認した上で、以下のいずれかの操作を行ってください。

- プログラム動作中に異常が発生したので電源を切った場合
クリップなどの細い棒で本機後面のリセットスイッチ(22ページ)を押してから、電源を入れ直してください。シャープペンシルの芯など折れやすいものは、本機の故障の原因となりますので使用しないでください。
それでも電源が入らない場合は、**ACアダプタ**と**バッテリー**をはずして1分ほど待ってから再度取り付け直し、電源を入れてください。
- 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、または湿度の高い場所を使用する場合
本機内部に結露が生じている可能性があります。その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。また、湿度の高い場所(80%以上)でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。
- 外部ディスプレイに表示が切り替えられている。**Fn**キーを押しながら、**F7**キーを何回か押す。詳しくは、「**Fn**キーとの組み合わせ」(67ページ)をご覧ください。

電源が切れない。

電源が切れないときの状況によって対処方法が異なります。以下の点を確認した上で、それぞれの操作を行ってください。

- 新しくインストールしたプログラムやデータ、その操作などを確認してください。
- 使用中のソフトウェアをすべて終了する。
- PCカードをお使いの場合は、「サイバーサポート」画面上部の  をクリックし、[拡張・接続／データのやりとり] → [PCカードを取り付ける／取り出す]の順にクリックし、「PCカードを取り出すには」の手順に従ってPCカードを取り出す。
- USB機器を接続しているときは取りはずす。
- 周辺機器を接続している場合やネットワークを使用している場合には、それらを使用しない状態にしてから電源を切る操作を行ってください。

Windows XPは、周辺機器やネットワークと通信を行っている間は、電源が切れないしくみになっています。また、周辺機器のデバイスドライバによっては、OSの強制的なプログラムの終了に対応していないものもあります。
- 「電源を切る」(33ページ)の操作をしても、「設定を保存しています」または「Windowsをシャットダウンしています」と表示されたまま動かない場合
まず、Enterキーを押します。それでも電源が切れない場合は、本機の⏻(パワー)ボタンを4秒以上押したままにして、⏻(パワー)ランプが消灯するか確認してください。
- [スタート]メニューから[終了オプション]を選んでも電源が切れない場合
Altキーを押しながらF4キーを数回押して「コンピュータの電源を切る」画面を表示させ、[電源を切る]をクリックしてください。
Altキーを押しながらF4キーを数回押しても「コンピュータの電源を切る」画面が表示されない場合は、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、「Windows タスク マネージャ」画面を表示させます。「シャットダウン」メニューをクリックし、[コンピュータの電源を切る]をクリックしてください。
それでも電源が切れない場合は、本機の⏻(パワー)ボタンを4秒以上押したままにして、⏻(パワー)ランプが消灯するか確認してください。

- 本機の⏻(パワー)ボタンを4秒以上押したままにしても、電源が切れない場合
クリップなどの細い棒で本機後面のリセットスイッチ(22ページ)を押してください。
シャープペンシルの芯など折れやすいものは、本機の故障の原因となりますので使用しないでください。
- 上記の操作を行っても電源が切れない場合は、ACアダプタとバッテリーをはずしてください。
これらの操作を行うと、作成中のデータが破壊されるおそれがあります。
また、本機の電源を入れ直した際、ディスクのチェックが行われます。その場合は、Windowsのデスクトップ画面が表示されるまで画面の指示に従って操作し、その後「電源を切る」(33ページ)の手順に従っていったん本機の電源を正しく切ってください。

省電力動作モードに移行せず、すぐに戻ってしまい、Windowsの動作状態が不安定になる。

- 使用中のソフトウェアを終了して、本機を再起動してください。再起動できない場合は、⏻(パワー)ボタンを4秒以上押したままにして電源を切ってください。

電源が勝手に入る。

- 「VAIO Action Setup」ソフトウェアを使ってPPK機能を有効にした状態で、ジョグダイヤルを押してしまった可能性があります。
電源を切っているときや省電力動作モード時に、ジョグダイヤルを押しても電源が入らないようにするには、PPK機能を無効にしてください。PPK機能を無効にする手順については、「サイバーサポート」画面上部の  をクリックし、[基本的な使いかた]→[「VAIO Action Setup」で好みのソフトウェアを自動的に起動する]→[ソフトウェアの割り当てを変更する/無効にする]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

電源が勝手に切れた。

- バッテリーで本機を使用中にバッテリーの残量がわずかになると、自動的に休止状態になり、電源が自動的に切れます。

Windowsの起動

電源を入れると、「No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.」や「Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.」、「NTLDR is missing. Press any key to restart.」というメッセージが出て、Windowsが起動できない。

- フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っているときは、イジェクトボタンを押して、取り出す。その後、キーボードのいずれかのキーを押す。

電源を入れると、「Operating system not found」と表示され、Windowsが起動できない。

- USBフロッピーディスクドライブに起動ディスク以外のフロッピーディスクが入っている場合は、ディスクを取り出してからCtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して本機を再起動する。
- 再起動してもこのメッセージが表示され、Windowsが起動しない場合は、指定された方法以外のやりかたでパーティションサイズを変更している可能性があります。本機に付属のリカバリ CDを使って、パーティションサイズを変更し、本機を再セットアップしてください。(165ページ)

電源を入れると「System Disable」と表示され、Windowsが起動しない。

- パワーオンパスワードを3回間違えて入力すると、「System Disable」と表示されWindowsが起動しません。
本機の⏻(パワー)ボタンを4秒以上押しただままにして、⏻(パワー)ランプが消灯するか確認してください。
パスワードを入力する際は、 (Num Lock) ランプや  (Caps Lock) ランプが点灯していないか確認してください。点灯してる場合は、Num LkまたはShiftキーを押しながらCaps Lockキーを押してランプを消灯させてから入力してください。

ハードディスクから起動できない。

- フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っているときは、イジェクトボタンを押して、取り出す。その後、キーボードのいずれかのキーを押す。

電源を入れたあと、「Press <F1> to resume, <F2> to Setup」と表示され、Windowsが起動しない。

→ 内蔵バックアップバッテリーが消耗している。

以下の操作を行ってください。

- 1 電源を入れ、Sonyのロゴマークが表示されてから、F2キーを押す。
画面左下に「Entering SETUP...」と表示されたあと、BIOSセットアップ画面が表示されます。「Entering SETUP...」と表示されない場合は、F2キーを数回押してください。
- 2 日時を確認する。
「System Date」、「System Time」に正しい日時が表示されているか確認する。間違った日時が表示されている場合は次の操作をしてください。
 - ① 「System Date」の項目に月/日/年(西暦)を入力する。
例: 2002年1月31日と設定するには、1 + Enterキー + 31 + Enterキー + 2002 + Enterキーの順で入力します。
 - ② ↓キーで「System Time」を選び、時刻を入力する。
例: 午後2時35分00秒と設定するには、14 + Enterキー + 35 + Enterキー + 00 + Enterキーの順で入力します。
- 3 Escキーを押す。
- 4 ↓キーで[Get Default Values]を選択し、Enterキーを押す。
- 5 「Load default configuration now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。
- 6 [Exit(Save Changes)]が選ばれていることを確認してEnterキーを押す。
- 7 「Save configuration changes and exit now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。

上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

起動時にVAIOロゴが表示されない、音が鳴らない。

→ 「Sony Notebook Setup」で起動時の設定を変更してください。詳しく

は、「サイバーサポート」画面上部の  をクリックし、[設定を変更する]→[「Sony Notebook Setup」で本機の使用環境を設定する]→[起動時の設定を変更する]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

モデム・インターネット

ダイヤルできない。

今まで一度もダイヤルできない場合

→ 一般電話回線に接続しているか確認する。

使用可能な回線は、一般電話回線です。会社やホテルなどで敷設されているPBX(構内交換機)回線には接続しないでください。故障・発火の原因になります。

PBX(構内交換機)回線の中には、回線の電気条件がNTTの一般電話回線と同じものもありますが、接続できるかどうかは、PBXメーカーまたはPBX保守業者にお問い合わせください。

PBX(構内交換機)回線が使用可能な場合

PBX(構内交換機)回線が使用可能な場合は、次の手順に従って外線発信番号を設定し(0発信など)、ダイヤルトーン(受話器を上げたときの「ツー」という音)を待たずにダイヤルするように設定してください。

- 1 [スタート]ボタンをクリックして、[コントロールパネル]をクリックする。
「コントロールパネル」画面が表示されます。
- 2 [プリンタとその他のハードウェア]アイコンをクリックする。
- 3 [電話とモデムのオプション]アイコンをクリックする。
「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。
- 4 [ダイヤル情報]タブで所在地を選び、[編集]をクリックする。
「所在地の編集」画面が表示されます。
- 5 「市外局番」に接続元の市外局番を入力し、「市内通話の場合の外線発信番号」と「市外電話の場合の外線発信番号」に半角で「0」(ゼロ)と入力する(0発信の場合)。
- 6 [OK]をクリックする。
- 7 [モデム]タブをクリックする。
- 8 お使いのモデムをクリックして選び、[プロパティ]をクリックする。
- 9 [モデム]タブをクリックし、「ダイヤルの管理」の「発信音を待ってからダイヤルする」のチェックボックスをクリックして、チェックをはずす。
- 10 [OK]をクリックする。
- 11 「電話とモデムのオプション」画面で[OK]をクリックし、画面を閉じる。

→ 接続状態を確認する。

- テレホンコードの接続を確認する。
「発信音が聞こえません」とメッセージが表示されたときは、本体側のモジュラジャックと壁側の電話回線のコンセントの接続を確認します。「カチツ」と音がするまでモジュラジャックに差し込んでください。
また、予備のテレホンコードがあれば、テレホンコードを交換して試してみます。(78ページ)
- 分配器を使わずに、電話回線のコンセントにテレホンコードを直接接続しているか確認する。
また、テレホンコードが長すぎないか、電話機の子機に接続していないか確認する。
- ISDN回線に接続しているときは、ターミナルアダプタが使える状態になっているか確認する。
詳しくは、ターミナルアダプタの取扱説明書をご覧ください。

→ モデムがWindowsに正しく認識されているか確認する。

1 [スタート]ボタンをクリックして、[コントロール パネル]をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 [プリンタとその他のハードウェア]アイコンをクリックする。

3 [電話とモデムのオプション]アイコンをクリックし、[モデム]タブをクリックする。

4 お使いのモデムをクリックして選び、[プロパティ]をクリックし、[診断]タブをクリックする。

5 [モデムの照会]をクリックする。

コマンドとその応答が表示されたら、モデムは正しく認識されています。

正しく認識されていないときは

正しく認識されていないときは次の手順で操作し、COMポートのリソース (IRQ など) が他のデバイスと競合していないか確認する。

1 [スタート]ボタンをクリックして、[コントロール パネル]をクリックする。

2 [パフォーマンスとメンテナンス]アイコンをクリックする。

3 [システム]アイコンをクリックする。

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

4 [ハードウェア]タブの[デバイス マネージャ]をクリックする。

「デバイス マネージャ」画面が表示されます。

デバイスのアイコンに「！」がついているものは、他のデバイスと競合を起こしている可能性があります。

競合している場合は

競合している場合は次の手順でデバイスを無効にする。

また、競合しているデバイスが着脱可能な場合は、本機から取りはずせば競合は解消します。

- 1 「デバイス マネージャ」画面で競合しているデバイスをダブルクリックする。
- 2 [全般]タブの「デバイスの使用状況」の▼をクリックし、表示されるリストから[このデバイスを使わない(無効)]をクリックする。
- 3 [OK]をクリックする。

今までできていたのにできなくなった場合

- 3分以内に3回以上同じ電話番号にかけた場合は、リダイヤル制限がかかりダイヤルできなくなります。
3分以上、時間をおいてからかけ直してください。

モデムはダイヤルしているが、接続できない。

接続の動作(ネゴシエーション)が始まらない場合

- ダイヤル方法を確認する。

お使いの電話回線のダイヤル方式がトーン式ダイヤルかパルス式ダイヤルかを確認し、次の手順に従って操作し、ダイヤル方法が正しく設定されているか確認する。



お使いの電話回線のダイヤル方法がわからない場合は、電話会社から送られてくる請求内訳表をご覧ください。請求内訳表の中に「プッシュ回線使用料」と記載されている場合は「トーン式ダイヤル」です。回線(基本)使用料のみ記載されている場合は「パルス式ダイヤル」です。電話回線のダイヤル方法について詳しくは、契約している電話会社へお問い合わせください。

- 1 [スタート]ボタンをクリックして、[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。
- 2 [プリンタとその他のハードウェア]アイコンをクリックする。
- 3 [電話とモデムのオプション]アイコンをクリックする。
「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。
- 4 [ダイヤル情報]タブで所在地を選び、[編集]をクリックする。
「所在地の編集」画面が表示されます。
- 5 「ダイヤル方法」が電話回線の種類と同じか確認する。
- 6 [OK]をクリックする。
- 7 「電話とモデムのオプション」画面で[OK]をクリックし、画面を閉じる。

→ 接続先の設定(電話番号など)を再確認する。

「リモートコンピュータが応答していません」、「ユーザー名またはパスワード、あるいはその両方が無効なため、このドメインにアクセスできませんでした」といったメッセージが表示されるときは、次の手順でプロバイダやネットワークに接続するための設定を確認します。

1 [スタート]ボタンをクリックして、[コントロール パネル]をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 [ネットワークとインターネット接続]アイコンをクリックする。

3 [ネットワーク接続]アイコンをクリックする。

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

4 接続先のアイコンを右クリックし、表示されるメニューから[プロパティ]をクリックする。

5 契約しているプロバイダから提供された資料に従って設定を確認する。

特に、次の点を重点的に確認してください。

- [全般]タブ

「接続の方法」と「電話番号」の設定

- [ネットワーク]タブ

「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」の設定で「PPP:Windows 95/98/NT4/2000, Internet」が選択されていることと、「この接続は次の項目を使用します」の「インターネットプロトコル(TCP/IP)」がチェックされていることを確認してください。

また、「インターネットプロトコル(TCP/IP)」のプロパティを開き、その設定内容も確認してください。

ご注意

- チェックすべき項目以外はすべてチェックをはずしてください。
- プロバイダから DNS サーバーアドレスを指定されない場合(自動設定)は、[DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する]をクリックしてください。



- プロバイダによっては、同じアクセスポイントでも一般電話回線と ISDN 回線で電話番号をわけていることもあります。使用する電話回線にあった電話番号かは、契約したプロバイダにお問い合わせください。
- DNS サーバーアドレス(プライマリ DNS とセカンダリ DNS)を入力し直す場合は、[次の DNS サーバーのアドレスを使う]をクリックしてから、正しいアドレスを入力します。

- 接続先を作り直してみる。
- 設定などに問題がなかった場合は、次の手順でダイヤルアップ接続アイコンを作り直してから、接続してみてください。
- 1 **[スタート]ボタンをクリックして、[コントロールパネル]をクリックする。**
「コントロールパネル」画面が表示されます。
 - 2 **[ネットワークとインターネット接続]アイコンをクリックする。**
 - 3 **[ネットワーク接続]アイコンをクリックする。**
「ネットワーク接続」画面が表示されます。
 - 4 **接続先のアイコンをごみ箱にドラッグアンドドロップする。**
ダイヤルアップ接続アイコンを削除するか確認するメッセージが表示されます。
 - 5 **[はい]をクリックする。**
ダイヤルアップ接続アイコンが削除されます。
 - 6 **「ネットワーク タスク」の[新しい接続を作成する]をクリックする。**
「新しい接続ウィザードの開始」画面が表示されます。
 - 7 **[次へ]をクリックする。**
「ネットワーク接続の種類」画面が表示されます。
 - 8 **[インターネットに接続する]の○をクリックして●にし、[次へ]をクリックする。**
「準備」画面が表示されます。
引き続き「接続のための設定をする」(91ページ)の手順5～10の操作を行ってください。
インターネット接続ウィザードが終了すると、「ネットワークとダイヤルアップ接続」画面の中に新しいダイヤルアップ接続アイコンができます。
このアイコンをダブルクリックして、接続を試してください。
それでも接続できない場合は、接続先のサーバーが停止している可能性があります。時間をおいて再度ダイヤルし直してください。
- NTTの117時報サービスにダイヤルできるか試してみる。
- 「ハイパーターミナル」ソフトウェアで時報にダイヤルできるか試します。ダイヤルできた場合、モデムや回線は正常に動作しているので、接続の設定をもう1度確認してください。
- 1 **[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[アクセサリ]から[通信]、[ハイパーターミナル]の順にクリックする。**
「ハイパーターミナル」ソフトウェアが起動し、「接続の設定」画面が表示されます。
 - 2 **「名前」に任意の名前を入力し、[OK]をクリックする。**
 - 3 **「電話番号」に次のとおり時報の番号を入力し、[OK]をクリックする。**
トーン回線をお使いのかたは「ATDT117」と入力します。パルス回線をお使いのかたは「ATDP117」と入力します。
[OK]をクリックすると、「接続」画面が表示されます。
 - 4 **[ダイヤル]をクリックする。**



- 音が小さい場合は、[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[エンターテインメント]→[ボリュームコントロール]で「ボリュームコントロール」画面を開き、電話の項目で音量を調節します。
- 電話の項目が表示されていない場合は、[オプション]→[プロパティ]→[表示するコントロール]で電話の項目をチェックして表示してください。

接続の動作(ネゴシエーション)はするが接続できない場合

→ ユーザー名やパスワードを確認する。

- 1 [スタート]ボタンをクリックして、[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。
- 2 [ネットワークとインターネット接続]アイコンをクリックする。
- 3 [インターネット オプション]アイコンをクリックする。
「インターネットのプロパティ」画面が表示されます。
- 4 [接続]タブをクリックする。
- 5 「ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定」から接続先を選んでクリックし、[設定]をクリックする。
設定画面が表示されます。
- 6 「ユーザー名」や「パスワード」が正しいか確認する。
ユーザー名やパスワードを忘れてしまった場合は、プロバイダから郵送されてきた資料を確認してください。または、契約したプロバイダにお問い合わせください。



- 「モデムはダイヤルしているが、接続できない。」(129ページ)の内容も合わせてご覧ください。
- インターネットの接続に関して詳しくは、「インターネットを始める」(70ページ)をご覧ください。

→ いったん切断してからかけ直す。

接続中の動作が長く続き接続が完了しないときは、いったん回線を切断してかけ直します。

高い通信速度で接続する場合、まれに接続に失敗して、接続確認の動作が終わらなくなることがあります。

- アクセスポイントを変更する。
- 内蔵モデムやターミナルアダプタが発信しているのに、ネゴシエーションが始まらない場合は、次のような問題が考えられます。
- 接続先の回線の状態が良くない。
 - 接続先の回線が混み合っている。
 - 接続先のモデムが不調である。
- この場合は、時間帯をずらして再度接続してみるか、アクセスポイントを変更して接続してみてください。

アクセスポイントを変更する

アクセスポイントを変更するには、次の手順に従って操作します。

- 1 [スタート]ボタンをクリックして、[コントロールパネル]をクリックする。
「コントロールパネル」画面が表示されます。
- 2 [ネットワークとインターネット接続]アイコンをクリックする。
- 3 [ネットワーク接続]アイコンをクリックする。
「ネットワーク接続」画面が表示されます。
- 4 ダイアルアップ接続名(チェックシートのダイアルアップ接続名)のアイコンを右クリックし、表示されるメニューから[プロパティ]をクリックする。
ダイアルアップ接続のプロパティ画面が表示されます。
- 5 「電話番号」の入力欄に別のアクセスポイントの電話番号を半角の数字で入力する。
- 6 [OK]をクリックする。

接続するが通信速度が遅い場合

- 回線が混み合っている場合や回線の品質が悪い場合は、エラーが発生しないよう自動的に通信速度を落とします。

インターネットに接続できない。

ホームページが表示されない場合

- webブラウザの設定を確認する。
- プロバイダによっては、webブラウザの設定が必要な場合があります。契約したプロバイダから送られてくる資料などをご覧になり、設定を確認してください。
- URLを確認する。
- アドレスバーに表示されているURLが正しく入力されているか確認します。URLは半角英数字で入力してください。

電子メールを送受信できない場合

- 「Outlook Express」ソフトウェアをお使いの場合。
次の手順に従って操作し、電子メールソフトウェアの設定を確認する。
- 1 [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[Outlook Express]をクリックする。
「Outlook Express」が起動します。
「ダイヤルアップの接続」画面が表示されたときは、[オフライン作業]をクリックします。
 - 2 画面上部の[ツール]をクリックし、表示されるメニューから[アカウント]をクリックする。
「インターネット アカウント」画面が表示されます。
 - 3 [メール]タブをクリックする。
 - 4 お使いのアカウントをクリックして選び、[プロパティ]をクリックする。
 - 5 各タブをクリックし、各項目が正しく入力されているか確認する。

ご注意

文字は半角文字で入力してください。全角で入力してあると、電子メールソフトウェアが正しく設定されません。

- 「Outlook Express」以外の電子メールソフトウェアをお使いの場合。
それぞれのソフトウェアの取扱説明書またはヘルプをご覧ください。正しく設定されているか確認してください。



電子メール送受信について詳しくは、「インターネットを始める」(70ページ)をご覧ください。

携帯電話を使って接続できない場合

- 携帯電話や接続アダプタの設定を確認する。
お使いの携帯電話や接続アダプタに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 所在地情報を確認する。
- 1 [スタート]ボタンをクリックして、[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。
 - 2 [プリンタとその他のハードウェア]アイコンをクリックする。
 - 3 [電話とモデムのオプション]アイコンをクリックする。
「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。
 - 4 [ダイヤル情報]タブで所在地を選び、[編集]をクリックする。
 - 5 [全般]タブの「市外局番」に何も入力されていないときは、「000」など実在しない番号を入力する。

通信中にエラーメッセージが表示される。

- 本機の内蔵モデムはソフトウェアで一部の機能を制御しています。そのため、インターネットやファックスの通信中に、他のソフトウェアや周辺機器が動作してシステムに負担がかかると、エラーメッセージが表示されることがあります。このようなときは、他のソフトウェアを終了させるか、周辺機器を取りはずしてから、通信し直してください。

カスタマー登録

オンラインでカスタマー登録できない。

- 本機が電話回線に正しく接続されているか確認する。(78ページ)
- お使いの電話回線がトーン式ダイヤルかパルス式ダイヤルかを確認し、ダイヤルの種類に合わせて内蔵モデムを設定する。



お使いの電話回線のダイヤル方法がわからない場合は、電話会社から送られてくる請求内訳表をご覧ください。請求内訳表の中に「プッシュ回線使用料」と記載されている場合は「トーン式ダイヤル」です。回線(基本)使用料のみ記載されている場合は「パルス式ダイヤル」です。電話回線のダイヤル方法について詳しくは、契約している電話会社へお問い合わせください。

- ISDN回線をお使いの場合は、本機の⚡(USB)コネクタとターミナルアダプタのUSBコネクタをつないでください。(80ページ)
- ターミナルアダプタ、携帯電話、PHSなど、お使いになる通信機器によっては、正しく接続できないことがあります。この場合は、本機のモジュラジャックと一般電話回線をつなぎ(78ページ)、通信を行ってください。

液晶ディスプレイ・外部ディスプレイ

液晶ディスプレイに何も表示されない。

- LCD/Videoスタンバイになっている。タッチパッドに触れるか、キーボードのいずれかのキーを押す。
- 外部ディスプレイに表示が切り替えられている。Fnキーを押しながら、F7キーを何回か押す。詳しくは、「Fnキーとの組み合わせ」(67ページ)をご覧ください。

液晶ディスプレイが暗い。

- Fnキーを押しながら、F5キーを押すと、液晶ディスプレイの明るさを調節できます。詳しくは、「Fnキーとの組み合わせ」(67ページ)をご覧ください。
- 本機はエネルギースター規格に基づいて設計されており、工場出荷時の設定では、AC電源でご使用中に30分以上操作しないと、自動的に本機の液晶ディスプレイが暗くなります(LCD/Videoスタンバイ*1)。タッチパッドに触れるかキーボードのいずれかのキーを押すと、元の状態に戻ります。

また、バッテリーで長時間使用できるようにするため、工場出荷時の設定では、バッテリーでご使用中に数分間以上操作をしないと自動的に本機の液晶ディスプレイが暗くなります(LCD/Videoスタンバイまたはスタンバイ*1)。

さらに数分間以上操作をしないとシステムの状態をハードディスクに書き込んでから自動的に本機の電源を切ります(休止状態*1)。

元の状態に復帰させるには、 (パワー) ランプの状態により次の操作を行ってください。

-  (パワー) ランプがグリーンで点灯(LCD/Videoスタンバイ)
タッチパッドに触れるか、キーボードのいずれかのキーを押す
-  (パワー) ランプがアンバー(赤褐色)で点滅(スタンバイ)
キーボードのいずれかのキーまたは  (パワー) ボタンを押す*2。
-  (パワー) ランプが消灯(休止状態または電源オフ)
 (パワー) ボタンを押す。

*1詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の  **VAIOの使いかた** をクリックし、
[VAIO インフォメーション]→[知っ得情報]→[省電力動作モードについて]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

*2  (パワー) ボタンを4秒以上押しつづけると保存された状態が破棄されますのでご注意ください。

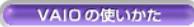
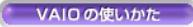
液晶ディスプレイの明るさ設定が変わってしまう。

- 本機では「PowerPanel」ソフトウェアを使って、ACアダプタを抜き差ししたときなどに最適な動作モードになるよう、自動的にパワープロファイルが切り替わります(パワーマネージメント機能)。
Fnキーを押しながらF5キーを押すことで設定する液晶ディスプレイの明るさは、一時的なものです。特定のプロファイルで液晶ディスプレイの明るさ設定を保存したい場合は、下記の手順に従って操作してください。
- 1 デスクトップ画面右下の通知領域にあるを右クリックして、表示されたメニューから[プロファイルの編集/作成]をクリックする。
「プロファイルエディタ」が起動します。
 - 2 画面左から設定を変更したいプロファイルをクリックする。
工場出荷時の状態では、バッテリー動作時は自動的に「スタミナ」プロファイルが選択されます。
 - 3 画面右から[LCD Brightness]をダブルクリックする。
設定値のリストが表示されます。現在有効な設定値がチェックされています。
 - 4 好みの設定値をクリックする。
 - 5 「ファイル」メニューをクリックし、[保存]をクリックする。
 - 6 「ファイル」メニューをクリックし、[終了]をクリックする。
「プロファイルエディタ」が終了し、手順(4)で選んだ設定値が有効になります。

液晶ディスプレイの表示が拡大表示されない。

- Fnキーを押しながらFキーを押して設定してください。
また、本機を再起動した場合にも、再度Fnキーを押しながらFキーを押して設定し直してください。(67ページ)

外部ディスプレイに何も表示されない。

- 表示するディスプレイの設定を確認してください。詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の  をクリックし、[設定を変更する]→[画面表示の設定を変更する]→[表示するディスプレイを選ぶ]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。
- 本機を起動中、ユーザーの簡易切り替えを行うと、その後Fnキーを押しながらF7キーを押して表示するディスプレイを変更することができません。
本機起動時のユーザーでログオンし直すか、「表示するディスプレイを選ぶ」の手順に従って設定を変更してください。詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の  をクリックし、[設定を変更する]→[画面表示の設定を変更する]→[表示するディスプレイを選ぶ]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

外部ディスプレイの表示サイズ、表示位置がおかしい。

- ディスプレイの調整つまみで設定する。詳しくは、ディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

デスクトップ画面上にウィンドウやアイコンの軌跡が残る。

-  キーを押しながら D キーを 2 回押す。

タッチパッド・キーボード

指がタッチパッドの端まできてしまい、これ以上動かせない。

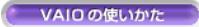
- 指をいったんタッチパッドから離し、中央に戻す。

指がタッチパッドに触れただけで、クリックしてしまう。

- タッチパッドの設定を変更し、タッピング機能を無効にしてください。

詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の  をクリックし、[設定を変更する]→[タッチパッドをカスタマイズする]→[タッピング機能を無効にする]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

タッチパッドが働かない。

- タッチパッドが無効になっている。タッチパッドの設定を変更し、タッチパッドを有効にしてください。詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の  をクリックし、[設定を変更する]→[「Sony Notebook Setup」で本機の使用環境を設定する]→[タッチパッドを無効にする／有効にする]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

- 次の手順でタッチパッドの設定を確認してください。

- 1 [スタート]ボタンをクリックして、[コントロール パネル]をクリックする。
- 2 [プリンタとその他のハードウェア]アイコンをクリックする。
「マウスのプロパティ」画面が表示されます。
- 3 [マウス]アイコンをクリックする。
- 4 [タッピング]タブをクリックする。
- 5 「コーナーでタップしない」がチェックされていないことを確認する。
チェックされているときは、クリックしてチェックをはずします。

画面上のポインタが動かない。

- CD-ROMなどのディスクを再生しているときなどにポインタが動かなくなった場合は、**Ctrl**キーと**Alt**キーを押しながら**Delete**キーを押して「**Windows**タスクマネージャ」を表示させ、「アプリケーション」タブでディスクの再生を強制的に終わらせ、次の手順で本機を再起動する。
- キーを押して[スタート]メニューを表示させ、↑キーを押して[終了オプション]を選んで**Enter**キーを押し、↑キーまたは↓キーを押して[電源を切る]または[再起動]を選び、**Enter**キーを押す。
- 上記の操作で電源が切れないまたは再起動しない場合は、**Ctrl**キーと**Alt**キーを押しながら**Delete**キーを押して「**Windows**タスクマネージャ」を表示させ、**Alt**キーを押しながら**U**キーを押してから↑キーまたは↓キーを押して[コンピュータの電源を切る]または[再起動]を選び、**Enter**キーを押す。
- 以上の操作でも何も起こらないときは、本機の  (パワー) ボタンを4秒以上押して電源を切る。

画面上のすべてのものが動かなくなりました。

- **Ctrl**キーと**Alt**キーを押しながら**Delete**キーを押して「**Windows**タスクマネージャ」を表示させ、**Alt**キーを押しながら**U**キーを押してから↑キーまたは↓キーを押して[再起動]を選び、**Enter**キーを押して本機を再起動する。
- 以上の操作でも何も起こらないときは、本機の  (パワー) ボタンを4秒以上押して電源を切る。

タッチパッドでスクロール機能が働かない。

- ソフトウェアによっては、タッチパッドのスクロール機能が使えないことがあります。その場合は、タッチパッドの左右ボタンを同時に押して、オートスクロール機能を可能にしてからスクロールしてください。

キーボードを使って正しく入力できない。

- **U**、**I**、**O**、**J**、**K**、**L**、**M**、**@**などの文字が入力できない場合は、**Num Lock** (ナムロック) が有効になっている場合があります。
 (**Num Lock**) ランプが点灯していないか確認してください。点灯している場合は、**Num Lk**キーを押してランプを消灯させてから入力してください。

→ 次の手順で操作し、キーボードの項目が「日本語 PS/2 キーボード (106/109キー Ctrl+英数)」に設定されているか確認してください。異なるキーボードタイプに設定していると、入力したい文字と違う文字が表示されることがあります。

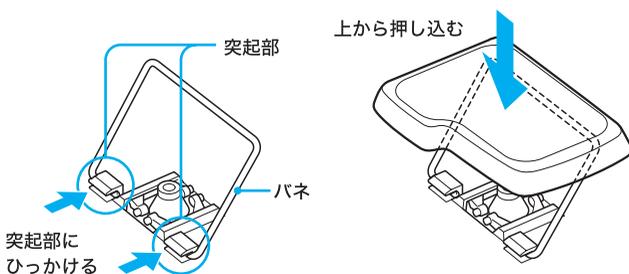
- 1 [スタート]ボタンをクリックして、[コントロール パネル]をクリックする。
- 2 [パフォーマンスとメンテナンス]アイコンをクリックする。
- 3 [システム]アイコンをクリックする。
- 4 「ハードウェア」タブの[デバイス マネージャ]をクリックする。
- 5 キーボードの項目が「日本語 PS/2 キーボード (106/109キー Ctrl+英数)」に設定されているか確認する。

キートップがはずれた。

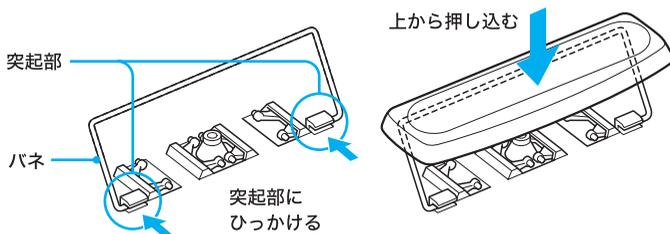
→ EnterキーとShiftキー、スペースキーがはずれた場合は、以下の図に従って取り付けてください。その他のキートップがはずれたときは、元の位置に戻して「カチッ」と音がするまで上から押し込んでください。

キートップの取り付けかた

キートップから針金のバネを取りはずして、突起部にひっかけ、キートップの中心を合わせて「カチッ」と音がするまで上から押し込みます。
Enterキー

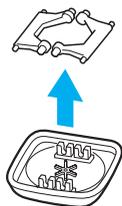


Shiftキー、スペースキー

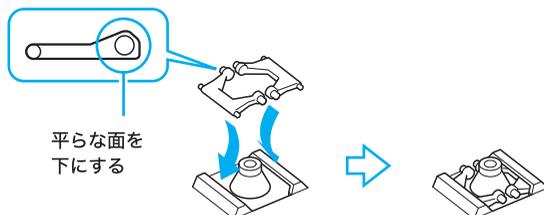


→ キートップと一緒にプラスチックのバネもはずれた場合は、下記の手順に従って取り付けてください。

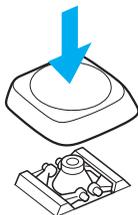
1 キートップからプラスチックのバネを取りはずす。



2 バネの平らな面を下にし、向きを確認してからキーボードに取り付ける。



3 キートップを元の位置に戻して「カチッ」と音がするまで上から押し込む。



ご注意

- キートップを故意にはずさないでください。故障の原因となります。
- 取り付けるときに無理に力を加えると破損の原因となります。取り扱いには充分ご注意ください。

フロッピーディスク

フロッピーディスクが取り出せない。

- USBフロッピーディスクドライブを取りはずして、VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

「ディスクがいっぱいです」というメッセージが表示され、ファイルなどをフロッピーディスクに保存できない。

- フロッピーディスクの容量の空きがない。容量の空きが充分にある別のフロッピーディスクを使って保存し直す。

「書き込み禁止」というメッセージが表示された。

- フロッピーディスクが書き込み禁止になっている。タブを動かして書き込み可能にする。詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の

VAIOの使いかた

をクリックし、[基本的な使いかた]→[フロッピーディスクを使う]→[フロッピーディスクのデータを誤って消さないようにする]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

「マイ コンピュータ」からフロッピーディスクを選んで初期化しようとしたができない。

- フロッピーディスクが書き込み禁止になっている。タブを動かして書き込み可能にする。詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の

VAIOの使いかた

をクリックし、[基本的な使いかた]→[フロッピーディスクを使う]→[フロッピーディスクのデータを誤って消さないようにする]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

- フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブにきちんと入っているか確認する。

- 「アプリケーションが使用中です」というメッセージが出たときは、フロッピーディスクの内容が画面で表示されている。画面表示されているときは初期化できないので、フロッピーディスクのウィンドウを閉じる。

フロッピーディスクにアクセスできない。

- お使いになるフロッピーディスクのフォーマットなどをご確認ください。本機で使用できるフロッピーディスクについて詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の **VAIOの使いかた** をクリックし、[VAIOインフォメーション]→[知っ得情報]→[使用できるフロッピーディスク]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

CD-ROM・CD-R・CD-RW・DVD-ROM

CD-ROMなどのディスクが再生できない。

- ディスクが正しくトレイに置かれているか確認する。詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の **VAIOの使いかた** をクリックし、[基本的な使いかた]→[CDなどのディスクを使う]→[ディスクを入れる/取り出す]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。
- ディスクの再生面を柔らかい布できれいに拭き、汚れをとる。(175ページ)
- 結露(170ページ)が生じている可能性があります。1時間くらい待って電源を入れ直してから、もう1度再生してみる。
- 再生音量を確認する。

DVDが再生できない。

- DVDディスクの地域番号(リージョンコード)が合っているか確認する。詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の **VAIOの使いかた** をクリックし、[VAIOインフォメーション]→[制限事項]→[DVDビデオについてのご注意]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。
- 本機の液晶ディスプレイの設定が、標準解像度以下に設定されているか確認してください。詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の **VAIOの使いかた** をクリックし、[設定を変更する]→[画面表示の設定を変更する]→[ディスプレイの設定を変更する]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。
- リフレッシュレートを変更している場合は、下記の手順に従って設定を変更してください。
 - 1 [スタート]ボタンをクリックして、[コントロールパネル]をクリックする。
 - 2 [デスクトップの表示とテーマ]アイコンをクリックする。
 - 3 [画面]アイコンをクリックする。
「画面のプロパティ」画面が表示されます。
 - 4 [設定]タブをクリックする。
 - 5 [詳細設定]をクリックする。
 - 6 [モニタ]タブをクリックし、リフレッシュレートを60ヘルツに設定する。
 - 7 [OK]をクリックする。
手順(3)の画面に戻ります。
 - 8 [OK]をクリックする。

ディスクの再生時、音がとぎれる。

- ディスクの再生面を柔らかい布できれいに拭き、汚れをとる。(175ページ)

ディスクが取り出せない。

- 本機が省電力動作モードのときは、ディスクを取り出せません。通常モードに復帰させてから、イジェクトボタンを押してください。詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の **VAIOの使いかた** をクリックし、[VAIOインフォメーション]→[知っ得情報]→[省電力動作モードについて]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

イジェクトボタンを押してもディスクが取り出せない。

- 針金のようなもの(太めのクリップで代用可)を、ドライブ側面にあるマニュアルイジェクト穴に押し込んでください。

“メモリースティック”

「書き込み禁止」または「書き込み保護されています」というメッセージが表示された。

- “メモリースティック”が書き込み禁止になっている。タブを動かして書き込み可能にする。詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の **VAIOの使いかた** をクリックし、[基本的な使いかた]→[“メモリースティック”を使う]→[データを書き込み禁止にする]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

“メモリースティック”を挿入すると、「このメディアは使用できません。著作権非対応のメディアか不正なメディアが挿入されています」などのメッセージが表示される。

- “メモリースティック”内に保存されている静止画像などを表示/再生する場合は、次の手順で「SonicStage for VAIO」ソフトウェアの設定を確認してください。
 - 1 [スタート]ボタンをクリックする。
 - 2 [すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[SonicStage]から、[SonicStage]をクリックする。
 - 3 [ツール]メニューから[設定]を選んでクリックする。
 - 4 [全般]タブをクリックする。
 - 5 「SonicStage Startupをタスクトレイに追加する」がチェックされていないことを確認する。
チェックされているときは、クリックしてチェックをはずします。
 - 6 [OK]をクリックする。

DV機器・i.LINK機器

DV機器が使用できない。または、「DV機器が接続されていないか、電源が入っていないので、動作しません。」などのメッセージが表示される。

- DV機器の電源が入っているか、またはケーブルが正しく接続されているか確認する。詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の **VAIOの使いかた** をクリックし、[拡張・接続／データのやりとり] → [i.LINK対応機器とデータをやりとりする] → [i.LINK対応機器をつなぐ]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。
- i.LINKでは、複数の機器を接続して動くように設計されていますが、機器との組み合わせによっては、動作が不安定になることがあります。接続されている機器すべての電源をいったん切り、なるべく不要な機器を取りはずして、ケーブルの接続を確認した後、再度電源を入れてください。

本機と接続したi.LINK対応機器が認識されない。または、「DV機器が接続されていないか、電源が入っていないので、動作しません。」などのメッセージが表示される。

- いったんi.LINKケーブルを抜き、再度接続し直してください。詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の **VAIOの使いかた** をクリックし、[拡張・接続／データのやりとり] → [i.LINK対応機器とデータをやりとりする] → [i.LINK対応機器をつなぐ]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

「DVgate」ソフトウェアを使用してテープに録画中、「DV機器への録画に失敗しました。DV機器の電源、接続の状態を確認して操作をやり直してください」というメッセージが表示される。

- DV機器の電源やケーブルが正しく接続されているかどうか確認してください。また、続けて録画を行っていると、機器が正しく接続されていても、録画できなくなる場合があります。その場合、すべてのソフトウェアを終了してから本機を再起動してください。さらに快適な環境でご使用いただくためには、メモリの増設をおすすめします。(152ページ)

「DVgate」ソフトウェアを使用中にフレーム落ちが生じる。

- 使用状況によってはフレーム落ちが生じることがあります。その場合は、メモリの増設をしてください。(152ページ)

プリンタ

プリンタで印刷できない。

- Windows XP対応でないプリンタドライバではお使いになれません。
- お使いのプリンタの製造元から Windows XPに対応したドライバを入手してお使いいただくか、プリンタの製造元へお問い合わせください。

PCカード

PCカードが使えない。

- Windows XP対応でないPCカードは使えないことがあります。
- 以前使用できたPCカードが使用できなくなった場合は、次の手順でドライバの更新を行ってください。
 - 1 [スタート]ボタンをクリックして、[コントロール パネル]をクリックする。
 - 2 [パフォーマンスとメンテナンス]アイコンをクリックする。
 - 3 [システム]アイコンをクリックする。
 - 4 [ハードウェア]タブの[デバイス マネージャ]をクリックする。
 - 5 動作しないPCカードをダブルクリックして、プロパティ画面を表示する。
 - 6 [ドライバ]タブの[ドライバの更新]をクリックする。
- ドライバの更新を行っても使用できない場合は、PCカード製造元にお問い合わせください。

スピーカー

スピーカーから音が出ない

- 本機の内蔵スピーカーまたは付属のステレオスピーカーが「切」になっている。Fnキーを押しながら、F3キーを押す。(67ページ)
- 本機の内蔵スピーカーまたは付属のステレオスピーカーの音量が最小になっている。Fnキーを押しながら、F4キーを押したあと、↑または→キーを押して音量を上げる。(67ページ)
- 外部スピーカーをお使いの場合は、本機とスピーカーが正しく接続されているか確認する。
- 外部スピーカーの音量が最小になっている。音量つまみで音量を上げる。詳しくは、スピーカーに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 〇コネクタにケーブルをつないでいるときは、ケーブルをはずす。

Fnキーを押しながらF3キーまたはF4キーを押しても、何も表示されない。

- 次の手順で「デバイス マネージャ」画面を表示し、サウンドデバイスを使用できるように設定してください。
 - 1 [スタート]ボタンをクリックして、[コントロール パネル]をクリックする。
 - 2 [パフォーマンスとメンテナンス]アイコンをクリックする。
 - 3 [システム]アイコンをクリックする。
 - 4 [ハードウェア]タブの[デバイス マネージャ]をクリックする。

マイク

マイクが使えない。

- 録音デバイスとしてマイクが選択されていない可能性があります。次の手順に従って選択してください。
 - 1 デスクトップ画面右下の通知領域にある  をダブルクリックする。
 - 2 [オプション]メニューから[プロパティ]を選ぶ。
 - 3 「音量の調整」の[録音]と「表示するコントロール」のマイクの項目をチェックし、[OK]をクリックする。
 - 4 マイクの欄で「選択」がチェックされていることを確認する。
チェックされていないときは、クリックしてチェックします。
 - 5 スライダーを上下に動かして好みの音量に調整する。
- 「Windows Media Player」などの音声を扱うソフトウェアと同時に動かしている場合は、それらのソフトウェアを終了させてください。
- プラグインパワー方式に対応したマイクをご使用ください。

音声を扱うソフトウェアでエラーメッセージが表示された。

- 他の音声を扱うソフトウェアと同時に動かしている場合は、それらのソフトウェアを終了させてください。

ファン

ファンの音が大きい。

- 「PowerPanel」ソフトウェアの「放熱制御の方法」を「サイレント」に変更する。詳しくは、「PowerPanel」のヘルプをご覧ください。

パスワード

パスワードを忘れた。

- パスワードを忘れてしまったときは、修理(有償)が必要となります。
VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

省電力動作モード

「VAIO Action Setup」で省電力動作モードにならない。

- 動作しているプログラムやデバイスによっては、省電力動作モードに移行できないことがあります。

バッテリー残量がわずかなのに、休止状態にならない。

- 使用中のソフトウェアや接続している周辺機器によっては、Windowsからの指示で作業を一時中断することができないため、この機能が正しく働かないことがあります。

休止状態に移行できない。

下記の操作を行ってください。

- モデム通信やプリンタユーティリティなどが使用中の場合は、終了するか一時的に使用不可にする。
- それでも休止状態に移行できない場合は、次の手順で操作してください。
 - 1 [スタート]ボタンをクリックして、[コントロール パネル]をクリックする。
 - 2 [パフォーマンスとメンテナンス]アイコンをクリックする。
 - 3 [電源オプション]アイコンをクリックする。
「電源オプションのプロパティ」画面が表示されます。
 - 4 [休止状態]タブで「休止状態を有効にする」がチェックされているか確認する。
チェックされていないときは、チェックボックスをクリックしてチェックしてください。
 - 5 [詳細設定]タブをクリックする。
 - 6 「電源ボタン」の「コンピュータの電源ボタンを押したとき」が「休止状態」になっているか確認する。
「休止状態」になっていないときは、 をクリックして[休止状態]を選び、[OK]をクリックしてください。

スタンバイに移行できない。

- モデム通信やプリンタユーティリティなどが使用中の場合は、終了するか一時的に使用不可にする。

電源オプションの設定が有効にならない。

→ 付属の「PowerPanel」ソフトウェアを使用して設定してください。本機では、「PowerPanel」で省電力動作モードを管理しています。

設定方法について詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の

VAIOの使いかた

をクリックし、[設定を変更する]→[「PowerPanel」でバッテリーの消費電力を節約する]→[プロファイルのパワーマネージメント設定を変更する]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

ハードディスク

誤ってハードディスクを初期化してしまった。

→ リカバリ CDを使って、本機を再セットアップする必要があります。
(158ページ)

ハードディスクから起動できない。

→ フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っているときは、イジェクトボタンを押して、取り出す。その後、キーボードのいずれかのキーを押す。

ソフトウェア

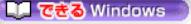
「Smart Capture」ソフトウェアが起動しない。

→ リフレッシュレートを変更している場合は、下記の手順に従って設定を変更してください。

- 1 [スタート]ボタンをクリックして、[コントロール パネル]をクリックする。
- 2 [デスクトップの表示とテーマ]アイコンをクリックする。
- 3 [画面]アイコンをクリックする。
「画面のプロパティ」画面が表示されます。
- 4 [設定]タブをクリックする。
- 5 [詳細設定]をクリックする。
- 6 [モニタ]タブをクリックし、リフレッシュレートを60ヘルツに設定する。
- 7 [OK]をクリックする。
手順(3)の画面に戻ります。
- 8 [OK]をクリックする。

文字入力

日本語が入力できない。

- 「サイバーサポート」画面上部の  をクリックして表示される情報をご覧ください。

キーボードを使って正しく入力できない。

- U、I、O、J、K、L、M、@などの文字が入力できない場合は、Num Lock(ナムロック)が有効になっている場合があります。
① (Num Lock) ランプが点灯していないか確認してください。点灯している場合は、Num Lkキーを押してランプを消灯させてから入力してください。
- 次の手順で操作し、キーボードの項目が「日本語 PS/2 キーボード (106/109キー Ctrl+英数)」に設定されているか確認してください。異なるキーボードタイプに設定していると、入力したい文字と違う文字が表示されることがあります。
 - 1 [スタート]ボタンをクリックして、[コントロール パネル]をクリックする。
 - 2 [パフォーマンスとメンテナンス]アイコンをクリックする。
 - 3 [システム]アイコンをクリックする。
 - 4 「ハードウェア」タブの[デバイス マネージャ]をクリックする。
 - 5 キーボードの項目が「日本語 PS/2 キーボード (106/109キー Ctrl+英数)」に設定されているか確認する。

入力した文字が表示されない。

- 文字を入力したいソフトウェアの画面が前面に出ていない。(ディスプレイ上では薄い色の画面になります。)画面のどこかをクリックするか、AltキーとTabキーを同時に押して目的のソフトウェアを前面に出し、使える状態にする。

プロセッサ(CPU)

「システムのプロパティ」画面でCPUのクロック周波数が正しく表示されない。

- 「システムのプロパティ」画面にはCPUのクロック周波数が低めに表示される場合があります。



その他

メモリモジュールを取り付ける／取りはずす

メモリモジュールを取り付けるには

別売りのソニー製メモリーモジュール PCGA-MM64N/MM128Nを取り付けることにより、データの処理速度や、複数のソフトウェアを同時に起動したときの処理速度が向上します。

本機にはメモリモジュールを取り付けるスロットが2つ(1つはすでにメモリが内蔵)あり、最大256 Mバイトまでメモリを増設できます。

メモリを1枚しか使わない場合は、必ず右側のスロットに取り付けてください。

ご注意

- コンピュータ内部はとて精密にできています。そのため、メモリの増設は注意深く行う必要があります。取り付けかたや取りはずしかたを誤ると、本機の故障の原因になります。破損した場合は有償修理となります。メモリ増設に関するご相談やご質問は、VAIOカスタマーリンクまでご連絡ください。
- 別売りのソニー製メモリーモジュール PCGA-MM64N/MM128N以外では、正常に認識されなかったり、Windowsの動作が不安定になるものがあります。別売りのソニー製メモリーモジュール以外をお使いになる場合には、販売店またはメモリモジュールの製造メーカーにご相談ください。
- 水などの液体や、ネジなどの異物が入ると故障の原因となりますので、ご注意ください。

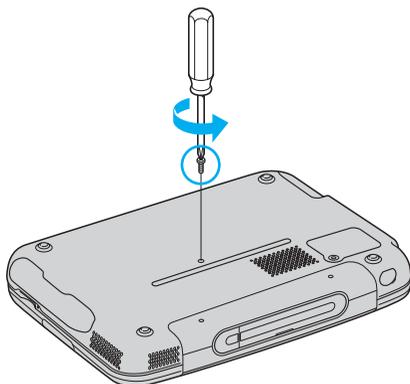
⚡メモリモジュール取り付け時のご注意

- 静電気でメモリモジュールを破壊しないように、メモリモジュールを取り扱うときは、次のことをお守りください。
 - －メモリを増設するときは、静電気の起こりやすい場所(カーペットの上など)では作業しないでください。
 - －静電気を体から逃がすため、本体の金属部に触れてから作業を始めてください。
 - －メモリモジュールは静電気防止袋に入っています。取り付け直前まで袋から出さないでください。
- メモリモジュールを保管するときは、静電気防止袋またはアルミホイルで覆ってください。

- 1 本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリー、および接続しているすべての機器を取りはずす。

2 しばらくしてから本機底面のキーボードを固定しているネジ(1か所)を、プラスドライバーで取りはずす。

電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。電源を切って約1時間ほどおいてから作業を行ってください。

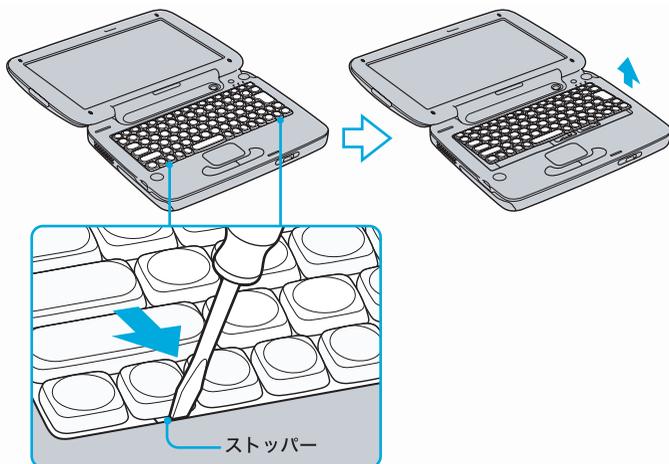


ご注意

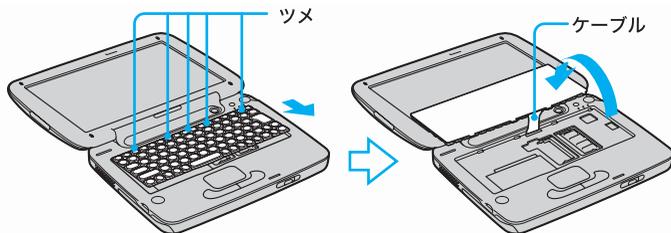
ドライバーはネジのサイズにあったもの(精密ドライバーなど)をお使いください。

3 ディスプレイパネルを開き、キーボードを裏返す。

- ① キーボード手前の本体側左右2か所にあるストッパーをマイナスドライバーや先の細いピンセットなどで手前に引いて、キーボード手前部分を持ち上げる。
左側のストッパーからはずすと、キーボードを持ち上げやすくなります。



- ② キーボードを手前に引いてキーボード奥にある5か所のツメをはずし、キーボードを持ち上げて下図のように裏返す。



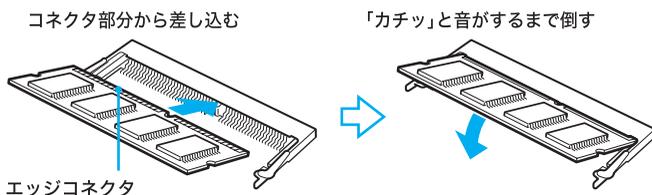
ご注意

キーボードを裏返すときに、キーボードのケーブルは無理に引っ張りすぎないようにしてください。ケーブルが断線してしまうおそれがあります。

4 本体の金属部に触れて体の静電気を逃がしてから、メモリモジュールを静電気防止袋から取り出す。

5 メモリモジュールを取り付ける。

- ① メモリモジュールを取り付けるスロットの透明なカバーを持ち上げる。
- ② メモリモジュールのエッジコネクタ部分を下にむけ、切り欠き部分をスロットの溝にあわせて、しっかりと差し込む。
- ③ カチッと音がするまで、矢印の方向にメモリモジュールを倒す。メモリモジュールの両端が固定されます。

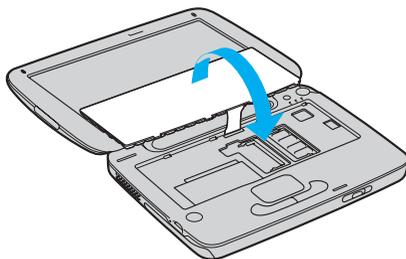


ご注意

- メモリモジュール以外の基盤には触れないようにご注意ください。
- メモリモジュールを1枚しか使わない場合は、必ず右側のスロットに取り付けてください。

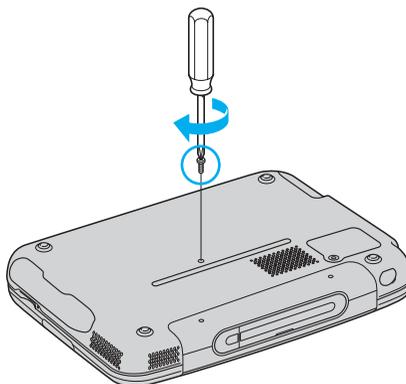
6 キーボードを戻す。

ケーブルが断線しないようにキーボードをゆっくり元の位置に戻し、キーボード奥のツメ(5か所)を引っかけて、本体に押し込んでください。



7 ディスプレイパネルを閉じ、キーボードを固定しているネジを締める。

プラスドライバーでキーボードを固定するネジ(1か所)をしっかりと締めてください。



メモリモジュールを取りはずすには

⚡メモリモジュール取りはずし時のご注意

- 静電気でメモリモジュールを破壊しないように、メモリモジュールを取り扱うときは、次のことをお守りください。
 - メモリモジュールを取りはずすときは、静電気の起こりやすい場所(カーペットの上など)では作業しないでください。
 - 静電気を体から逃がすため、本体の金属部に触れてから作業を始めてください。
- メモリモジュールを保管するときは、静電気防止袋またはアルミホイルで覆ってください。

1 本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリー、および接続しているすべての機器を取りはずす。

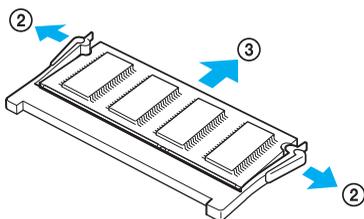
2 「メモリモジュールを取り付けるには」(152ページ)の手順2と手順3を行う。

電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。電源を切って約1時間ほどおいてから作業を行ってください。

3 本体の金属部に触れて体の静電気を逃がす。

4 メモリモジュールを取りはずす。

- ① メモリモジュールを取りはずすスロットの透明なカバーを持ち上げる。
- ② メモリモジュールを固定しているタブを、注意しながら同時に押し広げる。
- ③ メモリモジュールを矢印の方向に引き抜く。



5 「メモリモジュールを取り付けるには」(152ページ)の手順6と手順7を行う。

メモリの増設を確認する

- 1 本機の電源を入れる。
- 2 [スタート]ボタンをクリックして[ここから始めよう VAIO!]をクリックする。
- 3 画面左側の[ユーティリティ]をダブルクリックして[Sony Notebook Setup:ハードウェアの設定]をダブルクリックする。
「Sony Notebook Setup」画面が表示されます。

- 4 [システム情報]タブをクリックして、「システム メモリ」の項目が増設後のメモリ容量になっていることを確認する。

メモリの容量の表示が正しければ、メモリの増設は完了しました。

メモリの容量が増えていないときは、本機の電源を切って、もう1度正しく増設の手順を繰り返してください。



リカバリ CDで本機を再セットアップする

ここでは、付属のリカバリ CDを使って、本機を再セットアップする方法を説明します。

リカバリ CDとは

付属のリカバリ CDには「システム リカバリ CD-ROM」と「アプリケーション リカバリ CD-ROM」の2種類があり、出荷時のハードディスク内のすべてのファイルが保存されています。誤ってハードディスクを初期化してしまったり、あらかじめインストールされているソフトウェアを消してしまった場合には、「システム リカバリ CD-ROM」と「アプリケーション リカバリ CD-ROM」の両方のリカバリ CDを使って本機を再セットアップすることで、ハードディスクの内容を出荷時の状態に戻すことができます。なお、再セットアップ後に付属のOffice XP Personal プレインストールパッケージで、Microsoft® Office XP Personalをインストールし直してください。

リカバリ CDでできること

- ハードディスクを初期化したうえで、すべてのファイルを復元する。
- ハードディスクのパーティションサイズを変更する。
詳しくは、「パーティションサイズを変更する」(165ページ)をご覧ください。

ご注意

- 付属のリカバリ CDは本機でのみ使用できます。他の製品では動作しません。
- リカバリ CDで再セットアップできるのは、本機に標準で付属されているソフトウェアのみです。ご自分でインストールしたソフトウェアや、作成したデータを復元することはできません。またWindowsだけを復元することもできません。
- ご自分で変更された設定は、再セットアップ後はすべて初期値に戻ります。再セットアップ後に、もう1度設定し直してください。
- 再セットアップする際は、必ず「システム リカバリ CD-ROM」と「アプリケーション リカバリ CD-ROM」の両方のリカバリ CDを使って行ってください。

「アプリケーション リカバリ CD-ROM」を使わずに再セットアップを完了すると、本機の動作が不安定になる場合があります。

また、再セットアップ後に付属のOffice XP Personal プレインストールパッケージで、Microsoft® Office XP Personalをインストールし直してください。

上記の操作を行わないと、本機の動作が不安定になる場合があります。

再セットアップする前に

本機を再セットアップする前に、大切なデータは必ずバックアップをとってください。

バックアップをとるには、次の方法があります。

- フロッピーディスクにコピーする。
- CD-RW、CD-Rにコピーする。
- D:ドライブにデータを残して、再セットアップする。

本機のハードディスクは、C:ドライブとD:ドライブの2つのパーティションに分かれています。「本機を再セットアップするには」の手順4で「フォーマットしてリカバリ」を選んだ場合、C:ドライブのファイルはすべて消えてしまいますが、D:ドライブにあるファイルは残ります。

ご注意

「本機を再セットアップするには」の手順4で「パーティションサイズを変更してリカバリ」または「出荷時の状態へリカバリ」を選んだ場合は、それ以前にハードディスク上にあったファイルは、C:ドライブだけでなくD:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。

本機を再セットアップするには

すべての周辺機器をはずし、ACアダプタのみを接続してから、作業を行ってください。

Windowsが完全に起動できない場合などに本機を再セットアップするときは、「Windowsが完全に起動しない状態で本機を再セットアップするには」(164ページ)をご覧ください。

パーティションサイズを変更するときは、「パーティションサイズを変更する」(165ページ)をご覧ください。

ご注意

再セットアップした場合、それ以前にハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいます。再セットアップを行う前に、大切なデータはCD-RW、CD-Rに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

1 本機の電源が入っている状態で、付属の「システム リカバリ CD-ROM Vol.1 of 3」をCD-RW/DVDドライブに入れる。

自動的に「VAIO System Recovery Utility」が起動し、ドライブに関するご注意が表示され、続いて「はじめに」画面が表示されます。

2 内容をよく読み、[次へ]をクリックする。

- 3** 引き続き内容をよく読んでから[同意する]をクリックし、[次へ]をクリックする。
「メニュー選択」画面が表示されます。
[同意しない]をクリックすると、再セットアップ作業を続けることはできません。
- 4** 再セットアップの方法を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。
通常は「フォーマットしてリカバリ」を選ぶことをおすすめします。
- 5** 画面の指示に従って操作し、「再起動してリカバリを開始します」画面が表示されたら、[リカバリを開始する]のチェックボックスをクリックして、[完了]をクリックする。
自動的に本機が再起動します。
再セットアップを中止するときは、[キャンセル]をクリックします。
- 6** Sonyのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。
ディスプレイ画面左下に「Entering Setup…」と表示されたあと、BIOSセットアップ画面が表示されます。
「Entering Setup…」と表示されない場合は、F2キーを数回押してください。
- 7** Escキーを押す。
- 8** ↑または↓キーで[Get Default Values]を選択し、Enterキーを押す。
- 9** 「Load default configuration now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。
- 10** 「Exit(Save Changes)」が選ばれていることを確認して、Enterキーを押す。
- 11** 「Save configuration changes and exit now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。
本機が再起動し、再セットアップが始まります。
- 12** 「2枚目のディスクを入れてください。」というメッセージが表示されたら、付属の「システム リカバリ CD-ROM Vol.2 of 3」をCD-RW/DVDドライブに入れ、いずれかのキーを押す。
再セットアップの続きが始まります。

- 13**「3枚目のディスクを入れてください。」というメッセージが表示されたら、付属の「システム リカバリ CD-ROM Vol.3 of 3」をCD-RW/DVDドライブに入れ、いずれかのキーを押す。
再セットアップの続きが始まります。

- 14**「システム リカバリ CD-ROM」のセットアップが終了したら、画面の指示に従って「システム リカバリ CD-ROM Vol.3 of 3」を取り出してから何かキーを押し、本機を再起動する。

- 15**「Windowsを準備する」(28ページ)の手順に従って、Windowsのセットアップを行う。

- 16**付属の「アプリケーション リカバリ CD-ROM」をドライブに入れる。
自動的にアプリケーションソフトウェアのセットアップが始まります。アプリケーションソフトウェアのセットアップが終わるとメッセージが表示されるので、[OK]をクリックして本機を再起動してください。

- 17**付属のOffice XP Personal プレインストール パッケージで、Microsoft® Office XP Personalをインストールする。

次の手順で、画面の指示に従ってインストールしてください。詳しくは、パッケージに付属の「セットアップガイド」をご覧ください。

- ① Office CDをドライブに入れ、画面の指示に従って操作する。
- ② 「インストールの種類を指定してください」画面が表示されたら、[カスタム]のチェックボックスをクリックし、[次へ]をクリックする。
- ③ [アプリケーションごとにオプションを指定してインストールします]のチェックボックスをクリックして、[次へ]をクリックする。
- ④ 「Microsoft Office」左横のアイコンをクリックし、表示されたポップアップメニューから[マイ コンピュータからすべて実行]をクリックする。
- ⑤ [Microsoft Excel for Windows]をダブルクリックして「読み上げ」左横のアイコンをクリックし、表示されたポップアップメニューから[インストールしない]をクリックする。
- ⑥ [Office共有機能]、[入力システムの拡張]の順にダブルクリックし、「音声」左横のアイコンをクリックして表示されたポップアップメニューから[インストールしない]をクリックする。
- ⑦ [次へ]をクリックする。
- ⑧ 「インストールを開始します」画面が表示されるので、[完了]をクリックする。
インストールが始まります。

- ⑨ インストールが終了したら、[はい]をクリックし、画面の指示に従って本機を再起動する。
- ⑩ 再起動後、**Bookshelf Basic**のCD-ROMを挿入し、「**Microsoft Bookshelf Basic Version 3.0**のウィザードへようこそ」画面が表示されたら、[次へ]をクリックする。
- ⑪ セットアップタイプ選択画面が表示されたら、[標準]をクリックする。
- ⑫ 「プログラムをインストールする準備ができました」画面が表示されたら、[インストール]をクリックする。
インストールが始まります。
- ⑬ 「ウィザードを完了しました」画面が表示されたら、[完了]をクリックする。
- ⑭ インストール終了後、[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[スタートアップ]から[QuickShelf]を右クリックし、表示されたポップアップメニューから[削除]をクリックする。
「ショートカット削除の確認」画面が表示されるので、[ショートカットの削除]をクリックして削除してください。
- ⑮ [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[スタートアップ]から[Microsoft Office]を右クリックし、表示されたポップアップメニューから[削除]をクリックする。
[ショートカット削除の確認]画面が表示されるので、[ショートカットの削除]をクリックして削除してください。
- ⑯ [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[Microsoft Reference]から[Microsoft Bookshelf Basic Version 3.0]をクリックする。
Bookshelf Basicが起動します。
- ⑰ 「ツール」メニューから[オプション]をクリックして、[QuickShelfの開始]のチェックボックスをクリックしてチェックをはずし、[OK]をクリックする。
通知領域に「QuickShelf3」のアイコンが存在しないことを確認してください。
- ⑱ 「ファイル」メニューから[終了]をクリックし、**Bookshelf Basic**を終了する。



ステップバイステップ インタラクティブのインストールについて詳しくは、パッケージに付属の「セットアップガイド」をご覧ください。

18 ライセンス認証を行う。

次のいずれかの方法で「ライセンス認証ウィザード」を起動して、ライセンス認証を行ってください。

また、手続きの方法はインターネット経由と電話の2種類が用意されています。詳しくは、パッケージに付属の「セットアップガイド」をご覧ください。

- Officeのいずれかのソフトウェアを起動する。
- [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[Microsoft Office ツール]から[ライセンス認証]をクリックする。

なお、ライセンス認証については、次の専用窓口にお問い合わせください。

ライセンス認証専用窓口

電話番号：(0120)801-734 受付時間：24時間受付

ご注意

インターネット経由で手続きを行う場合は、この手順を行う前にインターネットに接続するための準備を済ませておく必要があります。インターネット接続について詳しくは、「インターネットを始める」(70ページ)をご覧ください。

ご注意

アプリケーション リカバリ CD-ROMでセットアップを行うには、「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーでログインしてください。

Windowsが完全に起動しない状態で本機を再セットアップするには

1 付属の「システム リカバリ CD-ROM Vol.1 of 3」をCD-RW/DVDドライブに入れる。

2 〇(パワー) ボタンを4秒以上押して本機の電源を切る。

3 本機の電源を入れる。

4 Sonyのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

ディスプレイ画面左下に「Entering SETUP...」と表示されたあと、BIOSセットアップ画面が表示されます。

「Entering SETUP...」と表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

5 Escキーを押す。

6 ↑または↓キーで[Get Default Values]を選択し、Enterキーを押す。

7 「Load default configuration now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。

8 [Exit (Save Changes)]が選ばれていることを確認してEnterキーを押す。

9 「Save configuration changes and exit now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。

リカバリ CDから本機が起動します。

10 画面の指示に従って操作する。

操作を続けるかどうか表示されたときはYキーを押してEnterキーを押してください。

画面の指示に従って操作をしていくと、メニュー画面が表示されます。メニューからセットアップの方法を選び、引き続き画面の指示に従って操作してください。

再セットアップを中止するときは「4」を選び、Enterキーを押します。

11 「本機を再セットアップするには」(159ページ)の手順12以降を行う。

パーティションサイズを変更する

本機のハードディスクはC:ドライブとD:ドライブの2つのパーティションに分かれており、D:ドライブは、「DVgate」ソフトウェアなどで取り込んだ動画などの容量が大きいデータを保存したり、操作したりするための領域（データスペース）として使えるように設定されています（工場出荷時の設定）。付属のリカバリ CD を使ってパーティションサイズを変更できます。動画の取り込みや書き出しを行う場合は大容量のデータを高速で読み書きするため、ハードディスクの断片化が起これ、フレーム落ちの原因となります。そのためデータスペースとしてお使いになるパーティションは、ハードディスクの空き容量が常に連続になるよう、最適化（デフラグ）またはフォーマットを行ってください。

パーティションを区切ると、Windows は C: ドライブにインストールされます。C: ドライブを最適化するには非常に時間がかかる場合がありますので、D: ドライブをデータスペースとしてお使いになることをおすすめします。

ご注意

ハードディスクのパーティションサイズを変更すると、それ以前にハードディスク上にあったファイルは、C: ドライブだけではなく、D: ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。パーティションサイズを変更する前に、大切なデータはフロッピーディスクや CD-RW などに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

- 1 「本機を再セットアップするには」(159ページ)の手順1~3を行う。
- 2 「メニュー選択」画面が表示されたら、[パーティションサイズを変更してリカバリ]を選び、[次へ]をクリックする。
- 3 リストからパーティションサイズを選んでクリックし、[次へ]をクリックする。
[詳細情報]をクリックすると、現在のパーティション情報が表示されます。
- 4 表示される内容をよく読み、[次へ]をクリックする。
「再起動してリカバリを開始します」画面が表示されます。

- 5** [リカバリを開始する]のチェックボックスをクリックして、[完了]をクリックする。
自動的に本機が再起動します。
パーティションサイズの変更を中止するときは、[キャンセル]をクリックします。
- 6** Sonyのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。
ディスプレイ画面左下に「Entering Setup…」と表示されたあと、BIOSセットアップ画面が表示されます。
「Entering Setup…」と表示されない場合は、F2キーを数回押してください。
- 7** Escキーを押す。
- 8** ↑または↓キーで[Get Default Values]を選択し、Enterキーを押す。
- 9** 「Load default configuration now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。
- 10** 「Exit(Save Changes)」が選ばれていることを確認して、Enterキーを押す。
- 11** 「Save configuration changes and exit now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。
本機が再起動し、再セットアップが始まります。
- 12** 「2枚目のディスクを入れてください。」というメッセージが表示されたら、付属の「システム リカバリ CD-ROM Vol.2 of 3」をCD-RW/DVDドライブに入れ、いずれかのキーを押す。
再セットアップの続きが始まります。
- 13** 「3枚目のディスクを入れてください。」というメッセージが表示されたら、付属の「システム リカバリ CD-ROM Vol.3 of 3」をCD-RW/DVDドライブに入れ、いずれかのキーを押す。
再セットアップの続きが始まります。
- 14** 「システム リカバリ CD-ROM」のセットアップが終了したら、画面の指示に従って「システム リカバリ CD-ROM Vol.3 of 3」を取り出してから何かキーを押し、本機を再起動する。

15「Windowsを準備する」(28ページ)の手順に従って、Windowsのセットアップを行う。

16付属の「アプリケーション リカバリ CD-ROM」をドライブに入れる。

自動的にアプリケーションソフトウェアのセットアップが始まります。アプリケーションソフトウェアのセットアップが終わるとメッセージが表示されるので、[OK]をクリックして本機を再起動してください。

17付属のOffice XP Personal プレインストール パッケージで、Microsoft® Office XP Personalをインストールする。

次の手順で、画面の指示に従ってインストールしてください。詳しくは、パッケージに付属の「セットアップガイド」をご覧ください。

- ① Office CDをドライブに入れ、画面の指示に従って操作する。
- ② 「インストールの種類を指定してください」画面が表示されたら、[カスタム]のチェックボックスをクリックし、[次へ]をクリックする。
- ③ [アプリケーションごとにオプションを指定してインストールします]のチェックボックスをクリックして、[次へ]をクリックする。
- ④ 「Microsoft Office」左横のアイコンをクリックし、表示されたポップアップメニューから[マイ コンピュータからすべて実行]をクリックする。
- ⑤ [Microsoft Excel for Windows]をダブルクリックして「読み上げ」左横のアイコンをクリックし、表示されたポップアップメニューから[インストールしない]をクリックする。
- ⑥ [Office共有機能]、[入力システムの拡張]の順にダブルクリックし、「音声」左横のアイコンをクリックして表示されたポップアップメニューから[インストールしない]をクリックする。
- ⑦ [次へ]をクリックする。
- ⑧ 「インストールを開始します」画面が表示されるので、[完了]をクリックする。
インストールが始まります。
- ⑨ インストールが終了したら、[はい]をクリックし、画面の指示に従って本機を再起動する。
- ⑩ 再起動後、Bookshelf BasicのCD-ROMを挿入し、「Microsoft Bookshelf Basic Version 3.0のウィザードへようこそ」画面が表示されたら、[次へ]をクリックする。
- ⑪ セットアップ タイプ選択画面が表示されたら、[標準]をクリックする。

- ⑫ 「プログラムをインストールする準備ができました」画面が表示されたら、[インストール]をクリックする。
インストールが始まります。
- ⑬ 「ウィザードを完了しました」画面が表示されたら、[完了]をクリックする。
- ⑭ インストール終了後、[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[スタートアップ]から [QuickShelf] を右クリックし、表示されたポップアップメニューから [削除] をクリックする。
「ショートカット削除の確認」画面が表示されるので、[ショートカットの削除] をクリックして削除してください。
- ⑮ [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[スタートアップ]から [Microsoft Office] を右クリックし、表示されたポップアップメニューから [削除] をクリックする。
[ショートカット削除の確認]画面が表示されるので、[ショートカットの削除] をクリックして削除してください。
- ⑯ [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[Microsoft Reference]から [Microsoft Bookshelf Basic Version 3.0] をクリックする。
Bookshelf Basicが起動します。
- ⑰ 「ツール」メニューから [オプション] をクリックして、[QuickShelf の開始] のチェックボックスをクリックしてチェックをはずし、 [OK] をクリックする。
通知領域に「QuickShelf3」のアイコンが存在しないことを確認してください。
- ⑱ 「ファイル」メニューから [終了] をクリックし、Bookshelf Basic を終了する。



ステップバイステップ インタラクティブのインストールについて詳しくは、パッケージに付属の「セットアップガイド」をご覧ください。

18 ライセンス認証を行う。

次のいずれかの方法で「ライセンス認証ウィザード」を起動して、ライセンス認証を行ってください。

また、手続きの方法はインターネット経由と電話の2種類が用意されています。詳しくは、パッケージに付属の「セットアップガイド」をご覧ください。

- Officeのいずれかのソフトウェアを起動する。
- [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[Microsoft Office ツール]から[ライセンス認証]をクリックする。

なお、ライセンス認証については、次の専用窓口にお問い合わせください。

ライセンス認証専用窓口

電話番号：(0120)801-734 受付時間：24時間受付

ご注意

インターネット経由で手続きを行う場合は、この手順を行う前にインターネットに接続するための準備を済ませておく必要があります。インターネット接続について詳しくは、「インターネットを始める」(70ページ)をご覧ください。

ご注意

アプリケーション リカバリ CD-ROMでセットアップを行うには、「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーでログインしてください。

使用上のご注意

本機の取り扱いについて

- 本体に手やひじをつくなどして力を加えないでください。本機の液晶ディスプレイはガラスでできています。力を加えると、ガラスが割れてしまいます。
- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。記録したデータが消失したり、本機の故障の原因となります。
- 炎天下や窓をしめきった自動車内など、異常な高温になる場所には置かないでください。本機が変形し、故障の原因となることがあります。
- クリップなどの金属物を本機の中に入れてください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。

結露について

結露とは本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときなどに、本機の表面や内部に水滴がつくことで、そのままご使用になると故障の原因となります。

結露が起きたときは、電源を入れずに約1時間放置してください。

液晶ディスプレイについて

- 液晶ディスプレイの表面をぬれたもので拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- 液晶ディスプレイに物をのせたり、落としたりしないでください。また、手やひじをつくなどして力を加えないでください。
- 本機を戸外など寒い場所から室内へ持ち込むと、液晶ディスプレイに結露が生じることがあります。結露が生じたら、水滴をよく拭き取ってからご使用ください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。液晶面が室温に暖まるまでお待ちください。
- 画面上に常時点灯している輝点（赤、青、緑など）や滅点がある場合があります。液晶パネルは非常に精密な技術で作られておりますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。また、見る角度によってすじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。
- キーボードの上にボールペンなどを置いたまま、液晶ディスプレイを閉じないでください。また、閉じた液晶ディスプレイの上に重いものを載せたり、強く押ししたりしないでください。本機の破損の原因となります。

ハードディスクの取り扱いについて

ハードディスクは、フロッピーディスクに比べて記憶密度が高く、データの書き込みや読み出しに要する時間も短いという特長があります。その一方、衝撃や振動、ほこりに弱い装置でもあります。また、フロッピーディスク同様に磁気を帯びた物に近い場所での使用は避けなければなりません。

ハードディスクには衝撃や振動、ほこりからデータを守るための安全機構が組み込まれていますが、記憶したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に特にご注意ください。

- 衝撃を与えないでください。
 - 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
 - 電源を入れたまま、本機を動かさないでください。
 - データの書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。
 - 急激な温度変化(毎時10℃以上の変化)のある場所では使用しないでください。
 - テレビやスピーカー、磁石、磁気ブレスレットなどの磁気を帯びたものを本機に近づけないでください。
- 何らかの原因でハードディスクが故障した場合、データの修復はできませんのでご注意ください。

ハードディスクのバックアップをとる

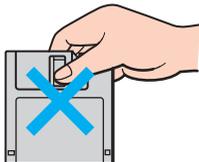
ハードディスクは非常に多くのデータを保存することができますが、その反面、ひとたび事故で故障すると多量のデータが失われ、取り返しのつかないこととなります。万一のためにも、ハードディスクの内容は定期的にバックアップを取ることをおすすめします。ソフトウェアはオリジナルがCD-ROMやフロッピーディスクにありますので、バックアップが必要なのはデータなどです。ハードディスクのバックアップ、バックアップの内容の戻しかたについて詳しくは、Windowsのヘルプをお読みください。データの損失については、一切責任を負いかねます。

フロッピーディスクの取り扱いについて

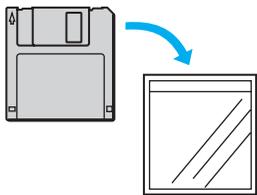
フロッピーディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにごご注意ください。

- 液晶ディスプレイの近くにフロッピーディスクなどを置かないでください。液晶ディスプレイの上中央部分の磁気により、フロッピーディスクに記録されているデータが消えてしまうことがあります。
- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものに近づけないでください。フロッピーディスクに記録されているデータが消えてしまうことがあります。

- 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くに放置しないでください。フロッピーディスクが変形し、使用できなくなります。
- 手でシャッターを開けてディスクの表面に触れないでください。フロッピーディスクの表面の汚れや傷により、データの読み書きができなくなることがあります。

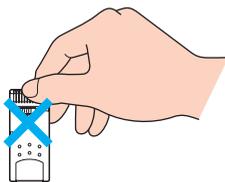


- フロッピーディスクに液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、フロッピーディスクはフロッピーディスクドライブから取り出して、必ずケースなどに入れて保管してください。



“メモリースティック”の取り扱いについて

- 端子部には手や金属で触れないでください。

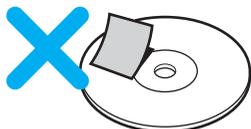


- ラベル貼り付け部には専用ラベル以外は貼らないでください。
- ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部からはみ出さないように貼ってください。
- 持ち運びや保管の際は、“メモリースティック”に付属の収納ケースに入れてください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
 - －高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
 - －直射日光のあたる場所
 - －湿気の多い場所や腐食性のある場所

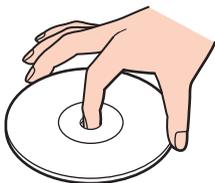
ディスクの取り扱いについて

ディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- 紙などを貼ったり、傷つけたりしないでください。



- 文字の書かれていない面(再生面)に触れないようにして持ちます。

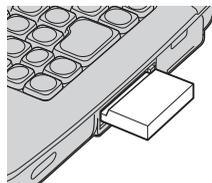


- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房器具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- ディスクに液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、ディスクは必ずケースなどに入れて保管してください。

PCカードの取り扱いについて

- じゅうたんの上など、静電気の発生しやすいところに放置しないでください。静電気の影響でカードの部品が壊れてしまうことがあります。
- コネクタ部には手や金属で触れないでください。

- カード内部には精密な電子部品があります。落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- カードを水で濡らさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
 - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
 - 直射日光のあたる場所
 - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
 - ほこりの多い場所
- PCカードスロットからはみ出すPCカード(ワイヤレスLANカードなど)を挿入してお使いの場合は、次の点にご注意ください。



- PCカードを挿入した状態で、本機を移動しないでください。
- 移動時にPCカードに強い衝撃を与えると、本機が破損するおそれがあります。
- PCカード部分を持って本機を持ち上げるなど、PCカードに力を加えると、本機が破損するおそれがあります。
- PCカードを挿入した状態で、本機をカバンやキャリングケースなどの中へ入れないでください。PCカードに予期せぬ力が加わり、本機が破損するおそれがあります。

ACアダプタについて

- ACアダプタをつながない状態で、本機の電源を入れたままバッテリーを取りはずすと、作業中のデータが失われます。
- 本機には、付属のACアダプタをご使用ください。指定以外のACアダプタを使用すると、故障の原因になることがあります。
- ACアダプタを海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。
- ケーブルが断線したアダプタは危険ですので、そのまま使用しないでください。

ソフトウェアの不正コピー禁止について

本機に付属のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。

また、店頭で購入したソフトウェアを人に貸したり、人からソフトウェアを借りてコピーして使うことは禁じられています。ソフトウェアの使用許諾書をよくお読みのうえ、お使いください。

ソフトウェアと周辺機器の動作について

一般的にWindows XP用、DOS/V用などと表記している市販ソフトウェアや周辺機器の中には、本機で使用できないものがあります。ご購入に際しては、販売店または各ソフトウェアおよび周辺機器の販売元にご確認ください。市販ソフトウェアおよび周辺機器を使用された場合の不具合や、その結果生じた損失については、一切責任を負いかねます。また、本機に付属のOS以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。

CD-RW/DVDドライブの地域番号書き替えについて

工場出荷時、CD-RW/DVDドライブの地域番号(リージョンコード)は「2」(日本)に設定されています。一部のソフトウェアには地域番号を書き替える機能がありますが、ご使用にならないでください。これらの機能を使用した結果生じた不具合につきましては、保証期間内であっても、有償修理とさせていただきます。

お手入れ

本機のお手入れ

- 本機についてゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- 指紋の跡がつくなど汚れてきたと思ったら、市販の眼鏡拭きなどでこまめに拭うように心がけてください。
- 液晶ディスプレイは、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れてきたと思ったら、こまめに拭くように心がけてください。

ご注意

- 濡れたもので液晶ディスプレイを拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- アルコールやシンナーなど揮発性ものは、表面の仕上げを傷めますので使わないでください。化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書きに従ってください。

ディスクのお手入れ

CD-ROM、DVD-ROMディスクのお手入れ

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、読みとりエラーの原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方へ軽く拭きます。



- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

CD-RW、CD-Rディスクのお手入れ

- CD-RW、CD-Rディスクは、データを記録する前には絶対にクリーナーで拭かないでください。ほこりなどの汚れは、ブローを使って吹き飛ばしてください。
- ベンジンやシンナー、静電気防止剤などはディスクを痛めることがありますので、使わないでください。
- CD-RW、CD-Rの未記録部分にキズやほこりがあると正しいデータが記録できないことがあります。取り扱いには充分ご注意ください。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より3か月間です。ユーザー登録していただいたお客様は1年間になります。

アフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

**それでも具合の悪いときはVAIO
カスタマーリンクへご連絡ください**

VAIOカスタマーリンクについては、「サイバーサポート」画面下部の

[サービス/サポート](#) をクリックするか、付属の「VAIOサービス・サポートのご案内」をご覧ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。ただし、故障の原因が不当な分解や改造であると判明した場合は、保証期間内であっても、有償修理とさせていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

修理について

当社ではノートブックコンピュータの修理は引取修理を行っています。当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りにうかがい、修理完了後にお届けします。詳しくは、「サイバーサポート」画面下部の [サービス/サポート](#) をクリックするか、付属の「VAIOサービス・サポートのご案内」をご覧ください。

データのバックアップのお願い

修理に出すまえに、ハードディスクなどの記録媒体のプログラムおよびデータは、お客様にてバックアップされますようお願いいたします。当社の修理により、ハードディスク内のプログラムおよびデータが万一消去あるいは変更された場合に関しても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。なお、ハードディスクなどの記録媒体そのものの故障の場合には、プログラムおよびデータの修復はできません。

部品の保有期間について

当社ではノートブックコンピュータの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、VAIOカスタマーリンク修理窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名：IDラベル（19ページ）または保証書に記載されています

製造番号：本体底面または保証書に記載されています

故障の状態：できるだけ詳しく

購入年月日：

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

プロセッサ

モバイル インテル® Celeron™
プロセッサ 750 MHz

キャッシュ(プロセッサに内蔵)

1次:32 Kバイト

2次:128 Kバイト

プロセッサシステムバス

100 MHz

チップセット

インテル® 815EM チップセット

メインメモリ

128 Mバイト SO-DIMM (SDRAM)
最大 256 Mバイトまで拡張可能

メモリバス

100 MHz

メモリスロット

SO-DIMMスロット(2)
(標準メモリが1スロット使用)

グラフィックアクセラレータ

高速グラフィックアクセラレータ
(インテル® 815EM チップセットに
内蔵)

ビデオメモリ

最大 11 Mバイト(メインメモリと共用)

液晶ディスプレイ

13.3 型、XGA対応、TFTカラー液晶

液晶ディスプレイ表示モード¹⁾

1,024 × 768 ドット(約1,677万色)

800 × 600 ドット(約1,677万色)

1) 約1,677万色はグラフィックアクセラレータ
のデザリングにより実現

外部ディスプレイ表示モード²⁾

1,400 × 1,050 ドット(65,536色)³⁾

1,280 × 1,024 ドット(約1,677万色)

1,024 × 768 ドット(約1,677万色)

800 × 600 ドット(約1,677万色)

2) 外部ディスプレイによっては使えない表示
モードがあります。

3) 65,536色に設定すると、画面の色合いがなめ
らかに表示されない場合があります。

ハードディスクドライブ

約20.0 Gバイト

Ultra ATA100対応

C:ドライブ 約10.0 Gバイト

D:ドライブ 約10.0 Gバイト

(工場出荷時)

(1 Gバイト = 10 億バイトで算出)

CD-RW/DVD-ROM 一体型 ドライブ

読み出し

CD-ROM、CD-R: 最大24倍速

CD-RW: 最大12倍速

DVD-ROM: 最大8倍速

書き込み

CD-R: 最大8倍速

CD-RW: 最大4倍速

マルチセッション対応、12 / 8 cm

対応トレイタイプ

ネットワーク

IEEE 802.3 10BASE-T

IEEE 802.3u 100BASE-TX

オートネゴシエーション、全二重 対応

外部接続

MONITORコネクタ

アナログRGB、ミニD-SUB 15ピン(1)

USBコネクタ

USB 4ピン(2)

マイク入力コネクタ

モノラルミニジャック(1)

i.LINK(IEEE1394)コネクタ

S400 4ピン(1) S400 = 400 Mbps

ヘッドホン出力コネクタ

ステレオミニジャック(1)

モデムコネクタ

モジュラジャック(1)

ネットワークコネクタ

RJ-45コネクタ(1)

スピーカーコネクタ

専用コネクタ(2)

インジケータ

⏻(パワー)ランプ

🔋(バッテリー)ランプ

💿(ハードディスク)ランプ

🔑(Num Lock)ランプ

🔑(Caps Lock)ランプ

🔑(Scroll Lock)ランプ

メモリースティックスロット アクセス
ランプ

CD-RW/DVD-ROM一体型ドライブ
アクセスランプ

PCカードスロット

Type III × 1 または Type I / II × 2、16
bit/CardBus 対応

メモリースティックスロット

マジックゲート対応メモリースティック
スロット(1)

オーディオ機能

ウィンドウズサウンドシステム互換、
AC97準拠、ソフトウェアMIDI音源、
3Dサウンド機能、ステレオスピーカー

ステレオスピーカー

実用最大出力:2 W + 2 W (JEITA) ⁴⁾
形式:ダブルサイクロンバスレフ方式
使用ユニット:φ32 mm フルレンジ
ユニット
再生周波数:80 Hz ~ 20,000 Hz
防磁仕様
外形寸法:約 73.8 × 145 × 40.5 mm
(幅(コネクタ部含まず)/高さ/奥行き)
質量:約 115 g × 2
4) JEITA (社団法人 電子情報技術産業協会) 規格
による測定値です。

内蔵モデム

V.90 および K56flex 対応
データ受信時最大 56 kbps
データ送信時最大 33.6 kbps
ファックス送受信時最大 14.4 kbps

入力デバイス

インテリジェント タッチパッド、キー
ボード、バックボタン付ジョグダイヤル

電源・その他

電源

ACアダプタまたはバッテリー
DC端子入力 DC19.5 V、3.0 A

バッテリー駆動時間

付属のバッテリー装着時:約 1.5 ~ 2時間
別売りのPCGA-BP71A装着時:約 2.5
~ 3.5時間

外形寸法

約 322 × 52 × 256.5 mm (幅/高さ/
奥行き、最大突起部含まず)

質量

約 2.7 kg (バッテリー装着時)

ACアダプタ ⁵⁾

電源

AC100 ~ 240 V、50/60 Hz
(付属電源コードは AC100 V用)

5) その他の仕様については、ACアダプタのラベル
をご覧ください。

バッテリー

出力電圧

14.8 V

付属品

「付属品を確かめる」(14ページ)を
ご覧ください。

別売り品

ACアダプター

PCGA-AC19V

リチャージャブルバッテリーパック

PCGA-BP71A

USB フロッピーディスクドライブ

PCGA-UFD5

USB マウス

PCGA-UMS1/A

メモリーモジュール

64M バイト増設メモリーモジュール

PCGA-MM64N

128M バイト増設メモリーモジュール

PCGA-MM128N

動作・保存環境

動作温度

5 °C～35 °C(温度勾配10 °C/時以下)

動作湿度

20 %～80 % (結露のないこと)

ただし35 °Cにおける湿度は65 %以下
(湿球温度29 °C以下)

保存温度

-20 °C～60 °C(温度勾配10 °C/時以下)

保存湿度

10 %～90 % (結露のないこと)

ただし60 °Cにおける湿度は20 %以下
(湿球温度35 °C以下)

仕様および外観は改良のため予告なく
変更することがありますが、ご了承ください。

付属ソフトウェアのお問い合わせ先

本機に付属のソフトウェアはそれぞれお問い合わせ先が異なります。各ソフトウェアごとに記載された先へお問い合わせください。

なお、本機に付属のソフトウェアの起動方法やお使いになる際のご注意など詳しい情報は、下記の手順で本機電子マニュアル「サイバーサポート」を表示させてご覧ください。

1 デスクトップ画面のをダブルクリックする。

「サイバーサポート」が表示されます。

2 画面上部のをクリックする。

3 画面左から「付属ソフトウェアの一覧」をクリックする。

ご注意

Windows XPは、Windows Meなどとは異なり、使用者がOS上で作業を行うには一定のユーザー権利とアクセス許可が必要です。

本機に付属のソフトウェアの中でも同様に、一定のユーザー権利とアクセス許可が必要なものがあります。

インストールができない、機能の一部が使用できない、またはソフトウェアが起動できない場合などは、ログインしているユーザーに必要なユーザー権利とアクセス許可が与えられていない可能性があります。

その場合は、システムの管理が可能なユーザー名で再度ログインするか、お使いのユーザー名に「コンピュータの管理者」の権利を与える設定にして作業をやり直してください。

「コンピュータの管理者」の権利使用を許可されていない場合は、職場などのシステム管理者にご相談ください。

ユーザー権利とアクセス許可については、デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックし、[コントロール パネル]→[ユーザーアカウント]を順にクリックして表示される「ユーザーアカウント」画面左のヘルプをご覧ください。

なお、ソフトウェアによっては、ユーザーの簡易切り替えに対応していないものがあります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。各ソフトウェアの「お問い合わせ先」にお問い合わせください。

クリエーション

DigitalPrint

VAIOカスタマーリンク

Drag'n Drop CD

ホームページ：<http://www.easy.co.jp/dd/sony/>

DVgate

VAIOカスタマーリンク

MovieShaker

VAIOカスタマーリンク

PictureGear

VAIOカスタマーリンク

PictureToy

VAIOカスタマーリンク

筆ぐるめ

富士ソフト ABC株式会社 インフォメーションセンター

電話番号：(03)5600-2551

ファックス番号：(03)3634-1322

電子メール：users@fsi.co.jp

オーディオ&ビジュアル

Beatnik Player

電子メール：vaiouser@beatnik.com

PicoPlayer

VAIOカスタマーリンク

QuickTime

VAIOカスタマーリンク

RealJukebox

リアルネットワークス株式会社 サポートセンター

電話番号：(03)5302-2313

RealPlayer

リアルネットワークス株式会社 サポートセンター

電話番号：(03)5302-2313

SonicStage for VAIO

VAIOカスタマーリンク

Windows Media™ Player

VAIOカスタマーリンク

- WinDVD™
VAIOカスタマーリンク

エンターテインメント

- MusicShaker
VAIOカスタマーリンク
- Gen-On
VAIOカスタマーリンク
- インターネットカラオケ「KaraOK!」
「KaraOK!」ホームページ：<http://www.so-net.ne.jp/karaoke/>
電子メール：karasp@so-net.ne.jp

コミュニケーション

- Eudora
電話番号：(06) 6441-0234
ファックス番号：(06) 6441-0235
電子メール：eudora-sales@kuni.co.jp
- Microsoft® Internet Explorer
VAIOカスタマーリンク
- Microsoft® Outlook Express
VAIOカスタマーリンク
- PostPet
ポストペットホームページ：<http://www.so-net.ne.jp/postpet/>
- Smart Capture
VAIOカスタマーリンク
- URecSight
VAIOカスタマーリンク

インターネット接続サービス/ブロードバンド常時接続サービス

- AOL
株式会社ドコモ AOL AOLサポートセンター
受付時間：9時～21時(年中無休)
会員サポート・入会問い合わせ：(0120) 275-265(フリーダイヤル)
携帯電話および国際電話によるサポート：(03) 5331-7400
電子メール：AOLJapanMS@aol.com

- DIONオンラインサインアッププログラム
KDDIカスタマサービスセンター
サービス内容に関するお問い合わせ：
(0077)7192(無料)
接続・設定などに関するお問い合わせ：
(0077)20227(有料、全国一律1分10円)
上記番号につながらない場合は：
札幌(011)232-7012／東京(03)5348-3975(有料)
- J-DSLスターターキットソフトウェア
日本テレコム株式会社 ODNサポートセンター J-DSL担当デスク
電話番号：(0088)222-375
- @niftyでインターネット
ニフティ株式会社 @niftyサービスセンター
電話番号：(0120)816-042(フリーダイヤル)
携帯・PHS・国際電話の場合：(03)5753-2374
受付時間：毎日9時～21時
(ビルの電源工事などによりお休みさせていただく場合があります。)
- OCNスタートパック
OCNインフォメーションデスク
電話番号：(0120)047-815(フリーダイヤル)
受付時間：9時～21時(月～金曜日)／9時～17時(土曜日・日曜日・祝日)
電子メール：info@ocn.ad.jp
- ODNスターターキットソフトウェア
日本テレコム株式会社 ODNサポートセンター
電話番号：0088-86(無料)
- P'zDialer
株式会社ぶららネットワークス「ぶららダイヤル」
入会専用：(0120)488912(スパヤクイージー)
テクニカル：(03)5954-5311

So-net簡単スターター

So-netインフォメーションデスク

電話番号：(0570)00-1414(全国共通)

携帯・PHSからおかけになる場合は、こちらへおかけください。

札幌(011)711-3765／仙台(022)256-2221／東京(03)3446-7555／

名古屋(052)819-1300／大阪(06)6577-4000／広島(082)286-1286／

福岡(092)624-3910

受付時間：10時～21時 年中無休

ご入会方法、サービス内容のお問い合わせ、各種会員情報の変更方法や課金状況の確認などのお問い合わせは、上記の電話番号のほか、ファックスや電子メールでも承ります。

ファックス番号：(03)3446-7557

電子メール：info@so-net.ne.jp

イー・アクセス ADSL スターターキット

電話番号：(0120)2754-37

受付時間：10時～18時(毎日)

インターネットするならBIGLOBE

BIGLOBEカスタマーサポート インフォメーションデスク

電話番号：(0120)86-0962(フリーダイヤル)

携帯電話：(03)3947-0962

受付時間：24時間365日

電子メール：info@bcs.biglobe.ne.jp

ホームページ：<http://www.biglobe.ne.jp>

バイオネットワークサービスオンラインサインアップ

ソニースタイルドットコム・ジャパン株式会社

バイオネットワークサービスセンター

電話番号：(03)5783-1133

リファレンスツール

Adobe Acrobat Reader

VAIOカスタマーリンク

MapCutter

VAIOカスタマーリンク

Navin' You

VAIOカスタマーリンク

□ Navin' You専用マップ2サンプル版

株式会社ゼンリン お客様ご相談窓口

電話番号：(03)5259-5077

受付時間：10時～12時／13時～17時 月～金(祝日は除く)

□ 乗換案内 時刻表対応版

ジョルダン株式会社 お客様ご相談窓口

電話番号：(03)5389-1712

受付時間：10時～12時/13時～17時 月～金曜日(祝日は除く)

ステーションナリ

□ Microsoft® Office XP Personal

マイクロソフト スタンドサポート

電話番号：東京(03)5354-4500／大阪(06)6347-4400

基本操作に関するお問い合わせ：

初めてのお問合わせより4件目までは無償、それ以降は有償になります。

本件について詳しくは、付属の「Office XP プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフトスタンドサポートまでお問い合わせください。

受付時間 月～金：9時30分～12時、13時～19時、土曜日：10時～17時

(同社指定休業日、年末年始、日曜・祝日を除く)

セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：

マイクロソフト スタンドサポートにてサポートいたします。

期間、回数の指定はありません。

受付時間 月～金：9時30分～12時、13時～19時、土・日：10時～17時

(同社指定休業日、年末年始、祝日を除く)

ご注意

お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。

プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office XP プレインストールパッケージ」をご覧ください。

ユーティリティ

- PowerPanel
VAIOカスタマーリンク
- Simple Speech
VAIOカスタマーリンク
- Sony Notebook Setup
VAIOカスタマーリンク
- VAIO Action Setup
VAIOカスタマーリンク
- VisualFlow
VAIOカスタマーリンク
- ジョグダイヤルウィンドウ
VAIOカスタマーリンク

カスタマーサポートツール

- CyberSupport
VAIOカスタマーリンク
- VAIOハードウェア診断ツール
VAIOカスタマーリンク
- できるWindows for VAIO
インプレスカスタマーセンター
電話番号: (03) 5213-9295

その他

- UI Design Selector
VAIOカスタマーリンク
- VAIOオンラインカスタマー登録
ソニーマーケティング株式会社 VAIOカスタマー専用デスク
電話番号: (03) 5977-7255
- リカバリ CD-ROM
VAIOカスタマーリンク

オンラインサービスご紹介

- イーベイ
イーベイジャパン(株)
電子メール: jpsupport@ebay.com

- UPGRADE AREA(アップグレードエリア)
 - ソニースタイルカスタマーセンター
 - 電話番号：(03)5783-1254
 - 電子メール：vaio-upgradecenter@sony.co.jp
- ソニースタイル/イメージステーション/パーキャストTV
 - ソニースタイルカスタマーセンター
 - 電話番号：(03)5783-1122
 - 受付時間：10時～18時(土・日・祝日は除く)
 - イメージステーションのみ、以下のメールアドレスでのお問い合わせも受け付けております。
 - info@imagestation.jp
- ソニー損保
 - ソニー損害保険株式会社
 - 電話番号：(0120)101-597
 - 受付時間：9時～22時(日曜・祝日は18時まで)
- gu mantan WEB
 - DEXインフォメーション
 - 電子メール：info@dex.ne.jp
- イープラス
 - (株)エンタテインメントプラス
 - 電話番号：(03)5749-9911
 - ホームページ：<http://eee.eplus.co.jp/>

索引

【ア行】

アプリケーション リカバリ CD-ROM	158,161,167
インターネット	70,127
液晶ディスプレイ	19,136,170
オンラインカスタマー登録	34

【カ行】

キートップを取り付ける	140
キーボード	62,138
ショートカット	66
クリック	61
ダブルクリック	61
右クリック	61
結露	170

【サ行】

再セットアップ	158
サイバーサポート	44
システム リカバリ CD-ROM	158,159,164
ジョグダイヤル	17,21
スクロール	61
ステレオスピーカー	14,146
ステレオスピーカーコネクタ	20,21
スピーカー	19,146
ソフトウェア	
不正コピー禁止について	174
付属ソフトウェア	182

【タ行】

ダイヤルアップ接続	91,102,131,133
タッチパッド	19,60,138
クリックする	61
スクロールする	61
ダブルクリックする	61
使う	60
ドラッグアンドドロップする	61
ドラッグする	61
左ボタン	60
右クリックする	61
右ボタン	60
ダブルクリック	61
ディスク	
お手入れ	175
取り扱いについて	173

ディスプレイパネルを開く	25
ディスプレイロックレバー	21
テレホンコード	14,79,115
電源	

入れる	24
切る	33
電話回線につなぐ	78
トーン式ダイヤル	39
ドラッグ	61
ドラッグアンドドロップ	61

【ナ行】

内蔵スピーカー	19,146
---------	--------

【ハ行】

パーキャス TV	17
パーティションサイズを変更する	165
ハードディスク	
取り扱いについて	171
パーティションを区切る	165
バックアップをとる	171
バッテリー	14
バッテリーベイ	24
バルス式ダイヤル	39
パワーボタン	21,26
パワーランプ	26
左ボタン	60
付属ソフトウェア	182
プロセッサ	150,178
フロッピーディスク	142
取り扱いについて	171
ポインタ	28,60,139

【マ行】

マイク	147
マウスカバー	14
右クリック	61
右ボタン	60
メモリ	
増設する	152
モジュールを取り付ける	152
モジュールを取りはずす	156
“メモリースティック”	16,144
取り扱いについて	172
モジュラージャック	22,79,115,128
モデム	71,79,127

【ラ行】

リカバリ CD	
再セットアップする	158
リカバリ CD とは	158
リセットスイッチ	22

【A】

AC アダプタ	14,25,174
AC 電源	25
ADSL	71,80

【C】

Caps Lock キー	64,125
Caps Lock ランプ	19,64,125
CD-R	
お手入れ	175
取り扱い	173
CD-ROM	
お手入れ	175
取り扱い	173
CD-RW	
お手入れ	175
取り扱い	173
CyberSupport	44

【D】

DC IN コネクタ	25
DigitalPrint	17
DVD-ROM	
お手入れ	175
地域番号	174
取り扱い	173
DVgate	17

【F】

Fn キー	63,67
-------------	-------

【G】

Gen-On	16
--------------	----

【I】

ISDN	6,71,80,115
i.LINK	16,145

【L】

LCD/Video スタンバイ	27,136
-----------------------	--------

【M】

MovieShaker	17
-------------------	----

【N】

Num Lk キー	63,65,125,139,150
Num Lock ランプ	
.....	19,63,65,125,139,150

【P】

PBX	6,78,127
PC カード	20,146
取り扱いについて	173
PictureToy	17

【S】

Sony Notebook Setup	157
---------------------------	-----

【U】

URecSight	17
USB コネクタ	20,22

【W】

Windows	28,125
Windows キー	63,66

商標について

-  はソニー株式会社の商標です。
- “MagicGate Memory Stick” (“マジックゲートメモリースティック”)および 、“Memory Stick” (“メモリースティック”)、、“MagicGate” (“マジックゲート”)、**MAGICGATE**、OpenMG、**OpenMG**™ はソニー株式会社の商標です。
- So-net、ソネットおよび So-net ロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- i.LINK は、IEEE1394-1995 およびその拡張仕様を示す呼称です。i.LINK と i.LINK ロゴ  は商標です。
- 「CastaDrive」、および **CastaDrive** はソニー株式会社の商標です。
- 「PercasTV」、および  はソニー株式会社の商標です。
- Gen-On はソニーデジタルネットワークアプリケーションズ株式会社の商標です。
- Intel、Pentium、Celeron、SpeedStep は Intel Corporation の商標または登録商標です。
- Microsoft、MS-DOS、Windows Media、Windows、Outlook および Bookshelf は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Bookshelf Basic は、次の書籍を基に制作されました。
『新英和中辞典』 第6版 (c) 研究社 1967, 1994, 1998,
『新和英中辞典』 第4版 (c) 研究社 1933, 1995, 1998,
『新明解国語辞典』 第5版 (c) 三省堂 1972, 1974, 1981, 1989, 1997
- Adobe、Adobe Acrobat Reader は Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。
- Copyright©2001 DigiOn Inc. and Easy Systems Japan Ltd. All rights reserved.
Drag'n Drop CD は Easy Systems Japan Ltd. と DigiOn Inc. の商標です。
- Copyright (c) 1993-2001 FUJISOFT ABC Inc. All rights reserved.
- Beatnik Player は Beatnik, Inc. の登録商標です。
- QuickTime and the QuickTime logo are trademarks used under license. QuickTime is registered in the U.S. and other countries.
- 「RealPlayer」、「RealJukebox」は、米国また諸各国において、米国 RealNetworks, Inc. 社の登録商標あるいは登録申請中の商標です。
- PrimoSDK for CD
Partial software replication technology by VERITAS Software Corporation.

- Copyright InterVideo, Inc 2001 All Rights Reserved.
 - KaraOK!は株式会社フェイスの商標です。
 - 2001 AMERICA ONLINE. INC. All Rights Reserved.
 - BIGLOBEは日本電気株式会社の登録商標です。
 - DIONはKDDI株式会社の登録商標です。
 - eBay、イーベイ及びeBayロゴは、米国eBay, Inc.の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
 - Copyright 2001 Entertainment Plus Inc. All Rights Reserved.
 - Copyright©1991-2001 QUALCOMM, Incorporated.
Copyright©1995-2001 株式会社クニリサーチインターナショナル
 - K56flexはConexant Systems, Inc.とLucent Technologies社の商標です。
 - @niftyはニフティ株式会社の商標です。
 - OCNは、NTTコミュニケーションズ株式会社の商標です。
 - ODNは日本テレコム株式会社の商標です。
 - PostPetはソニーコミュニケーションネットワーク株式会社の登録商標です。
 - 「ぶらら」は株式会社ぶららネットワークスの登録商標です。
 - PowerPanelは米国フェニックス テクノロジーズ社の商標です。
 - 「できる」は株式会社インプレスの登録商標です。
 - 「ConceptBase」「ConceptBase Search」「CBSearch」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
Portion Copyright 2000 株式会社ジャストシステム
Portion Copyright 1981-1988 Microsoft Corporation
 - その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。
- ソフトウェアをお使いになる前に、必ずお買い上げのコンピュータに添付のソフトウェア使用許諾契約書をご覧ください。



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象商品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっております。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

充電式電池の収集・リサイクルについて

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先：

社団法人電池工業会 ホームページ：<http://www.baj.or.jp>



Li-ion

VAIOホームページ

VAIOを楽しく使っていただくための情報をご案内します。

- <http://www.vaio.sony.co.jp/>

VAIOカスタマーリンク ホームページ

VAIOの最新サポート情報をご案内します。

- <http://vcl.vaio.sony.co.jp/>

<http://www.sony.co.jp/>

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川16-7-35

技術的なお問い合わせ、および修理のご依頼はVAIOカスタマーリンクへ

(VAIOカスタマーリンクお問い合わせ先は、本書の「困ったときは」または別冊の「VAIOサービス・サポートのご案内」をご覧ください。)

Printed in Japan